

令和 5 年 7 月 7 日

東京都板橋区教育委員会 様

板橋区教科用図書審議会
会 長 岡 島 義



令和 6 年度から使用する教科用図書の採択について（答申）

令和 5 年 4 月 2 0 日付で諮問を受けたことについて、下記のとおり答申します。

記

- 1 採択基準の作成
別紙のとおり採択基準を作成した。
- 2 調査研究の方針及び方法
1 の採択基準を基に調査研究の項目及び観点を定めた。
また、「東京都板橋区立学校教科用図書採択事務規則」に基づき、専門的な調査研究を行う附属機関として教科用図書調査委員会を設置した。
- 3 教科用図書の検討及びその結果
教科用図書調査委員会が実施した専門的な調査研究の報告を受け、審議会として調査研究を実施した。
- 4 その他採択に関し必要な事項
調査研究結果及び区民意見、学校調査結果について慎重に審議及び調査研究を行い、別添のとおり資料を作成した。

【資料名】

- 令和 5 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書(令和6年度～9年度使用・小学校用)
- 令和 5 年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書(令和6年度～9年度使用・小学校用)
- 令和 5 年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書（一般図書）)(令和6年度使用)
- 令和 5 年度 教科用図書区民意見結果(令和6年度～9年度使用・小学校用)

採 択 基 準

項 目	基 準
内 容	・基礎的な知識及び技能が確実に習得できる内容である。
	・課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むことができる内容である。
	・主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。
	・板橋区教育ビジョン2025の具現化に向けた保幼小接続・小中一貫教育の充実につながる内容である。（例:「読み解く力の育成」、「環境教育」、「キャリア教育」、「郷土愛の育成」）
構 成 ・ 分 量	・単元（題材、内容項目）・教材の配列、系統性、発展性が適切である。
	・各領域の分量に対する配慮がされている。
	・発展的内容に関わる記述の内容、構成・分量等は適切である。
表 記 ・ 表 現	・発達段階に応じた表記・表現である。
	・資料が精選され、教科の特質に応じた、絵、図、表、グラフ、写真等が、分かりやすく親しみやすい等、資料等の表現についての配慮がされている。（※デジタルコンテンツの内容を含む）
	活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。
使 用 上 の 便 宜	・全体の構成が見通せるような配慮がされている。
	・教科用図書のサイズや重さは適切である。
	・印刷、製本に対する配慮がされている。

答申【資料】

- 1 令和 5 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(令和 6 年度～9 年度使用・小学校用)
- 2 令和 5 年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書
(令和 6 年度～9 年度使用・小学校用)
- 3 令和 5 年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書(一般図書))(令和 6 年度使用)
- 4 令和 5 年度 教科用図書区民意見結果(令和 6 年度～9 年度使用・小学校用)

【板橋区教科用図書審議会】

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(令和6年度～9年度使用・小学校用)

令和5年 7月

教科用図書調査委員会

目次

教	科	種	目	ページ
国	語	国書	語写	1 5
社	会	社地	会図	9 13
算	数	算	数	16
理	科	理	科	23
生	活	生	活	29
音	楽	音	楽	36
図	画	図画	工作	39
家	庭	家	庭	42
体	育	保	健	45
外	国	英	語	52
特別の教科	道徳	道	徳	59
特別支援学級		特別支援学級		66

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 国 語 】

調査委員長

小宮 孝之

総 評

○東京書籍

- ・単元の最初と終わりに、児童の学習の流れを「見通す」→「取り組む」→「振り返る」と示し、学習方法を明確にしている。
- ・各学年ともに、「学習の進め方」、「ノート の 作り 方」など、学習を見通せる資料や記事が巻頭に大きく取り上げられている。
- ・単元末の「ふり返る」の「生かそう」では、学習したことを活用する方法が示され、板橋区授業スタンダードに沿った構成であり、児童が今後の学習につなげやすい。
- ・文字の大きさ、フォント、色、太さなど、ユニバーサルデザインを踏まえた表記となっている。
- ・各学年の冒頭部分に、話を続けることを目標とするのか、相違点に目を向けることなのか、想像したことを話すのか等、学びのゴールの設定が不明瞭な単元がある。
- ・二次元コードが多い、現行のものより挿絵が少ない箇所がある。

○教育出版

- ・各学年で「読むこと」から発展する探求的な学習が設定されている。さらに、児童が調べたことを伝え合う学習につなげている。
- ・説明的文章においては、内容や対象、文章全体の構成が明瞭なものを取り上げており、取り上げている資料が読み解く力を児童に身につける指導につなげることができる。
- ・二次元コード、SDG s マークが配置されている。特に二次元コードについてはコードの中央に特徴的なマークを置き、リンク先のカテゴリ内容が事前に分かるようにしてある。
- ・単元が「たしかめよう」「くわしくよう」等、見通しがもてる構成になっており、児童が自ら見通しをもって学ぶことができる。
- ・巻末付録として収録されている言語事項を扱った「ことばの木」等では、学んだページ数が書かれているが、具体的な単元名や教材名がなく、どの単元とつなげて学ぶのかが示されていない。
- ・学び方のページに、前後の学年における学習内容との関連性が説明されていない。

○光村図書出版

- ・探求的な学習を取り入れ、「どうやって学んでいくのかな」という学び方の説明が最初に書いてあり、国語の学習の進め方が示されている。
- ・「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という学習の流れの構造が大きく描かれ、視覚的に学習全体を捉えられるページが用意されており、児童が自らの学びを調整しながら取り組めるようになっている。
- ・巻末には「言葉の宝箱」等の言語事項が付録として添えられている。児童が言葉への興味をもったり、意味のある言葉に着目したりするなど、語彙の拡充を図ることができる。
- ・説明的文章、文学的文章ともに、イラストや挿絵、写真がある。必要な表、グラフなどもなるべく二次元コードによる別添ではなく、本文と照合できるように編集されている。
- ・記載されている内容が多い。また、資料を読み取る教材にグラフや表が少ない。
- ・上巻には下巻の目次がなく、下巻には上巻の目次がない。また、本文と巻末の付録との関連が分からないページがある。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元の最初と終わりに、児童の学習の流れを「見通す」→「取り組む」→「振り返る」と示し、学習方法を明確にしている。</p> <p>○「学習の進め方」や「ノートの手書き」が冒頭に示されている。</p> <p>○「じょうほうのとびら」や「デジタルしりょうをつかおう」等、児童が情報活用能力を高める内容がある。</p> <p>○各単元に「言葉の力」が記載されており、単元を通して身に付ける資質・能力を明確に示している。</p>	<p>○第3学年下巻のP30「話したいな、好きな時間」のように「取り組む」の内容の説明が少なく、授業時間についての計画が立てづらい単元がある。</p> <p>○第6学年の「たずね合って考えよう」のように各学年の冒頭部分に、話を続けることを目標とするのか、相違点に目を向けることなのか、想像したことを話すのか等、学びのゴールの設定が不明瞭な単元がある。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○各単元の最初にある見開きページには、「国語学習のすすめかた」に合わせた学習の流れ（「見通す」「取り組む」「振り返る」）が書かれており、児童や教師にとって学習の見通しがもてる構成である。</p> <p>○第2学年から第6学年まで「話すこと・聞くこと」5～6単元、「書くこと」5～6単元、「読むこと」10単元となっており、バランスよく配置されている。</p> <p>○「振り返る」の「生かそう」では、学習したことを活用する方法が示され、板橋区授業スタンダードに沿った構成であり、児童が今後の学習につなげやすい。</p>	<p>○第4学年下巻のP128「十年後のわたしへ」での学習例が学年の実態に合っていない。（成人年齢引き下げを受けて、二十歳を節目とする扱いになっている。）</p>
表 記 ・ 表現	<p>○学習内容に関する資料の二次元コードがあり、前年度の関連教材の二次元コードも載っていて、各学年の学習がつながるようになっている。</p> <p>○第5学年のP104「本は友達」やP210「伝えたい言の葉」のように教材によってフォントやページの色を工夫している。</p> <p>○各単元の扉、特に説明文のページについては写真を大きく使い、児童の興味を引く工夫がある。</p>	<p>○二次元コードが第1学年57個あり、そのほかの学年も50個以上と多いため、活用方法について児童への指導が必要になる。</p> <p>○第4学年下巻のP23の新聞の例のように例文の文字や学習の流れが小さい箇所がある。</p>
使用上の便宜	<p>○ユニバーサルデザインフォントが用いられている他、番号や色遣い、文字の太さを工夫してある。</p> <p>○上巻の目次には、下巻の内容も掲載されている。</p> <p>○話す・聞く、読む、書くという各領域を示すマークがある。</p>	<p>○第5学年のP124「注文の多い料理店」では12枚あった挿絵が14枚になるなど、現行同一教材と比べて挿絵が少なくなっている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各学年で「読むこと」から発展する探求的な学習が設定されている。さらに、児童が調べたことを伝え合う学習につなげている。</p> <p>○学習の流れを「たしかめよう」→「くわしくよもう」→「まとめよう」→「つたえあおう」と明確化している。</p> <p>○説明的文章では、グラフや図、絵を用い、読み解く力を児童に身につける指導につなげることができる。</p> <p>○「言葉の文化」という小単元で「我が国の言語文化に関する事項」を扱っている。</p>	<p>○「ことばの木」の項では、具体的にどの単元と結び付くのか説明されていない。</p> <p>○新出漢字では、教科書での読み方のみの記載である。音読み・訓読みの参考記載がない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第2～6学年は書く活動が5回以上設定されており、発達段階に合わせて分量が設定されている。</p> <p>○「○年生で学んだ漢字」では、イラストに既習漢字の読みを合わせることを通して、児童が視覚的に学ぶことができるようになっている。</p> <p>○説明的文章の内容や構成が明瞭である。また、指示語や接続語に注目して要約したり、内容を整理したりすることができる。</p>	<p>○前学年までの学習内容の記載がなく、各学年の学びの連続性がわからない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第1学年上巻P28「くまさんとありさんのごあいさつ」のように会話文の文字の大きさを変えたり、吹き出しを多く用いたりしている。</p> <p>○二次元コード、SDGsマークが配置されている。特に二次元コードについてはコードの中央に動画、資料、ワークシートなどのマークを置き、リンク先のカテゴリ内容が事前に分かるようにしてある。</p> <p>○第2学年下巻のP20「この間に何があった？」や第6学年上巻のP38「雪は新しいエネルギー」のように、絵、図、表、写真等が、学ぶ内容に応じたものが配置されている。</p>	<p>○動画、資料、ワークシートなどの二次元コードが一つの単元に複数あるため、内容の精選をする必要がある。</p> <p>○挿絵について、イメージとして簡素化されているものと、写実的であるものの差が大きい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>○見やすさ読みやすさに配慮したオリジナルフォントが用いられている。</p> <p>○手紙を書く単元では、デジタル化に対応し、メールの送り方にも内容が及んでいる。</p>	<p>○他教科との関連について明確に示されていない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○探求的な学習を取り入れ、「どうやって学んでいくのかな」という学び方の説明が最初に書いてあり、国語の学習の進め方が示されている。</p> <p>○各学年の導入部分には、友達と話す活動や声を出して読む活動が取り入れられている。</p> <p>○「読むこと」の学習では、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という学習の流れが基本になっており、児童が学習の見通しをもてるようになっている。</p> <p>○学習の流れが板橋区授業スタンダードに沿ったものとなっている。また、前学年までの学習内容が巻頭「国語の学びを見わたそう」に示されており、確認しながら進めることができる。</p>	<p>○第6学年の書く領域が8教材取り上げられているように、記載されている内容が多い。</p> <p>○第4学年で自然科学を扱った文章は下巻P99「風船でうちゅうへ」だけであり、取り上げるジャンルに偏りがある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第6学年のP76「デジタル機器と私たち」で、情報リテラシーの扱いを捉えながら提案文を書くなどの学習が取り入れられている。読書単元では、ユニバーサルデザインなど普遍的なテーマを取り扱っている。</p> <p>○単元の最後にある「たいせつ」はポイントを絞った簡潔な言葉で表現されており、単元で学んだ学習の要点や大切なことを確認できる。</p> <p>○巻末には「言葉の宝箱」をはじめとして、思考ツールなど考えを整理することに発達段階に応じて自ら取り組める内容が設定されている。</p>	<p>○文法を扱った単元に例文や挿絵の量が少ない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各学年の発達段階に応じて、単元の最後にある「たいせつ」などのように大切なことが一目で分かるレイアウトが施されている。説明的文章、文学的文章ともに、イラストや挿絵、写真がある。</p> <p>○目次を見るとどのような領域の活動か分かるよう、マークと言葉で示されている。</p> <p>○新出漢字が熟語としても書き抜かれ、四角で囲まれているため分かりやすくおり、漢字の活用方法が分かりやすい。</p>	<p>○二次元コードが小さく、目立たない。</p> <p>○第6学年のP155「『鳥獣戯画』を読む」のように資料を読み取る教材にグラフや表が少ない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○文字や色がユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>○字の大きさ、字体、行間等が各学年に合わせてある。</p> <p>○第1学年の書く活動では、P14、15のように7ページ分実際に教科書に書き込めるようになっている。</p>	<p>○上巻には下巻の目次がなく、下巻には上巻の目次がない。また、本文と巻末の付録との関連が分からないページがある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 書 写 】

調査委員長

小宮 孝之

総 評

○東京書籍

- ・どの学年も巻頭に鉛筆や筆の持ち方や字を書く時の姿勢が示されるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。
- ・理由や違いを考えたり、話し合ったりする活動が設定されているなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。
- ・第2学年から第6学年の巻頭には、「書写の学び方」が掲載されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。
- ・一単位時間当たり、2ページ（見開き）で構成されている。右側に学習のポイント、左側に手本が示されている。
- ・「とん」「すう」「びたっ」など筆使いを音声化していて、筆の動かし方や力の入れ具合が分かりやすくなるよう、表記・表現が工夫されている。
- ・第2学年から第6学年の巻頭には、書字にまつわる出来事を扱った「おかしな○○」の欄が設けられ、子どもが困っている場面が掲載されており、学習する意義を捉えやすくしている。

○教育出版

- ・どの学年も巻頭に鉛筆や筆の持ち方や字を書く時の姿勢が示されるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。また、消しゴムの使い方や一人一台端末使用時の姿勢などについても記載している。
- ・巻頭では、友達と関わりながら学ぶ様子が写真で示されるとともに、話し合ったりする活動が設定されるなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。
- ・第2学年から第6学年の巻頭には、「学習の進め方」が掲載されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。
- ・一単位時間当たり、2ページから4ページで構成されている。第3学年から第6学年では、1ページ目に手本が大きく掲載されている。
- ・文字を三角形や四角形などの図形と併せて示すことで、文字のバランスが意識できるよう表記・表現が工夫されている。
- ・毛筆の学習が始まる第3学年の巻頭には、「なぜ毛筆を学習するの？」という漫画が紹介されており、毛筆を学習する意義を捉えやすくしている。

○光村図書出版

- ・どの学年の学習内容においても「たいせつ」の項目が設定され、その時間に身に付ける大切な知識・技能を確認できるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。
- ・第3学年のP42「行の中心」の学習では、字の読みやすさについて理由も合わせて考えさせたりする活動を取り入れるなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。
- ・第3学年から第6学年の巻頭に「学習の進め方」が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で示されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。
- ・おおよそ一単位時間当たり、2ページ（見開き）で構成されている。学習したことを生かして鉛筆で書く活動が設定されている。
- ・毛筆の手本となる字は、共通して見開きの左側に掲載されるなど、表記・表現に工夫が見られる。
- ・第3学年から第6学年においては、毎時間学習の進め方が詳しく示されており、自学自習に生かすことができる。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○どの学年も巻頭に鉛筆や筆の持ち方や字を書く時の姿勢が示されるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。</p> <p>○理由や違いを考えたり、話し合ったりする活動が設定されており、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○「学びを生かそう」の欄を通して、これまでの学びを振り返ったり、今後に生かしたりできるようになっているなど、板橋区授業スタンダードに沿って主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第1学年では、P4、5で鉛筆の持ち方を学び、P6、7で自分の名前を書くなど、スタートカリキュラムに沿った内容となっている。</p>	<p>○小筆の指導が第3学年の書き初め指導の直前となり、小筆を用いた書字の技能が書き初めに反映しづらい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第2学年から第6学年の巻頭には、「書写の学び方」が掲載されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。</p> <p>○一単位時間当たり、2ページ（見開き）で構成されている。右側に学習のポイント、左側に手本が示されている。</p> <p>○第1学年では横書きノートの書き方、第6学年ではポスターの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○記号による振り返りのみで、児童が自ら言葉で振り返る構成にはなっていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○「とん」「すう」「びたっ」など筆使いを音声化していて、筆の動かし方や力の入れ具合が分かりやすくなるよう、表記・表現が工夫されている。</p> <p>○二次元コードが第1学年で21個、第2学年で19個、第3学年で27個、第4学年で24個、第5学年で23個、第6学年で21個掲載されている。</p> <p>○筆の穂先が朱色で表され、穂先の向きや通り道が分かりやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>○手本として扱う文字に書き順が示されていないなど、表記に配慮が欠ける箇所がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第2学年から第6学年の巻頭には、書字にまつわる出来事を扱った「おかしな○○」の欄が設けられ、子どもが困っている場面が掲載されており、学習する意義を捉えやすくしている。</p> <p>○大きさはB5版で、第1学年は49ページで115グラム、第2学年は45ページで111グラム、第3学年は57ページで124グラム、第4学年は53ページで118グラム、第5学年は53ページで114グラム、第6学年は53ページで118グラムある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。再生紙・植物油インキを使用している。</p>	<p>○目次の表記が小さく、1年間の学習内容の見通しを持ちづらい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○どの学年も巻頭に鉛筆や筆の持ち方や字を書く時の姿勢が示されるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。また、消しゴムの使い方や一人一台端末使用時の姿勢などについても記載している。</p> <p>○巻頭では、友達と関わりながら学ぶ様子が写真で示されるとともに、話し合う活動が設定されるなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○「ふり返ろう」の欄が設定されており、毎時間の学びを3段階で振り返ることができ、板橋区授業スタンダードに沿って主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第2学年から第6学年では、授業の初めに試し書きとお手本を比較する活動が設定されており、児童一人ひとりが適切なめあてをもつことにつながる内容である。</p>	<p>○第3学年の指導内容で「反り」を扱っていない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第2学年から第6学年の巻頭には、「学習の進め方」が掲載されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。</p> <p>○一単位時間当たり、2ページから4ページで構成されている。第3学年から第6学年では、1ページ目に手本が大きく掲載されている。</p> <p>○第1学年では横書きノートの書き方、第6学年ではリーフレットの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○手本が右ページにあったり、左ページにあたりして統一されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○文字を三角形や四角形などの図形と併せて示すことで、文字のバランスが意識できるよう表記・表現が工夫されている。</p> <p>○二次元コードが第1学年で21個、第2学年で11個、第3学年で17個、第4学年で18個、第5学年で18個、第6学年で20個掲載されている。</p> <p>○筆のマークと数字で筆圧を表し、力の入れ具合が分かりやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>○二次元コードについての説明が不十分で扱いにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○毛筆の学習が始まる第3学年の巻頭には、「なぜ毛筆を学習するの？」という漫画が紹介されており、毛筆を学習する意義を捉えやすくしている。</p> <p>○大きさはB5版で、第1学年は49ページで114グラム、第2学年は41ページで91グラム、第3学年は61ページで124グラム、第4学年は61ページで124グラム、第5学年は53ページで111グラム、第6学年は53ページで111グラムある。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮している。ユニバーサルデザインフォントを採用している。再生紙・植物油インキを使用している。表紙には抗菌加工をしている。</p>	<p>○二次元コードをどのように活用するか説明が不十分であり、自学自習に生かしくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○どの学年の学習内容においても「たいせつ」の項目が設定され、その時間に身に付ける大切な知識・技能を確認できるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。</p> <p>○第3学年のP42「行の中心」の学習では、字の読みやすさについて理由も合わせて考えさせたりする活動を取り入れるなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○毎時間ねらいが明確に示されるとともに、ねらいに対して振り返ることができるようになっており、毎時間の学びを自己調整しながら、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第1学年では、P1に自分の名前を書く、P8・9で鉛筆の持ち方を学ぶなど、スタートカリキュラムに沿った内容となっている。</p>	<p>○学習したことを生かして書くページでは、全ての学年でなぞるだけの活動になっている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第3学年から第6学年の巻頭に「学習の進め方」が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で示されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。</p> <p>○おおよそ一単位時間当たり、2ページ（見開き）で構成されている。学習したことを生かして鉛筆で書く活動が設定されている。</p> <p>○第1学年では横書きノートの書き方、第6学年ではパンフレットの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○「学習の進め方」に「振り返ろう」の段階が明示されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○毛筆の手本となる字は、共通して見開きの左側に掲載されるなど、表記・表現に工夫が見られる。</p> <p>○二次元コードが第1学年で28個、第2学年で24個、第3学年で34個、第4学年で32個、第5学年で33個、第6学年で31個掲載されている。</p> <p>○第1学年から第3学年では、動物をモチーフとしたキャラクターが書字のポイントを分かりやすく示している。</p>	<p>○手本として扱う文字に書き順が示されていないなど、表記に配慮が欠ける箇所がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第3学年から第6学年においては、毎時間学習の進め方が詳しく示されており、自学自習に生かすことができる。</p> <p>○大きさはB5版で、第1学年は49ページで119グラム、第2学年は41ページで105グラム、第3学年は65ページで133グラム、第4学年は53ページで117グラム、第5学年は49ページで108グラム、第6学年は57ページで124グラムある。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを採用している。ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙・植物油インキを使用している。第3学年以上では、SDGsに関連するテーマを幅広く取り上げている。</p>	<p>○巻頭の見開きページに「学習の進め方」「目次」「マークについて」等、多様な情報が盛り込まれすぎている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 社 会 】

調査委員長

木村 道人

総 評

○東京書籍

- ・全学年、全単元（小単元）を通して、「つかむ」⇒「調べる」⇒「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。
- ・「学びのポイント」は、板橋区授業スタンダードにおける「まとめ・振り返り／OUTPUT」として活用することができるような表記になっている。
- ・発展的な内容を扱う「ひろげる」が、第3学年3項目、第4学年9項目、第5学年17項目、第6学年15項目設けられている。
- ・単元末に「～を伝えよう」「～を話し合おう」といった学習活動が設定されており、問題解決的な学習を通して主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。
- ・巻頭に「○年生で学んだこと」「○年生で学ぶこと」、巻末に「○年生で学んだことをふり返ろう」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。
- ・第5学年は上下の2分冊、第6学年は政治・国際編と歴史編の2分冊構成とされ、軽量化が図られている。

○教育出版

- ・単元を通して、「つかむ」「調べる」「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。
- ・「やってみよう」は、板橋区授業スタンダードにおける「自力解決・集団解決／THINK」として活用することができるような表記になっている。
- ・発展的な内容を扱う「もっと知りたい」が、第3学年4項目、第4学年3項目、第5学年6項目、第6学年15項目設けられている。
- ・「～を説明しよう」「未来を考えよう」といった学習活動が設けられている単元があり、問題解決的な学習を通して主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。
- ・巻頭に「前の学年をふり返ろう」「社会科で使う見方・考え方」「他教科などとの関わり」「社会科の学習の進め方」、巻末に「○年生の学習をふり返ろう」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。
- ・板橋区について、第3学年「事件や事故からまちを守る」P114～115、120で記載がある。第6学年の歴史単元で、白黒写真がカラーに修正されており見やすい。

○日本文教出版

- ・単元を通して「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」という流れになっており学習の見通しをもちやすい。
- ・「やってみよう」は、板橋区授業スタンダードにおける「自力解決・集団解決／THINK」として活用することができるような表記になっている。
- ・「未来につなげるSDGs」といった発展的な内容が、第3学年4項目、第4学年5項目、5学年5項目、第6学年7項目設定されている。
- ・単元末の「自分たちにできることを考えよう」といった学習活動が設定されており、課題解決的な学習を通して主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。
- ・巻頭に「○年生の社会科の学習がはじまります!」「社会科の学習の進め方」、巻末に「○年生の学習をふり返って」「どんな力が身についたのかな」「○年生へ向かって」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。
- ・板橋区の取組が、第3学年の「未来につなげる」P92～93の中で、「食べられずに捨てられてしまう食品をへらすために」というテーマで紹介されている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 社 会 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○重要語句は「ことば」というコーナーに、グラフや地図の読み取り方は「学び方コーナー」にまとめられており、知識及び技能を習得できるように工夫されている。</p> <p>・第5学年P90のように、「まとめる」では、「新聞にまとめる」「プレゼンテーションソフトを使ってまとめる」「調べたことを整理して考えをまとめ話し合う」などの具体例が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる内容である。</p> <p>○単元末に「～を伝えよう」「～を話し合おう」といった学習活動が設定されており、問題解決的な学習を通して、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○第6学年政治・国際編P110の「中学校に向けて」というページは、小中一貫教育の充実につながる内容である。SDGsについて、第5学年下巻末資料、第6学年政治・国際編P96～97に記載されている。環境教育に関連する内容は、第4学年P44～53、64～71、第5学年下P100～125、第6学年P149に記載されている。「学びのポイント」は、板橋区授業スタンダードにおける「まとめ・振り返り／OUTPUT」として活用することができるような表記になっている。</p>	<p>○「まとめる」ページに書き込み式ワークスペースがあるが、ノート活用との両立は難しい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○単元を通して、「つかむ」⇒「しらべる」⇒「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○内容や分量に偏りはなく、学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○第5学年下P112～125のように、「いかす」「ひろげる」といった発展的な内容が、各単元で適切に設定されている。</p>	<p>○高学年は掲載された資料が多く、厳選して指導する必要がある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○資料（写真・地図）、文字のサイズは、低学年ほど大きく、発達段階に応じて見やすい工夫がされている。第5学年下P8のように、ページ下部に「教科関連マーク」があり、教科等横断的な学習に役立てることができる。</p> <p>○デジタルコンテンツは、第3学年37個、第4学年41個、第5学年上35個、下28個、第6学年政治・国際編26個、歴史編28個掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインされている。</p>	<p>○第3学年P82などのように、吹き出しの文字が小さい。</p>
使用上の便宜	<p>○第3、4学年は、巻頭に「○年生で学んだこと」「○年生で学ぶこと」、巻末に「○年生で学んだことをふり返ろう」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。</p> <p>○軽量の紙を使用し、第5、6学年は分冊にすることで、軽量化への配慮がされている。</p> <p>○折込のページは厚い紙が使用されており、製本に対する配慮がされている。</p>	<p>○第5、6学年は、分冊になっているため、全体の見通しがもちにくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社 会 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○重要語句は「解説」というコーナー、グラフや地図の読み取り方は「読み取る」というコーナーにまとめられており、知識及び技能を習得できるように工夫されている。</p> <p>○第5学年P45のように、「表す」コーナーでは、表の整理のしかたや順位付け、リーフレットのつくり方等の具体例が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる内容である。</p> <p>○「つなげる」というページで、「～を説明しよう」「これまでの学習をもとに未来を考えよう」といった学習活動が設けられている単元があり、問題解決的な学習を通して、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○第6学年P291に「中学校になったら」という記述があり、小中一貫教育に充実につながる内容である。SDGsについて、第3学年162～163、第4学年P214～215、第5学年P103、119、171、235、245、250、第6学年P66、167、235、287に記載されている。環境教育に関連する内容は、第4学年38～49、60～71、76～77、第5学年P58～59、104～105、222～245、第6学年P228～229、280～281に記載されている。板橋区について、第3学年「事件や事故からまちを守る」P114～115、120で記載がある。</p>	<p>○重要語句の「解説」のコーナーが少なく、目立たない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○単元を通して、「つかむ」「調べる」「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。第5学年では「自分で調べて考える」が設定され、情報活用能力の育成に役立つ。</p> <p>○学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○第5学年P201、207のように、「つなげる」「もっと知りたい」といった発展的な内容が設定されている単元がある。</p>	<p>○選択単元や発展的な内容について、ページの分量に偏りがある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○写真やグラフなどの基礎的資料の量や内容、文章の記述が段階的に増えており、発達段階が考慮されている。第6学年の歴史単元で、白黒写真がカラーに修正されており見やすい。</p> <p>○デジタルコンテンツは、第3学年24個、第4学年40個、第5学年34個、第6学年49個掲載されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○第5学年P68のように、グラフが小さく読み取りにくいものがある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭に「前の学年をふり返ろう」「社会科で使う見方・考え方」「他教科などとの関わり」「社会科の学習の進め方」、巻末に「〇年生の学習を振り返ろう」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。</p> <p>○全学年1冊にまとめられている。</p> <p>○折込のページは厚い紙が使用されており、製本に対する配慮がされている。</p>	<p>○分冊ではないため、第5学年と第6学年の教科書が分厚く重い。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社 会 】

発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○重要語句は「キーワード」というコーナーに、グラフや地図の読み取り方については「読み取る」というコーナーにまとめられており、知識及び技能を習得できるように工夫されている。</p> <p>○第5学年P274のように、「表現する」コーナーでは、意見整理のしかたや話し合いのしかた、新聞のつくり方などの具体例が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる内容である。</p> <p>○単元末の「未来につなげる」では、「自分たちにできることを考えよう」といった学習活動が設定されており、問題解決的な学習を通して、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○第6学年に「中学校に向かって」というページがあり、小中一貫教育に充実につながる内容である。SDGsについては、各単元末の「未来につなげる」というページで、第3学年4項目、第4学年5項目、第5学年5項目、第6学年7項目設定されている。環境教育に関連する内容は、第4学年P156～159、第5学年P254～279、第6学年P52～57、264～265に記載されている。第3学年のP92～93では「未来につなげる」の中で、「食べられずに捨てられてしまう食品をへらすために」というテーマで板橋区の取組が紹介されている。</p>	<p>○問題の発見、追及・解決といった学習過程が、ページ下部に書かれているため、わかりにくい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○単元を通して「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」という流れや「学習問題づくり」という学習活動の設定により、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○内容や分量に偏りはなく、学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○「未来につなげるSDGs」といった発展的な内容が、各単元で適切に設定されている。</p>	<p>○第5学年P62のように、本文と資料、子どもたちのセリフの違いがわかりにくい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○気づきの記述には「！」マーク、疑問の記述には「？」マークが記載されているため、視覚的に内容をとらえやすい。</p> <p>○デジタルコンテンツは、第3学年88個、第4学年93個、第5学年160個、第6学年180個掲載されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○デジタルコンテンツが多く、児童の負担が過重になる可能性がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭に「○年生の社会科の学習がはじまります!」「社会科の学習の進め方」、巻末に「○年生の学習をふり返って」「どんな力が身についたのかな」「○年生へ向かって」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。</p> <p>○全学年1冊にまとめられている。</p> <p>○折込のページは厚い紙が使用されており、製本に対する配慮がされている。</p>	<p>○分冊ではないため、第5学年と第6学年の教科書が分厚く重い。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 地 図 】

調査委員長

木村 道人

総 評

○東京書籍

- ・現代的な諸課題に関する教科横断的な教科内容として、P 9 8、9 9 の見開きの大きな日本地図で日本の自然災害が掲載されている。
- ・「地図学習」として、地図のきまりや地図帳の使い方などについて P 9 ～1 4 で説明されている。特に P 1 4 では、縮尺 5 万分の 1、5 0 万分の 1、1 0 0 万分の 1、5 0 0 万分の 1 が同じ地点をもとに列挙され、それぞれの縮尺地図の用途について説明がされている。
- ・SDG s について P 9 6 に一覧を載せて、自分たちができることについて考えさせている。
- ・日本列島を概観するページからはじまり、その後、地方別に詳細な地図や世界地図、資料地図・統計表という構成になっている。
- ・日本地図に、歴史の舞台となった場所や建物などが青地の中に白抜き文字で掲載されている。また、歴史に関わる地図が年表と併せて 4 ページ(P 7 7 ～P 8 0) にわたり 7 種類掲載されている。

○帝国書院

- ・現代的な諸課題に関する教科横断的な教科内容として、「郷土や地域に関する教育」について日本の自然災害と防災に関する内容について P 9 9 ～1 0 2 にわたってまとめている。
- ・第 3 学年から地図帳を使った学習が行えるよう、「地図のやくそく」として地図、方位、地図記号、距離の求め方などを 1 0 ページ、「地図の使い方」を 4 ページにわたって解説している。
- ・SDG s について 2 ページ分の特設ページ、また、SDG s のマークで示された 5 種類の資料が掲載されており、板橋の i カリキュラム（環境教育）と関連付けて使用することができる。
- ・5 年生、6 年生の社会科学習で活用できる、地形、気候、過去の災害事例、防災、農水産業、工業・エネルギー、貿易・食料問題・観光に関する資料が掲載されている。
- ・近畿地方のページには、江戸時代の結びつきが分かる資料、日本の首都・東京のページでは、江戸時代後期古地図や当時の町の様子分かる資料が掲載され、第 6 学年の歴史学習に役立つ内容となっている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 地 図 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○現代的な諸課題に関する教科横断的な教科内容として、P 9 8、9 9の見開きの大きな日本地図で日本の自然災害が掲載されている。</p> <p>○「地図学習」として、地図のきまりや地図帳の使い方などについてP 9～1 4で説明されている。特にP 1 4では、縮尺5万分の1、5 0万分の1、1 0 0万分の1、5 0 0万分の1が同じ地点をもとに列挙され、それぞれの縮尺地図の用途について説明がされている。</p> <p>○写真付きで日本固有の領土について記載している（P 1 9、P 2 5）。</p> <p>○SDG sについてP 9 6に一覧を載せて、自分たちができることについて考えさせている。</p> <p>○日本地図に、歴史の舞台となった場所や建物などが青地の中に白抜き文字で掲載されている。また、歴史に関わる地図が年表と併せて4ページ（P 7 7～P 8 0）にわたり7種類掲載されている。</p>	<p>○SDG sの記載がP 9 6の下部のみとなっており、世界のSDG sの取組については情報が無い。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○日本列島を概観するページからはじまり、その後、地方別に詳細な地図や世界地図、資料地図・統計表という構成になっている。</p> <p>○地図帳の使い方が8ページ、日本地図が3 8ページ、世界地図が1 4ページ、5年生、6年生の社会科学習で活用できる、地形、気候、農業、水産業、工業、交通、貿易に関する資料が1 0ページ、統計資料4ページ、総ページは1 0 2ページである。</p>	<p>○ホップステップマップでジャンプの回答について、4 7～7 0についてはデジタルコンテンツに掲載されているが、地図帳には記載されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ページ左上に、ものさしのイラストを表記し、地図上の1 c mが実際の5 k mであることを示し、実際の距離をイメージしやすくする工夫がされている。</p> <p>○二次元コードが3 6か所あり、47都道府県に特化したページや地図帳全体の活用、資料地図、統計表の詳細ページ、世界の白地図の資料で学ぶことができる。</p> <p>○環境に配慮した用紙や、植物油を使用し、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>○P 4 6首都東京、P 4 3東京都とそのまわりなど、情報が過密になっており、発達段階を考えた時に分かりづらいと認識する児童がいる可能性がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○A 4サイズで3 4 5 gである。</p> <p>○巻頭には様々な国の言語によるあいさつ、世界の地図では、世界の各地域の特色を紹介する写真が掲載される等、世界の文化について知ることができる。</p> <p>○「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」で内容確認や内容理解につながる問題が掲載されており、自主学習にも活用できる。</p>	<p>○表紙、裏表紙ともに教科書と同じ印刷、厚さのため4年間継続して使用するには耐久性に不安がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 地 図 】

発行者【 帝国書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○現代的な諸課題に関する教科横断的な教科内容として、「郷土や地域に関する教育」について日本の自然災害と防災に関する内容についてP99～102にわたってまとめている。</p> <p>○第3学年から地図帳を使った学習が行えるよう、「地図のやくそく」として地図、方位、地図記号、距離の求め方などを10ページ、「地図の使い方」を4ページにわたって解説している。</p> <p>○日本の領土とそのまわりとして、P31～32にわたり掲載しており、日本固有の領土について、写真を用いて解説をしている。</p> <p>○SDGsについて2ページ分の特設ページ、また、SDGsのマークで示された5種類の資料が掲載されており、板橋のiカリキュラム（環境教育）と関連付けて使用することができる。</p> <p>○近畿地方のページには、江戸時代の結びつきが分かる資料、日本の首都・東京のページでは、江戸時代後期古地図や当時の町の様子ที่分かる資料が掲載され、第6学年の歴史学習に役立つ内容となっている。</p>	<p>○P7～16に3年生の学習に特化したページがあるが、4年から6年で使用しづらい内容となっている。</p>
構 成・ 分 量	<p>○「広く見わたす地図」として九州地方から北海道地方まで概観し、その後で、地方や都道府県ごとの詳しい地図が南から北まで配列している。</p> <p>○日本地図は48ページ、世界地図は14ページ、5年生、6年生の社会科学習で活用できる、地形、気候、過去の災害事例、防災、農水産業、工業・エネルギー、貿易・食料問題・観光に関する資料が14ページ、統計資料4ページあり、総ページ数は132ページである。</p>	<p>○日本の首都・東京では、板橋区や羽田空港までの範囲になっていない（P67・68）。</p>
表 記・ 表 現	<p>○ページ上部に「ものさし」として実際の距離をイメージしやすくする工夫がされている。</p> <p>○二次元コードが50か所あり、アクセスするとどのような資料が見られるのか、二次元コード横に記載してある。</p> <p>○特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいやユニバーサルフォントを採用したり、植物油インキで印刷をしたりしている。</p>	<p>○地図マスターの答えの文字や、p33の地図内のアルファベットの文字が小さく、児童によっては認識しづらい。</p>
使用上の 便 宜	<p>○A4判で重さは370gである。</p> <p>○巻頭には様々な国の言語によるあいさつ、また、P84～93で「集まれ！世界の子どもたち」「世界のSDGs」が6ページ掲載され、世界とのつながりを意識した情報が掲載されている。</p> <p>○「トライ！」や「地図マスターへの道」など、内容確認や内容理解に取り組むことができる問題が設定され、問題に関連する学年や学習内容、難易度が示されており、個に応じた自学自習に取り組むことができる。</p>	<p>○日本の統計では、帯グラフの読み取りが難しい児童への指導が必要である。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 算 数 】

調査委員長

荻久保 剛正

総 評

○東京書籍

- ・一単位時間ごとに？マークでめあてが設定されているとともに、「マイノートをつくろう」では、問題・めあて・自分の考え・他人の考え・まとめ・振り返りというノートの書き方が記載されており、板橋区授業スタンダードに沿っている。
- ・目次では「前の学習」、「後の学習」という欄が設けられ、第2～6学年の巻末には、「ふりかえりコーナー」があり、単元の系統性が分かるように記載されている。
- ・虫眼鏡の記号や太文字、下点線を用いながら、その学習で大切な数学的な見方・考え方が何かが分かるように記載されている。
- ・第1学年では、1冊目がA4判になっており、図もマスも大きく、入学時の児童に配慮している。

○大日本図書

- ・「算数の学び方」「じっくり深く学び合おう！」において、問題をつかもう・自分で考えよう・学び合おう・まとめよう・使ってみよう・振り返ろうの流れで行う問題解決型の授業が適宜設定されている。
- ・目次の単元に「前の学習」「後の学習」が記載され、また、数・計算、図形、整理の仕方、変わり方と学習の内容で色分けされており各学年の単元や系統性が分かるようになっている。
- ・第2～4学年に「ひらめきアイテムシール」がノート等に貼れるようになっていたり、第5～6学年に「ひらめきアイテム」として「もとにする重さのいくつ分で考える」等の視点が記載されたりと、6年間で身に付けさせたい数学的な見方・考え方の内容が発達段階に応じて表記されている。
- ・1年別冊教科書は、A4判で見やすく配慮されている。第2学年以降の教科書は、B5判1冊になっている。

○学校図書

- ・第3～6学年では「算数パトロール隊」において、児童のよくある間違いを取り上げ、正しい考え方とともに記載されており、思考力、判断力、表現力を育む工夫がされている。
- ・目次では「前の学習」、「後の学習」という欄を設けて、他学年の単元や同学年の単元のつながりが記載されており、単元の系統性、発展性に配慮されている。
- ・A B版の教科書のためB版よりページの広さがあり、ページの左端に矢印と学習内容の見出しで区切りを表しているためどの学習内容にあたる所か把握しやすい。
- ・第1～5学年は上・下巻の分冊、第6学年は別冊「中学校とのかけ橋」があり、サイズはA B判である。

○教育出版

- ・巻頭の「みんなで算数をはじめよう！」で示されている、問題をつかむ・自分の考えをもつ・話し合って深める・ふり返ってまとめる・比べてつなげる・広げて考える教科書の学習の流れは「板橋区授業スタンダード」に沿っている。
- ・第2学年以上の目次では、前の学年で学習した単元のつながりが記載されている。また、巻末の「学びのマップ」にて単元のつながりが記載されており、単元の系統性が把握できる。
- ・まとめにあたる部分は下地の淡い色を使いかつ枠を囲っており、見やすくなるよう工夫がされている。
- ・B5判の教科書で第2学年～4学年は、上・下巻に分かれている。

○新興出版社啓林館

- ・第2学年以上に掲載されている「算数ノートをつくろう」は、めあて、自分の考え、まとめ、ふりかえりという言葉が使用され、「板橋区授業スタンダード」に沿っている。
- ・目次では、各単元と既習事項とのつながりが記載され、また、第2～6学年の巻末には「学びをつなげよう」において、前の学年までの学習のまとめ等が記載されており、単元の系統性を考慮している。
- ・第2学年以上に掲載されている「算数ノートをつくろう」には、「めあて」「自分の考え」「まとめ」「ふりかえり」という言葉が使用されており、「板橋区授業スタンダード」に沿った授業展開とノートの作り方が記述されている。問題・めあてとまとめがそれぞれ色分けして表記されている。
- ・1年別冊教科書は、A4判、他はB5判の教科書で、第2～4学年は、上・下巻の分冊である。

○日本文教出版

- ・学習の進め方として、巻頭にどんな問題かな・考えよう・学び合おう・ふり返ろうが示され、巻末の「学びガイド」にも記載され、かつ下敷きの様に使用でき、「板橋区授業スタンダード」に沿った授業が実施しやすい。
- ・目次の各単元の左側に、前の学年に関連のある単元が記載されており、学習のつながりが分かるようになっている。
- ・見開きページの右上に単元名を記しているため、目次から本単元へ移行しやすくなっており、児童が学習内容を見通しやすい構成にしようと工夫されている。
- ・全学年B5判の教科書で、第1～4年までが2冊の分冊となっている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 算 数 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「たしかめよう」や「おぼえているかな」では、既習事項を振り返る課題があり、基礎的な知識及び技能を習得できるように配慮されている。</p> <p>○単元の導入では、日常生活のある場面を設定し、問いを立てるという内容になっており、児童が自然と興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。</p> <p>○一単位時間ごとに？マークでめあてが設定されているとともに、「マイノートをつくろう」では、問題・めあて・自分の考え・他人の考え・まとめ・振り返りというノートの書き方が記載されており、板橋区授業スタンダードに沿っている。</p> <p>○第3～6学年の「今日の深い学び」では、学びを深める事例があり、課題解決型の学習につながっている。</p>	<p>○第4～6学年「プログラミングを体験しよう」では、プログラミング的思考よりプログラムの手順や操作が主に記述されている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○目次では「前の学習」、「後の学習」という欄が設けられ、第2～6学年の巻末には、「ふりかえりコーナー」があり、単元の系統性が分かるように記載されている。</p> <p>○見開き2ページ又は1ページにおいて、おおむねめあてからまとめまでの1単位時間に扱う分量が記載されている。</p> <p>○発展的内容にあたる「いかしてみよう」「考える力をのばそう」「算数で読みとこう」は、第3学年から取り上げられ、発達段階に考慮されている。また、第6学年では数学の世界での事象も取り上げて、児童が円滑な数学への発展を図れるように配慮した構成になっている。</p>	<p>○学習のしあげの活用問題「いかしてみよう」は、関連のある既習事項の確認ができるページの記載がない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○虫眼鏡の記号や太文字、下点線を用いながら、その学習で大切な数学的な見方・考え方が何かが分かるように記載されている。</p> <p>○定義や性質等が黄色の網掛けで表記されており、一目で分かるように工夫されている。また、文章や式、考え方等のまとまりが線で区切られており、読みやすい工夫がされている他、四角囲みや丸囲みの番号等を使い分けながら、問題解決の過程を見通せる表記になっている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計21個、第2学年が115個、第3学年が150個、第4学年が163個、第5学年168個、第6学年が122個の記載がある。</p>	<p>○問題、課題、まとめの色分けが「緑」で統一表記されている分、区別がつきにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第1学年では、1冊目がA4判になっており、図もマスも大きく、入学時の児童に配慮している。第1学年の2冊目以降は、全学年B5判であり、第6学年以外は、上・下巻の分冊である。第1学年は合計169ページ、第2学年は合計250ページ、第3学年は合計274ページ、第4学年は合計304ページ、第5学年は合計294ページ、第6学年は269ページである。</p> <p>○第4～6学年では、巻頭に著名な方の仕事と算数のつながりを示し、また第3～6学年の表紙は算数の学習につながる作品と裏表紙にはその作者から作品の意図等が示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。また、グリーンプリンティング認定工場で印刷されている。</p>	<p>○全学年で統一して登場するキャラクターは、外国籍の子どもへの配慮がほしい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○数と計算分野において、単元の間にある「練習」ページが設定され、基礎的な知識及び技能が習得できる作りになっている。</p> <p>○「ノート書き方の例」では、問題、めあて、見通し、自分の考え、友達の考え、まとめ、ふりかえりと記載されており、板橋区授業スタンダードに沿っている。</p> <p>○「算数の学び方」「じっくり深く学び合おう!」において、問題をつかもう・自分で考えよう・学び合おう・まとめよう・使ってみよう・振り返ろうの流れで行う問題解決型の授業が適宜設定されている。</p> <p>○第1～6学年まで「読み取る力をのばそう」があり、「読み解く力」に関わる内容が記載されている。</p>	<p>○全学年において、一単位時間のまとめにあたる部分が「発見」として記載されており、板橋区授業スタンダードと構成は同じだが、一部表現は合っていない。</p>
構 成・分 量	<p>○目次の単元に「前の学習」「後の学習」が記載され、また、数・計算、図形、整理の仕方、変わり方と学習の内容で色分けされており各学年の単元や系統性が分かるようになっている。</p> <p>○見開き2ページ又は1ページにおいて、おおむねめあてからまとめまでの1単位時間に扱う分量が記載されている。</p> <p>○「ふくろう先生」のなるほど算数教室」として、算数の学習に興味関心を高められるような問題を掲載している。</p>	<p>○第6学年「対象な図形」の導入では、身近な整った形の写真を掲載しているが、課題ではアルファベットを扱っており、つながりが薄い。</p>
表 記・表 現	<p>○第2～4学年に「ひらめきアイテムシール」がノート等に貼れるようになっていたり、第5～6学年に「ひらめきアイテム」として「もとにする重さのいくつ分で考える」等の視点が記載されたりと、6年間で身に付けさせたい数学的な見方・考え方の内容が発達段階に応じて表記されている。</p> <p>○新出用語は太い黒文字で書かれていることや、問題が囲みではなく、下地の色を変えているなど、他の文章と区別しやすい工夫がされている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計88個、第2学年が136個、第3学年が164個、第4学年が152個、第5学年165個、第6学年が138個の記載がある。</p>	<p>○巻末の索引は、第2学年以上から登場するが、漢字に振り仮名が振られていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○1年別冊教科書は、A4判で見やすく配慮されている。第2学年以降の教科書は、B5判1冊になっている。第1学年は合計182ページ、第2学年は249ページ、第3学年は271ページ、第4学年は291ページ、第5学年は293ページ、第6学年は273ページである。</p> <p>○全学年で統一して登場するキャラクターは、外国籍の子どもに配慮されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○第2学年以降1冊でまとめられているため、1学年で2冊に分かれている教科書より重い。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 学校図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第2～4学年では、筆算のしかたについて、絵や言葉を使い、視覚的に分かるよう記載しており、基礎的な知識及び技能を習得しやすい工夫がある。</p> <p>○「ノート名人になろう」では、問題、めあて、自分の考え、友だちの考え、まとめ、ふりかえり、というノートの書き方が記載されており、板橋区授業スタンダードに沿っている。</p> <p>○第3～6学年では「算数パトロール隊」において、児童のよくある間違いを取り上げ、正しい考え方とともに記載されており、思考力、判断力、表現力を育む工夫がされている。</p> <p>○第2～6学年では「算数をつかって」ではSDGsに関連させ、算数を活用しながら社会や世界を見つめる内容になっている。</p>	<p>○「まなびをいかそう」では、問題に関連する学習内容のページの記載がなく、どの学習内容が基礎・基本となっているのかが分かりづらい。</p>
構成・分量	<p>○目次では「前の学習」、「後の学習」という欄を設けて、他学年の単元や同学年の単元のつながりが記載されており、単元の系統性、発展性に配慮されている。</p> <p>○見開き2ページ又は1ページにおいて、おおむねめあてからまとめまでの1単位時間に扱う分量が記載されている。</p> <p>○第1～6学年では「すじ道を立てて考えよう」において、コンピュータの使用に限らないプログラミング的思考を育むプログラミング学習が扱われている。</p>	<p>○巻末の「この本で出てきたことば」に、ふりがなが無い。</p>
表記・表現	<p>○第2～6学年巻頭に「〇年生で見つきたい見方・考え方」のページがある。また「考え方モンスターでふりかえろう！」等で、算数の大切な見方・考え方をモンスターで表記し、親しみやすい工夫がある。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計63個、第2学年が合計109個、第3学年が合計102個、第4学年が合計86個、第5学年が合計92個、第6学年が52個の記載がある。</p> <p>○AB判の教科書のためB判よりページの広さがあり、ページの左端に矢印と学習内容の見出しで区切りを表しているためどの学習内容にあたる所か把握しやすい。</p>	<p>○二次元コード掲載数が100を超える学年が第2学年と第3学年のみである。</p>
使用上の便宜	<p>○第1～5学年は上・下巻の分冊、第6学年は別冊「中学校とのかけ橋」があり、サイズはAB判である。第1学年は合計205ページ、第2学年は306ページ、第3学年は311ページ、第4学年は337ページ、第5学年は342ページ、第6学年は合計308ページである。</p> <p>○第5学年以上の索引には、外国語の学習と関連させて、算数用語の英語表記も記載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○教科書がAB判となっているので、教科書とノートを机の上において学習する際に幅をとる。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元末に「ふりかえろう」「たしかめよう」とそれぞれ1ページ程度既習事項の確認にあたる問題があり、基礎的な知識及び技能を習得できる工夫がある。</p> <p>○第1学年では、数を数える学習で、アサガオの花や種の数調べる学習があり、生活科と関連させる内容となっている。また、巻末に「自分で取り組むページ」があり、家庭学習に活用しやすく、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がある。</p> <p>○「はてな」「だったら」において一単位時間の学びをさらに深める問いを示すことを通して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育む工夫がされている。</p> <p>○巻頭の「みんなで算数をはじめよう！」で示されている、教科書の学習の流れは「板橋区授業スタンダード」に沿っている。</p>	<p>○示されている学習の流れは、板橋区授業スタンダードと構成は同じだが、一部表現は合っていない。</p>
構 成・分 量	<p>○第2学年以上の目次では、前の学年で学習した単元のつながりが記載されている。また、巻末の「学びのマップ」にて単元のつながりが記載されており、単元の系統性が把握できる。</p> <p>○数と計算領域の練習問題では本時での基礎的な学習内容、またそれを少し応用させた内容と、内容を削ぐことなく、学習時間に適合する分量で配慮されている。</p> <p>○第2～6学年では「算数を使って考えよう」において、第3～6学年では「広がる算数」において発展的な内容を掲載しており、身の回りの生活や環境に即した課題が取り上げられている。</p>	<p>○単元の確認問題にあたる巻末の「ステップアップ算数」は、全単元で取り扱っているが、単元ごとに分量の差がある。</p>
表 記・表 現	<p>○第6学年「対称な図形」、第4学年「立体」、第5学年「四角形や三角形の面積」等では4色程度の色で色分けされた図形が活用されており、区別しやすい表記になっている。</p> <p>○まとめにあたる部分は下地の淡い色を使いかつ枠を囲っており、見やすくなるよう工夫がされている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が10個、第2学年が合計73個、第3学年が合計109個、第4学年が合計144個、第5学年が合計104個、第6学年が86個の記載がある。</p>	<p>○第2学年「なんじなんぷん」の時計のめもりが時計の枠と同系色で見えづらい。</p>
使用上の便宜	<p>○B5判の教科書で第2学年～4学年は、上・下巻に分かれている。第1学年は188ページ、第2学年は合計281ページ、第3学年は合計306ページ、第4学年は合計354ページ、第5学年は312ページ、第6学年は290ページである。</p> <p>○第2学年以降の巻末には「学びの手引き」というページがあり、第4学年では、数直線のかき方、分度器の使い方、垂直のかき方など、復習できる。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮され、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○全学年で統一して登場するキャラクターは、外国籍の子どもへの配慮がほしい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 算 数 】

発行者 【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第2～5学年では「もうすぐ○年生」として、第6学年では「6年のまとめ」として、各学年における基礎的な知識及び技能を習得する内容の問題がまとめて掲載されている。</p> <p>○第2学年以上に掲載されている「算数ノートをつくらう」は、めあて、自分の考え、まとめ、ふりかえりという言葉が使用され、「板橋区授業スタンダード」に沿っている。</p> <p>○各単元末に「たしかめよう・ふりかえろう・やってみよう」があり、本単元の学習内容を活用して問題を解決できる問題が設定され、児童に思考力・判断力・表現力等を育成する内容である。</p> <p>○第3～6学年では巻末に「わくわくSDGs」において算数で学んだことを活用して生活に生かせる活動等が紹介されている。</p>	<p>○児童のよくある間違い例等のつまづきを想定した記載がほぼなく、児童も教師も学習内容における留意点を把握しづらい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○目次では、各単元と既習事項とのつながりが記載され、また、第2～6学年の巻末には「学びをつなげよう」において、前の学年までの学習のまとめ等が記載されており、単元の系統性を考慮している。</p> <p>○巻末にまとめて掲載されている「もっと練習」のページが一単位時間ごとに内容に合わせて示され、習熟度に合わせられるよう工夫された分量となっている。</p> <p>○第2～6学年では「見方・考え方を深めよう」にて、身の回りの生活に即した課題解決型の学習につながる発展的な内容が記載されており、発達段階に合わせた出題数になっている。</p>	<p>○第6学年「対象な図形」の導入では、身近な整った形の写真を掲載しているが、課題ではアルファベットを扱っており、つながりが薄い。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○テープ図、線分図、関係図、表などの書き方が巻末の「学びをつなげよう」に記載され、それに対応する図等が一単位時間の学習内容に使用されている。</p> <p>○課題を解決するためのヒントの吹き出しが記載され、必要な見方・考え方が網掛けで記載されている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計77個、第2学年が合計136個、第3学年が合計139個、第4学年が合計131個、第5学年が127個、第6学年が91個の記載がある。</p>	<p>○第2学年の上巻P74・78・79の図は、色が5色使用されており、数えにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○1年別冊教科書は、A4判、他はB5判の教科書で、第2～4学年は、上・下巻の分冊である。第1学年は合計192ページ、第2学年は合計301ページ、第3学年は合計276ページ、第4学年は合計293ページ、第5学年は281ページ、第6学年は271ページである。</p> <p>○第4学年では付録として分度器があり、使用頻度の限られる教具に対する配慮がなされている。</p> <p>また、第5学年では、「円周測定マシン」があり円周をmm単位まで測定することができる等の工夫がある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、メディアユニバーサルデザイン協会の認証を申請している。</p>	<p>○巻頭に記載されている「学習の進め方」が板橋区授業スタンダードに合っているものの、一単位時間の内容の中に「どんな問題かな」「自分で考えよう」「みんなで話し合おう」「たしかめようふりかえろう」の記載がない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元の導入直前に「次の学習のために」として、既習事項の確認になっており、新しい学習の前に基礎的な知識及び技能を習得できる工夫がある。</p> <p>○単元の終わりに「まちがしやすい問題」「見方・考え方をみがこう」が設定され、考えの根拠を説明させる等の思考力、判断力、表現力等を育むことができる内容である。</p> <p>○学習の進め方として、巻頭にどんな問題かな・考えよう・学び会おう・ふり返ろうが示され、巻末の「学びガイド」にも記載され、かつ下敷きの様に使用でき、「板橋区授業スタンダード」に沿った授業が実施しやすい。</p> <p>○巻末の「算数マイトライ」では、3段階で問題が設定され、児童が自分の習熟度に合った問題を選択しやすいように工夫されており、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がある。</p>	<p>○一単位時間において、めあてからまとめまでの過程が簡素で、問題解決の過程が分かりにくい。</p>
構成・分量	<p>○目次の各単元の左側に、前の学年で関連のある単元が記載されており、学習のつながりが分かるようになっている。</p> <p>○第3学年以降に、「倍」に特化した単元が設定され、割合等の単元のつながりに工夫がある。</p> <p>○全学年に「レッツプログラミング」が設定され、フローチャートを使用したプログラミング的思考を育む内容やコンピュータを使用する内容等掲載されている。</p>	<p>○1ページの情報量が多く、ページによっては問題、めあて、まとめが全て書かれている。</p>
表記・表現	<p>○一単位時間の「めあて」「まとめ」が同色で目立つように書かれていたり、問題と問題の間隔を取ったりして見やすく表記されている。</p> <p>○見開きページの右上に単元名を記しているため、目次から本単元へ移行しやすくなっており、児童が学習内容を見通しやすい構成にしようと工夫されている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計71個、第2学年が合計140個、第3学年が合計165個、第4学年が合計158個、第5学年が153個、第6学年が111個の記載がある。</p>	<p>○第3学年上巻の「あまりのあるわり算」P84で、ふくろが見えにくく、同じ数ずつ分けていることが分かりにくい。</p>
使用上の便宜	<p>○全学年B5版の教科書で、第1～4年までが2冊の分冊となっている。第1学年は合計193ページ、第2学年は合計301ページ、第3学年は合計317ページ、第4学年は合計338ページ、第5学年は325ページ、第6学年は295ページである。</p> <p>○第5・6学年の教科書には、ひもが付属されており、学習している所にはさむとしおりになる。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用している。</p>	<p>○全学年で統一して登場するキャラクターの国籍に偏りがあり、外国籍の子どもへの配慮がほしい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 理 科 】

調査委員長 橋本 暁

総 評	
	<p>○東京書籍</p> <ul style="list-style-type: none">・問題解決のプロセスとして、問題をつかもう、問題、予想しよう、計画しよう、観察・実験、考えよう（考察しよう）、まとめ、広げよう理科の発想、次の問題を見つけようとなっている。・単元はじめの「思い出そう」では、理科やほかの教科で学んだこと・生活経験をもとに考えることができるようにしている。巻末「理科の調べ方を見につけよう」では、発達段階に応じたノートのかき方や使用する実験器具の使い方、発表の仕方などが示されている。・デジタルコンテンツにより、学びを広げることができる。コンテンツの数は、発行者の中で最も多い。・写真、イラスト、活字の大きさ、文字量、色調等が適切でユニバーサルデザインに対応している。 <p>○大日本図書</p> <ul style="list-style-type: none">・問題解決のプロセスとして、問題を見つけよう、問題、予想しよう、計画をたてよう、調べよう、記録しよう、考えよう、まとめようとなっている。・巻末の「理科の学びに役立てよう」では、第5学年P173のように、下学年からの学習のつながりや、教科横断的な学びを意識した内容になっている。巻末の「〇年生になったら」「中学生になったら」では、上位学年へのつながりを意識させるページが設定されている。・巻末の「理科のノートの書き方」や「記録と整理のしかた」では、発達段階に応じた表現を使用したり、学習内容に即した内容になっていたりする。全てページ番号の横に二次元コードがあるので、児童が見付けやすく、使いやすい。・色調、活字の分量、大きさ等が適切でユニバーサルデザインに対応している。 <p>○学校図書</p> <ul style="list-style-type: none">・問題解決のプロセスとして、みつける、予想する、計画を立てる、調べる、整理する、結果から考える、まとめる、いかすとなっている。・第5学年P16、17のように、実験後に「やってみよう」、「もっとしりたい」のコーナーで学習事項を生かした発展的問題や実験が紹介されている。巻末の「考えよう調べよう」のコーナーで、問題の見付け方・考察の書き方が具体的に書かれている。・巻末の「考えよう調べよう」では、みつける、伝える・聞く、記録する、調べる（図書館を使う、ICTを使う）、理科室の使い方、当該学年で主に使用する実験道具の使い方が載っている。・色調、活字の分量、大きさ等が適切でユニバーサルデザインに対応している。裏表紙に、SDGsとの関連性を示している。 <p>○教育出版</p> <ul style="list-style-type: none">・問題解決のプロセスとして、見つけよう、問題、予想しよう、計画しよう、観察・実験（ほかに資料調べ）、結果から考えよう、結論、学びを広げよう、新たな問題を見つけるとなっている。・巻頭の学習の進め方では、学年の発達段階に合わせた理科の見方や考え方が身に付けられるような系統性がある。・巻末に、使い方・調べ方（写真や動画のとり方、実験器具の使い方、観察カードのかき方、理科室の使い方）、科学館や博物館の利用、算数とのつながり、〇年で学んだことが載っている。・学習者にマークでICT機器やコンピューターを活用した調べ学習の仕方を示している。また、ユニバーサルデザインに対応している。 <p>○新興出版社啓林館</p> <ul style="list-style-type: none">・問題解決のプロセスとして、問題をつかもう、問題、予想、計画、観察実験、結果、考察しよう（結果から考えよう）、まとめ、もっと知りたい、次の問題へととなっている。・巻末の「理科の見方」「理科の考え方」では、学年の発達段階に合わせた理科の見方や考え方が身に付けられるような系統性がある。・巻末に、かく（記録のかき方、ノートのまとめ方）、伝える、施設の利用、算数の窓、ものづくり広場、理科の見方・考え方が載っている。・巻頭に、「季節ごよみ」があり、学習に必要な植物栽培についての見通しを持ちやすい。活字の大きさ、字体、行間、色調が適切である。色彩等が適切でユニバーサルデザインに対応している。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「理科の学び方」では、問題解決のプロセスが明記しており、それに沿って内容が展開されている。</p> <p>○第6学年P33のように、「広げよう！理科の発想」は、学習事項を活用し、自ら考えることで思考力、判断力、表現力が育成できる。</p> <p>○単元のまとめ「たしかめよう」では、教科書に直接書き込めるようになっている。</p> <p>○巻末には、「理科の調べ方を身につけよう」で基礎的な技能がまとめられている。また、第3学年P174のように、理科とSDGsの関連を示すページがあり、第3学年の教科書で扱われている生き物について触れるなど、環境教育との関連性が意識できる。</p>	<p>○イラストキャラクターの吹き出しで、思考の様子がはっきりと表現されているので、そこだけをなぞって授業が進んでいくと思考力の育成につながらない。</p>
構成・分量	<p>○単元のはじめの「思い出そう」で、関連する既習事項を想起しやすくなっており、下学年からの学習のつながりや系統性がわかる。</p> <p>○巻末「1年間をふりかえろう」では、学習した理科の言葉を示すなど、学習内容の復習ができるようになっている。</p> <p>○第6学年P67のように、発展的内容は「理科の世界 探検部」に掲載されており、学習内容と身の回りの生活や社会との関連や中学校での学びへのつながりを意識した構成になっている。</p>	<p>○各単元のたしかめようのページは、文字が多い。</p>
表記・表現	<p>○巻末「理科の調べ方を身につけよう」では、発達段階に応じたノートのかき方や使用する実験器具の使い方、発表の仕方などが示されている。</p> <p>○デジタルコンテンツにより、学びを広げることができる。デジタルコンテンツの数は、第6学年約370こ、第5学年約290こ、第4学年約410こ、第3学年約310こである。</p> <p>○字体、行間、色調も適切である。安全面の注意事項が、第6学年P11のように、赤字吹き出し「きけん」で強調されている。重要語句が、太字と緑色の下線で強調されている。</p>	<p>○第5学年P120に授乳中の様子の写真があり、指導の際に配慮が必要である。</p>
使用上の便宜	<p>○目次が裏表紙にあり、全体の構成が見通せる。</p> <p>○サイズ：縦29.8cm、横21cm、厚さ0.7～0.8cm、重量：第6学年439g、第5学年374g、第4学年437g、第3学年392g</p> <p>○ユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォント採用、軽量の紙の使用、再生紙・植物油インキ使用、環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷されている。</p>	<p>○縦に長く、机上で場所をとってしまう。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 理 科 】

発行者【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「理科の学び方」では、児童が問題解決の流れを把握しやすくなっている。「〇年では特にココ！」のコーナーで、学年ごとに学ばせたい理科の力を提示している。</p> <p>○第6学年P14のように、考察の場面では、話し合いの場面が設定されていて、思考力、判断力、表現力が育成できる内容である。</p> <p>○単元導入の見開き2ページでは、事象を比較させることにより、児童が問題を見つけやすくなっている。</p> <p>○第3学年P11のように、SDGsについて触れており、生き物の多様性等の視点から、環境教育との関連性が示されている。</p>	<p>○第3学年「しぜんのかんさつ」では、生き物図鑑が巻末にあり、学習の流れの中で確認しにくい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○巻末の「理科の学びに役立てよう」では、第5学年P173のように、下学年からの学習のつながりや系統性、教科横断的な学びを意識した内容になっている。</p> <p>○第6学年P7のように、事象提示に対する児童の反応や、問題解決の過程における児童の反応などがイラストで表現されていて、学習の見通しがもちやすくなっている。</p> <p>○巻末の「〇年生になったら」「中学生になったら」では、上位学年へのつながりを意識させるページが設定されている。</p>	<p>○第5学年P142「電磁石の性質」、第6学年P8「ものの燃え方」の最初の学習の予想・計画が省略されている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○巻末の「理科のノートの書き方」や「記録と整理のしかた」では、発達段階に応じた表現を使用したり、学習内容に即した内容になっていたりする。</p> <p>○実験結果・道具の使い方等を二次元コードで確認できる。また、全てページ番号の横に二次元コードがあるので、児童が見付けやすく、使いやすい。デジタルコンテンツの数は、各学年約250個である。</p> <p>○登場するキャラクターでは、人権に対する配慮がなされている。</p>	<p>○巻末にエネルギー領域は紫色、物質領域は赤色、生命領域は黄色、地球領域は緑色で色分けされたページがあるが、その配色が他のページには適用されていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○目次はP3の右に記載され、全体の構成が見通せるようになっている。</p> <p>○サイズ：縦29.8cm、横21cm、厚さ0.7～0.8cm、重量：第6学年531g、第5学年454g、第4学年526g、第3学年473g</p> <p>○ユニバーサルデザインフォント採用、環境に配慮した紙と植物油インキ使用、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、光媒体を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしている。</p>	<p>○縦に長く、机上で場所をとってしまう。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 学校図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○問題解決のプロセスが問題を見付けることに始まり振り返りまで適切に構成されている。</p> <p>○巻頭の「科学の芽を育てよう」では、「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」の流れで問題解決のプロセスが提示されている。</p> <p>○単元末の「できるようになった」では、「学びに向かう力・人間性等」の自己調整しながら学習を進めていくことを意識した記述となっている。</p> <p>○第6学年P212のように、「持続可能な社会へ」という学習内容があり、環境問題について考える機会が設定されている。</p>	<p>○巻末「理科の世界をふりかえろう」では、「科学の芽」に対する振り返りはあるが、内容に対する振り返りはない。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○第6学年P231のように、年度末に進むにしたがって、「いかすヒツジ」に関する内容に重点がおかれ、児童の問題解決能力が向上していくように系統立てて単元の配列がなされている。</p> <p>○第5学年P16、17のように、実験後に「やってみよう」、「もっとしりたい」のコーナーで学習事項を生かした発展的問題や実験が紹介されている。</p> <p>○巻末の「考えよう調べよう」のコーナーで、問題の見付け方・考察の書き方が具体的に書かれている。</p>	<p>○巻頭の「科学のめを育てよう」で、児童に身に付けさせたい力を興味・関心をひくように工夫されているが、教師の活用の仕方によっては、児童自らねらいを意識して取り組むのは難しい。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○巻末の「考えよう調べよう」では、発達段階に応じたノートのかき方や使用する実験器具の使い方、学習のまとめ方などが示されている。</p> <p>○巻末に二次元コードでデジタルコンテンツの目次が開け、一覧から動画や確認テストを開くことができるようになっている。デジタルコンテンツの数は、第6学年約150個、第5学年約100個、第4学年約140個、第3学年130個である。</p> <p>○巻末の「理科室の使い方」では、実験器具の使い方を手順ごとに写真を掲載しながら説明していて、児童が視覚的に分かりやすくなっている。</p>	<p>○第5学年P170に授乳中の様子の写真があり、指導の際に配慮が必要である。</p>
使用上の便宜	<p>○裏表紙に目次があり、全体の構成が分かる。また、SDGsとの関連性も示してある。</p> <p>○サイズ：縦25.7cm、横21cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年532g、第5学年447g、第4学年474g、第3学年427g 教科書のサイズが他社に比べて小さい。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォント採用、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた色使いやレイアウト、環境に配慮した紙と植物油インキ使用している。</p>	<p>○第4学年P142、143「金ぞくの体積と温度」や第5学年P156、157「水溶液にとけているものを取り出すには」などの学習で、問題から結論までが同じ見開きにあり、問題解決学習がしにくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「学習の進め方」では、問題解決のプロセスが明記しており、それに沿って内容が展開されている。また、P2には、前学年の学習についてふれられており、学習のつながりがわかる。</p> <p>○第6学年P10のように、問題解決の過程の中で話し合いの場面が設定され、イラストとともに展開されている。</p> <p>○第6学年P8のように、各単元のはじめにある「学習のつながり」では、他学年や中学校での学習と関連付けられている。</p> <p>○第6学年P202のように、二酸化炭素を増やさない取り組みに関する記載があり、SDGsや環境教育との関連性が意識できる。</p>	<p>○イラストキャラクターの吹き出しで、思考の様子がはっきりと表現されているので、そこだけをなぞって授業が進んでいくと思考力の育成につながらない。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○巻頭の学習の進め方では、学年の発達段階に合わせた理科の見方や考え方が身に付けられるような系統性がある。</p> <p>○第6学年P5やP99のように、国語や算数で学んだことを生かそうという記述があり、教科横断的な視点が入り込められている。</p> <p>○第6学年P31のように「はってん」として、中学校のどの学年で学習するのかが書かれているので、学習に見通しがもてる。</p>	<p>○6ページ目の「学習の進め方」においては、第3学年と第4学年にとって、文字の量が多い。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○巻末の「〇年で学んだこと」では、当該学年での学びを振り返り、次の学年へのつながりを意識できる。</p> <p>○二次元コードだけでなく、SDGsのアイコンも適宜掲載されている。デジタルコンテンツの数は、第6学年約70個、第5学年約70個、第4学年50個、第3学年約40個である。</p> <p>○文字の大きさや写真の大きさ、量が適切である。第5学年P34や37のように安全面の注意事項が、赤色で強調されている。</p>	<p>○第5学年P177、186授乳中の様子の写真があり、指導の際に配慮が必要である。</p>
使用上の便宜	<p>○P4に目次があり、全体の構成が分かるようになっている。学習者にマークで二次元コードを活用した調べ学習の仕方を示している。</p> <p>○サイズ：縦27.3cm、横21.1cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年481g、第5学年448g、第4学年496g、第3学年417g。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォント採用、ユニバーサルデザインの配慮、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。表紙には抗菌加工をしている。</p>	<p>第6学年「人や他の動物の体」のP42～45は、教科書の向きを変える必要がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭に「理科の楽しみ方」として、問題解決の過程が示されており、それに沿って内容が展開されている。また、単元末の「活用しよう」の練習問題で、思考力を確認できる。</p> <p>○巻頭の「学びの中でICTを活用してみよう」で、活用の場面や効果を具体的に示し、主体的な学びを促している。</p> <p>○問題づくりや予想、考察など、児童が思考する場面では、イラストによる例示が豊富である。</p> <p>○第6学年P190「くらしとリンク」では、学習内容と環境との関連が意識できるようになっており、環境教育との関連性が意識できる。</p>	<p>○第5学年P95のように、「思い出そう」で既習事項を確認しているが、その内容が具体的ではないことや、生活経験に触れていないことがある。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○巻末の「理科の見方」「理科の考え方」では、学年の発達段階に合わせた理科の見方や考え方が身に付けられるような系統性がある。</p> <p>○第6学年P12のように、ページの左端に問題解決のプロセスが整理されて記述されている。</p> <p>○第6学年P25のように、発展的内容は、コラム「理科の広場」や「くらしとリンク」に記載されており、内容等も適切である。中学校での学びへのつながりを意識できる。</p>	<p>○一年間の学習を振り返るような復習ページがない。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○巻末の「オッターの資料室」では、発達段階に応じたノートのかき方や発表の仕方などが示されている。</p> <p>○新出の実験器具や資料の提示の際、二次元コードで詳細が見られるように工夫されている。デジタルコンテンツの数は、第6学年約100個、第5学年約100個、第4学年約70個、第3学年約80個である。</p> <p>○活字の大きさ、字体、行間、色調が適切である。安全面の注意事項が、第5学年P41のように橙色の「注意」で強調されている。</p>	<p>○重要語句の強調の仕方が、他の文字との差が少なくあまり目立たない。</p>
使用上の便宜	<p>○P7（第6学年はP9）の「もくじ」で、全体の構成が見通せる。巻頭の「季節ごよみ」で、学習に必要な植物栽培についての見通しをもちやすい。</p> <p>○サイズ：縦25.7cm、横21.1cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年427g、第5学年382g、第4学年400g、第3学年397g 教科書のサイズが他社に比べて小さい。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォント採用、再生紙・植物油インキ使用、個人の特性にかかわらず内容が伝わりやすい配色・デザインを使用している。</p>	<p>○第6学年の巻頭「季節ごよみ」の記載がジャガイモだけだが、同じ単元で使用するホウセンカの記載はない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 生 活 】

調査委員長

梶田 佳江

総 評

○東京書籍

- ・上巻の巻頭「がっこうせいかつすたあと」（P3～P11）では、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿がどのように発揮されるか絵や写真とともに記載されている。
- ・「つながる広がるわたしの生活」では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という総合的な学習の時間における探究過程と近い展開の単元が設定されているが、SDGsの記載はない。
- ・観察カードの書き方が、見付ける、比べる、たとえるの3分類にそって記載されていたり（上巻P35）、付箋で分類・整理する場面（下巻P86）や、様々な方法で伝え合う場面（下巻P78～P79）などが描かれ、相手意識や方法、目的を明確にして課題解決の方法が学べるような工夫が見られる。
- ・「かつどうべんりてちょう」「デジタルずかん」「しりょう」「つかいかた」などのデジタルコンテンツを活用して、挨拶の仕方やICT機器の使い方など、スキルを高める内容の記載とともに、発展的に学ぶことができるようになっている。

○大日本図書

- ・上巻の巻頭「たのしいよ 1ねんせい」（P2～P7）では、幼稚園・保育園・子ども園の生活と小学校生活とを比較をしながらのスタートカリキュラムとなっている。
- ・現代的な課題や内容を扱っており、SDGsと生活科の関連性が分かりやすいように、関連単位にはSDGsのマークが付けられている。（下巻P48～P51）
- ・発達段階に応じたカードの書き方が例示されている。特に第1学年初期の段階では、文字を書くのではなく、気持ちを表現する気持ちマークというものが教科書に示されている。
- ・巻末資料「がくしゅうどうぐばこ」では豊富な資料を掲載し、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得が図れるようにしている。

○学校図書

- ・上巻の巻頭「はじまるよ しょうがっこう」（P1～P11）では、小学校生活の円滑な接続として児童の発達段階を考慮した紙面となっている。
- ・発達段階を考慮したカードの記録例や記録の目安となるカードの記録例など、多様な表現で例示されている。（例 上巻P35、P132、P135など）
- ・「ものしりのうと」では、マナーや遊び、植物の育て方、おもちゃの作り方などが絵と文で具体的に掲載されている。
- ・巻末に9つの項目からなる「学び方図かん」を設定し、生活科の学習に必要な基礎的な知識・技能の習得が分かりやすくまとめられているが、SDGsの記載はない。

○教育出版

- ・上巻「はじめのいっぽ」では、紙面下段に「にゅうがくまえからしていたよ。」「にゅうがくまえからすきだったよ。」がイラストで紹介されており、上段に小学校生活での様子が写真で紹介されているため、保幼小の接続が分かりやすい。（上巻P4～P9）
- ・SDGsを意識した構成となっており、関連学習にSDGsのマークが付いていたり、その一覧がまとめられていたりしている。（下巻P109 「学びのポケット」、P122 「地きゅうとなかよし」）
- ・生活科の学習目標を6つの力として、単元ごとに明確になっている。（上下巻ともにP2）。また、①きづく、②じぶんでできる→何を学ぶか（知識・技能の基礎）、③かんがえる、④つたえる→どのように学ぶか（思考力・判断力・表現力等の基礎）、⑤ちょうせんする、⑥じしんをもつ→何ができるようになるか（学びに向かう力・人間性等）のマークが見開き左上の単元名前に付いている。
- ・「わくわくスイッチ」で自分にあった学習を選択したり、日常生活に直結する内容（上巻P19 野菜の旬、下巻P127 避難訓練「おかしも」 など）など、個に応じた学習に取り組むことができる。

○光村図書出版

- ・巻頭「いちねんせいのはじまるよ」では、児童がこれまでの成長を生かしながら、円滑に小学校の学びに移行することができるよう、幼児期に育まれた様々な力が小学校生活のいろいろな場で生かされている例を示している。
- ・SDGsのマークについて上下巻P5に紹介があり、下巻P55のように関連の強いページを示している。
- ・小単元の最後に「ふりかえろう」があり、「みつけた」、「くらべた」、「きづいた」など（例：上巻P45）、観点がきちんと明示されており、振り返りがしやすく、導入・展開・振り返りの学習過程が明確で、分かりやすい。
- ・「ひろがるせいかつじてん」下巻の別冊P7～P13までが、総合的な学習の時間における探究的な活動につながる内容であったり、生きもの図鑑は、手軽に使用できるようになっている。

○新興出版社啓林館

- ・スタートカリキュラムで活用できる内容として、「がっこうだいすき いちねんせい」（上巻P1～P16）が設定されている。
- ・下巻には「地きゅうのみらいを考える」（下巻P114、115）にはってんとして、SDGsについての説明がある。
- ・上巻P113の付箋整理や上巻P47、P92などの児童の気付きを共有化・可視化する、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されていたり、様々な思考ツール（上巻P112、下巻P121）の例示があったり、課題解決の方法を学ぶことができる。
- ・下巻巻末資料「3年生へのステップ」では、園での学びから3年生への学習のつながりが明確に示されている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○上巻「がっこうせいかつすたあと」（P1～P13）では、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿が絵や写真とともに記載されている。</p> <p>○下巻P80～P89「つながる広がるわたしの生活」では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という総合的な学習の時間における探究過程と近い展開の単元が設定されている。</p> <p>○上巻P34「こんぴゅうたあをつかおう」、P119「コンピューターをつかおう」では、一人一台端末の活用例が具体的に記載されている。</p> <p>○下巻P106「道ぐをつかおう」では、環境に配慮した道具の使い方について記載されている。</p>	<p>○SDGsに関する表記はない。</p>
構成・分量	<p>○他教科との関連で身に付けた資質・能力を活用する場面を例示している。（例：下巻P15「話をつなごう」、P29「みつけたことをはなそう」など）</p> <p>○小単元は見開き2ページで構成されており、問いが左上に記載されている。</p> <p>○観察カードの書き方が、見付ける、比べる、たとえるの3分類にそって記載されていたり（上巻P35）、付箋で分類・整理する場面（下巻P86）や、様々な方法で伝え合う場面（下巻P78～P79）などが描かれ、相手意識や方法、目的を明確にして課題解決の方法が学べるような工夫が見られる。</p>	<p>○伝え合う学習活動は、イラストなどで例示はされているが、発表までの計画・ゴールイメージなど学習計画のイメージを児童がもてる記載になっていない。（例：上巻P20～P21）</p>
表記・表現	<p>○二次元コードが上巻に45個、下巻に30個が用意され、アクセスをするとどのような資料を見ることができるか分かるようになっている。</p> <p>○各単元には、写真やイラストは、多様性・共存（車椅子、外国籍の子どもなど）を意識した素材を使用しており、配慮が感じられる。（例：下巻P57、P60など）</p> <p>○上巻P28～P33「たねをまこう」では、ページの大きさを変えて、種の様子、芽の様子、花の様子などが横並びで見られるよう工夫がされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○下巻P86、87のように見開き1ページの中に扱われている絵や文等の記載が多かったり、文字が小さかったりする。</p>
使用上の便宜	<p>○「かつどうべんりてちょう」「デジタルずかん」「しりょう」「つかいかた」などのデジタルコンテンツを活用して、挨拶の仕方やICT機器の使い方など、スキルを高める内容の記載とともに、発展的に学ぶことができるようになっている。</p> <p>○教科書のサイズはA4判の大きさで、重さは上巻346g、下巻310gである。</p> <p>○ページ数は、上巻129ページ、下巻121ページで構成されている。</p> <p>○「保護者の皆様へ」があり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例が示されていたり、単元の注意事項などが書かれており、生活科の学習についての情報を提供している。（例：上巻P1、P39など）</p>	<p>○上巻「がっこうせいかつすたあと」が紙面（A4判）よりも小さく構成されている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○上巻の巻頭「たのしいよ 1ねんせい」(P2～P7)では、幼稚園・保育園・子ども園の生活と小 学校生活とを比較をしながらのスタートカリキュラムで活用できる内容となっている。</p> <p>○下巻巻末資料の「がくしゅうどうぐばこ」では、おもちゃ作りや、これまでに学習してきたことのま とめが記載されており、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得を図ることができるようになっ ている。</p> <p>○上巻P26のように、一人一台端末を使用している活動の写真やイラストが掲載されている。</p> <p>○SDGsと関連するところでは、SDGsのマークが付いており、現代的な課題や内容を扱ってい る。特に、下巻P48～P51は、SDGsと生活科との関連性が示されている。</p>	<p>○上巻P2～P7は、スタートカリキュラムで活 用できる内容になっているが、取り組み方の記載 が不足している。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○教科横断的な視点で、単元に関連するところは「図工」「国語」などと教科書に書かれている。 (例：上巻P6～P7、下巻P5など)</p> <p>○左上(緑囲い)に学習ねらいにつながる問いかけが必ず記載されており、学習内容を児童が把握しや すい。</p> <p>○発達段階に応じたカードの書き方が例示されている。特に第1学年初期の段階では、文字を書くので はなく、気持ちを表現する気持ちマークというものが教科書に示されている。</p>	<p>○どんなことに注目してもらいたいかわかりにくい紙面になっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コード(上巻：51個、下巻：41個)。そして、また、二次元コードの中には保護者向けの ものもあり(例：上巻P2)、育ってほしい姿や学習のポイントを学校と共通認識することができる。</p> <p>○絵や写真などが教科書の中に多くあり、児童が興味をもって学習に取り組むことができるように工夫 されている。注目してもらいたい内容については、吹き出し等で子どものつぶやきで示されている。</p> <p>○上巻P109やP117などに「ゆきの名まえ」や「しごとのことば」などが「せいかつことば」と して教科書に記載されており、児童の語彙量を増やす工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○写真やイラストが小さく、細部まで見ることが できないものがある。(例：上巻P29、P34 など)</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻末資料「がくしゅうどうぐばこ」では豊富な資料を掲載し、児童が活動に即して基本的な知識や技 能の習得が図れるようにしている。</p> <p>○教科書のサイズはA4判の大きさで、重さは上巻336g、下巻310gである。</p> <p>○ページ数は、上巻137ページ、下巻125ページで構成されている。</p> <p>○上下巻ともに、目次のページ下部で保護者に支援の協力について記載されている。</p>	<p>○教科書の標題に関する学習の内容や、児童の気 付きを引き出すための着眼点がわかりにくい紙面 となっている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 学校図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○小学校生活の円滑な接続として、「はじまるよししょうがっこう」（上巻P3～P11）が設定され、児童の発達段階を考慮した内容となっている。</p> <p>○巻末に9つの項目からなる「学び方図かん」を設定し、生活科の学習に必要な基礎的な知識・技能が分かりやすいようにまとめられており、参照しやすい工夫がされている。</p> <p>○登場する4名のキャラクターが各単元でお互いに関わり合いをもち、多様な対話活動の様子を示している。</p> <p>○一人一台端末の活用について、使うと便利な道具として上巻P135や下巻P125に紹介されている。</p>	<p>○SDGsに関する表記はない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○「探検」、「遊び」、「飼育」、「栽培」、「家族・成長」の5つを大単元として内容が連続した構成のため、児童が見通しをもって活動できる内容となっている。</p> <p>○「ものしりのうと」では、学校探検での挨拶の仕方（上巻P20）や、あさがおの種の植え方（上巻P30）、リース作り（上巻P47）などが絵と文で具体的に記されている。</p> <p>○上巻P46などのように「もっと～」として、発展的な内容を紹介している。</p>	<p>○他教科との関連についての表記はない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○「栽培」や「飼育」の単元には二次元コードが載っており、一人一台端末を活用して詳細を調べることができる。二次元コード（上巻：31個、下巻：25個）</p> <p>○発達段階を考慮したカードの記録例や記録の目安となるカードの記録例など、多様な表現で例示されている。（例 上巻P35、P132、P135など）</p> <p>○目次に表記された「てらあい・うがい」のマークや「やくそく」のマークが紙面右上に表記されており、感染予防対策や安全上の配慮事項などが示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○「うごくおもちゃをつくろう」にあるストローアーチェリーは、第2学年が作成するには難しい。（下巻P88）</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○使用されている漢字にすべてルビが振ってあるため、未習の漢字も読むことができる。</p> <p>○教科書のサイズはA4判変形サイズ（レターサイズ）の大きさで、重さは上巻352g、下巻332gである。</p> <p>○ページ数は、上巻137ページ、下巻129ページで構成されている。</p> <p>○先生方と保護者に最終頁に生活科について紹介がある。</p>	<p>○「生きものと友だち」では、生き物に触る前と後は手を洗おうの表記はあるが、動物アレルギーについては触れられていない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○上巻「はじめのいっぽ」では、紙面下段に「にゅうがくまえからしていたよ。」「にゅうがくまえからすきだったよ。」がイラストで紹介されており、上段に小学校生活での様子が写真で紹介されているため、保幼小の接続が分かりやすい。（上巻P4～P9）</p> <p>○上巻P27のように、学習の「ひんと」として、考え方や表現の仕方が記載されている。</p> <p>○一人一台端末の効果的な活用方法が分かりやすく紹介されており、（上巻P29 植物の観察における記録など）、まなびのぼけっとを見るとルールやマナーについても記載がされている。上巻P128～P129）</p> <p>○SDGsを意識した構成となっており、関連学習にSDGsのマークが付いていたり、その一覧がまとめられたりしている。（下巻P109 「学びのポケット」、P122 「地きゅうとなかよし」）</p>	<p>○観察カードの記入例が紹介されているが、人物の絵について必要でない場合がある。（例 下巻P13～P14）</p>
構 成 ・ 分量	<p>○「はってん」では、教科との関連を図る内容がある。（下巻P31 「社会科のまど」東西南北、下巻P104 「楽しかったね生活科」学んだ力がどのようにつながっているのかの例示が分かりやすい。）</p> <p>○生活科の学習目標を6つの力として、単元ごとに明確になっている。（上下巻ともにP2）。また、①きづく、②じぶんでできる→何を学ぶか（知識・技能の基礎）、③かんがえる、④つたえる→どのように学ぶか（思考力・判断力・表現力等の基礎）、⑤ちょうせんする、⑥じしんをもつ→何ができるようになるか（学びに向かう力・人間性等）のマークが見開き左上の単元名前に付いている。</p> <p>○「はてな」（？）のマークを提示することで、どの単元においても、児童が主体的・探究的な学びに向かうような構成になっている。（上巻P16、下巻P13 など）</p>	<p>○上巻P34、35など文字量が多いため、情報の精選が必要である。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○二次元コードから情報収集をする際、紙面上で識別することができる。</p> <p>○第1学年の段階から、思考ツールの手法を取り入れた学習例が示されている。（上巻P77など）</p> <p>○「わくわくスイッチ」で自分にあった学習を選択したり、日常生活に直結する内容（上巻P19 野菜の旬、下巻P127 避難訓練「おかしも」 など）など、個に応じた学習に取り組むことができる。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○「おもちゃの作り方」について、動画での説明が不足している。</p>
使用上の便宜	<p>○使用している色が項目ごとに決められているため、視覚的に捉えやすい。</p> <p>○教科書のサイズはA4判の大きさで、重さは上下巻ともに約315gである。</p> <p>○ページ数は、上下巻ともに129ページで構成されている。</p> <p>○目次ページ下部に保護者に対し、生活科における学び方について説明をしている。</p>	<p>○「なかよくなるうね 小さなともだち」では、生き物に触る前と後には手洗いうがいを必ずしようの表記はあるが、動物アレルギーについては触れられていない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭「いちねんせいがはじまるよ」では、児童がこれまでの成長を生かしながら、円滑に小学校の学びに移行することができるよう、幼児期に育まれた様々な力が小学校生活のいろいろな場で生かされている例を示している。</p> <p>○上下巻ともに、「こんなこともあるかもね」「こんなのもいいかもよ」「どうしてなんだろう」の部分が児童の思考を深めたり、興味をもてるように工夫がなされていたりしている。</p> <p>○一人一台端末について、ひろがるせいかつじてん上巻「きろくをしよう」、下巻「じょうほうききをつかおう」のページに紹介されている。</p> <p>○SDGsのマークについて上下巻P5に紹介があり、下巻P55のように関連の強いページを示している。</p>	<p>○上下巻ともに、実際に一人一台端末活用している様子の写真が少ないため、巻末「ひろがる せいかつ じてん」を活用するなど、工夫が必要である。</p>
構成・分量	<p>○見開きページ左下のように、課題解決につながるヒントが記載されており、主体的に学ぶことができる工夫がされている。</p> <p>○小単元の最後に「ふりかえろう」があり、“みつけた”、“くらべた”、“きづいた”など（例：上巻P45）、観点がきちんと明示されており、振り返りがしやすく、導入・展開・振り返りの学習過程が明確で、分かりやすい。</p> <p>○「わたしのせいかつマップ」（下巻P8～P11）には吹き出しがあり、自分が発見したことを自分で書き込む工夫がなされている。</p>	<p>○上巻巻末の「～（「季節の）なかまたち」は保管や活用の仕方について、工夫が必要である。</p>
表記・表現	<p>○二次元コード（上巻：10個、下巻：7個）からデジタルコンテンツを活用することができる。</p> <p>○様々な職種、人種、立場のをイラストや写真で扱っている。</p> <p>○全体的に、親しみやすいイラストを中心に構成されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○児童の観察カードやお礼の手紙が斜めに記載されていたり、やや小さい。</p>
使用上の便宜	<p>○「ひろがるせいかつじてん」下巻の別冊P7～P13までが、総合的な学習の時間における探究的な活動につながる内容であったり、生きもの図鑑は、手軽に使用できるようになっている。</p> <p>○教科書のサイズはA4判の大きさで、重さは上巻400g、下巻334gである。</p> <p>○ページ数は、上巻119ページ（別冊込み）、下巻127ページ（別冊込み）で構成されている。</p> <p>○随所に保護者への情報提供があり、学習の協力依頼や、家でどのように取り組むとよいかなどが、記載されている。</p>	<p>○別冊の「ひろがるせいかつじてん」が上下巻ともに別冊になっているが、見やすい反面、管理に工夫が必要である。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○スタートカリキュラムで活用できる内容として、「がっこうだいすき いちねんせい」（上巻P1～P16）が設定されている。</p> <p>○上巻P12のように、単元末「ぐんぐん」の紙面の「できるかな できたかな？」のコーナーで自己評価の視点を示し、「ひろがるきもち」のコーナーでは、学習活動を日常生活につなげたり、学習をさらに広げる具体的な姿が示されている。</p> <p>○上巻P113の付箋整理や上巻P47、P92などの児童の気付きを共有化・可視化する、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されていたり、様々な思考ツール（上巻P112、下巻P121）の例示があったり、課題解決の方法を学ぶことができる。</p> <p>○下巻には「地きゅうの未来を考える」（下巻P114、115）に「はってん」として、SDGsについての説明がある。</p>	<p>○下巻P100からの「これまでのわたし これからのわたし」では、自分自身の成長を振り返る具体的な活動例が少ない。</p>
構成・分量	<p>○他教科との関連や発展的な内容についての記載がある。（例：上巻P102 はってん！りか・4年 など）</p> <p>○ページ右下部に活動の中で生まれた気付きや次の活動への思いや願いを示しており、思いや願いの連続性を意識し、次の活動へつなげる工夫がされている。</p> <p>○季節単元や植物を扱う単元の最後には写真が多く掲載されている「びっくり図鑑LIVE」のページがある。（例：上巻P78～P83）</p>	<p>○上巻P84からの「じぶんでチャレンジ 大きくせん」全体的に家族との関わりについての取り扱いがない。</p>
表記・表現	<p>○二次元コード（上巻：31個、下巻：15個）。そして、「学びウェブ」（上巻P21など）「どうがでみよう（上巻P29）など」「おしばな（上巻P29など）、その二次元コードにアクセスすると、どのような情報を得ることができるのかが紙面上で分かるようになっている。</p> <p>○上下巻ともに、写真やイラストで外国につながる児童や車いすに乗っている児童など設定しており、様々な人々との共生に配慮がなされている。</p> <p>○ページ左に「わくわく、いきいき、ぐんぐん」の3つの印が示されており、それぞれのページがどの学習段階なのかが分かりやすい。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、目的や活動によって文字の背景の色を変えていて、視覚的に捉えやすい。</p>	<p>○下巻全体で二次元コードでの追加情報が15個と、他社に比べ、やや少ない。</p>
使用上の便宜	<p>○下巻巻末資料「3年生へのステップ」では、園での学びから3年生への学習のつながりが明確に示されている。</p> <p>○教科書のサイズはA4判変形サイズ（レターサイズ変形：縦がレターサイズよりも約2cm小さい）大きさで、重さは上巻320g、下巻286gで持ち運びがしやすい。。裏表紙には、自分のマークを書くことができ、教科書に愛着をもつことができる。</p> <p>○ページ数は、上下巻ともに128ページで構成されている。</p> <p>○教科書上部または下部には、保護者の皆様へ（上巻P1）およびご指導される先生方へ（上巻P39など）と、学習のねらいや注意事項について情報を伝えている。</p>	<p>○上巻「がっこうだいすき いちねんせい」、下巻「3年生へのステップブック」が紙面よりもさらに小さく構成されている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 音 楽 】

調査委員長 金子 陽子

総 評

○教育出版

- ・学習のめあてが各題材で示されており、板橋区授業スタンダードに沿った学習を行うことができる流れとなっている。
- ・SDGsに関連する内容が取り上げられている。（第5学年P65「川はだれもの？」）
- ・「前の学習を思い出そう。」（第5学年P20など）「他のページも見てみよう。」（第5学年P49など）のマークがあることにより、学びの系統性を意識することができる。
- ・各校の実態に応じて弾力的に扱うことのできる教材が、第1学年10曲、第2学年11曲、第3学年9曲、第4学年12曲、第5学年9曲、第6学年12曲掲と、多くの曲が掲載されている。
- ・全学年で英語の歌が掲載されており、他教科とのつながりを意識することができる。
- ・鍵盤ハーモニカや打楽器、木琴などの器楽指導では写真を多く使用し、第2学年P76などで楽器やばちの持ち方、演奏の仕方などがわかりやすく示されている。デジタルコンテンツは、第1学年14個、第2学年16個、第3学年24個、第4学年21個、第5学年23個、第6学年16個掲載されている。

○教育芸術社

- ・学習のめあてとふりかえりが各題材で示されており、板橋区授業スタンダードに沿った学習を行うことができる流れとなっている。
- ・第6学年P24～25「著作権について知ろう」で著作権について取り上げられており、情報モラルについて学習することができる。
- ・「見つける」「考える」「歌う」「つくる」「演奏する」では、それぞれの学習活動が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる。
- ・「チャレンジ」「ステップアップ」といった発展的な内容も扱われている。
- ・「おもいだそう」（第5学年P37など）のマークがあることにより、学びの系統性を意識することができる。
- ・デジタルコンテンツは、第1学年28個、第2学年32個、第3学年32個、第4学年34個、第5学年33個、第6学年30個掲載されている。

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 音 楽 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○右ページ上段に「音楽のもと」で、学習内容が明示されている。重要語句は、ページ右端に整理されている。</p> <p>○「まなびナビ（学び方を知ろう）」（第6学年P18など）では、学習の方法が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる。</p> <p>○音楽づくりの単元（第6学年P52など）では、音色やリズムの組み合わせを考え、試行錯誤しながら改善していく教材が設けられており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。</p> <p>○学習のめあてが各題材で示されており、板橋区授業スタンダードに沿った学習を行うことができる流れとなっている。SDGsに関連する内容が取り上げられている。（第5学年P65「川はだれのもの？」）</p>	<p>○学習活動が分類されていないため、育成する力が不明瞭である。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○「前の学習を思い出そう。」（第5学年P20など）「他のページも見てみよう。」（第5学年P49など）のマークがあることにより、学びの系統性を意識することができる。</p> <p>○「音楽づくり」や「鑑賞」の内容や分量に偏りはなく、学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○各校の実態に応じて弾力的に扱うことのできる教材が、第1学年10曲、第2学年11曲、第3学年9曲、第4学年12曲、第5学年9曲、第6学年12曲と、多くの曲が掲載されている。</p> <p>「はってん」といった発展的な内容も扱われている。全学年で英語の歌が掲載されており、他教科とのつながりを意識することができる。</p>	<p>○児童に書き込ませる枠が、各学年2か所程度と少なく、構造化されていない。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○低学年では、楽譜の代わりにイラストが使われている部分があり、発達段階に応じた表記・表現がされている。</p> <p>○鍵盤ハーモニカや打楽器、木琴などの器楽指導では写真を多く使用し、第2学年P76などで楽器やばちの持ち方、演奏の仕方などがわかりやすく示されている。第5学年のP40で日本地図、第6学年のP38で世界地図が使用され、子どもたちの理解を助けている。デジタルコンテンツは、第1学年14個、第2学年16個、第3学年24個、第4学年21個、第5学年23個、第6学年16個掲載されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○二次元コードの記載位置が統一されていない。</p>
使用上の便宜	<p>○各学年の巻頭に「学習マップ」、巻末に「音楽のもと」まとめがあり、全体の構成が見通せるように配慮されている。</p> <p>○教科書の重さは、第1学年175グラム、第2学年177グラム、第3学年190グラム、第4～6学年195グラムである。</p> <p>○総ページ数は第1・2学年78ページ、第3学年80ページ、第4～6学年82ページである。</p>	<p>○「学習マップ」と「音楽のもと」まとめのページが明確に対応していない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 音 楽 】

発行者 【 教育芸術社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○ページの下部の右に、学習内容が明示されている。重要語句は、巻末のふりかえりのページに整理されている。</p> <p>○「見つける」「考える」「歌う」「つくる」「演奏する」では、それぞれの学習活動が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる。</p> <p>○音楽づくりの単元（第6学年P22など）では、音色やリズムの組み合わせを考え、試行錯誤しながら改善していく教材が設けられており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。</p> <p>○学習のめあてとふりかえりが各題材で示されており、板橋区授業スタンダードに沿った学習を行うことができる流れとなっている。第6学年P24～25「著作権について知ろう」で著作権について取り上げられており、情報モラルについて学習することができる。</p>	<p>○表紙、各ページの子どもたちのイラストや、キャラクターに鼻が描かれていないのは、人権に対する配慮が乏しい。</p>
構成・分量	<p>○「おもいだそう」（第5学年P37など）のマークがあることにより、学びの系統性を意識することができる。</p> <p>○「音楽づくり」や「鑑賞」の内容や分量に偏りはなく、学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○各校の実態に応じて弾力的に扱うことのできる教材が、第2学年7曲、第3～4学年10曲、第5学年9曲、第6学年11曲掲載されている。「チャレンジ」「ステップアップ」といった発展的な内容も扱われている。</p>	<p>○「気付いたこと」「感じたこと」を書き込ませる欄が第3学年、第6学年にしかなく、偏りがある。</p>
表記・表現	<p>○低学年では、楽譜の代わりにイラストが使われている部分があり、発達段階に応じた表記・表現がされている。</p> <p>○鍵盤ハーモニカや打楽器、木琴などの器楽指導では写真を多く使用し、第2学年P78などでは、楽器の持ち方、演奏の仕方などがわかりやすく示されている。第5学年P60には日本地図、第6学年P48には世界地図が使用され、子どもたちの理解を助けている。デジタルコンテンツは、第1学年28個、第2学年32個、第3学年32個、第4学年34個、第5学年33個、第6学年30個掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、全ての子どもたちの色覚特性に適應することを目指してデザインされている。</p>	<p>○第2学年巻末の「いろいろながつき」にマレットやばちの持ち方が示されていない。</p>
使用上の便宜	<p>○各学年の巻頭に「学習マップ」、巻末に「ふりかえりのページ」があり、全体の構成が見通せるように配慮されている。</p> <p>○教科書の重さは、第1学年172グラム、第2学年175グラム、第3・4学年182グラム、第5・6学年185グラムである。</p> <p>○総ページ数は第1・2学年83ページ、第3～6学年は87ページである。アジロ製本様式である。</p>	<p>○「学習マップ」と「ふりかえりのページ」が明確に対応しておらず、学習内容のふり返りが難しい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 図画工作 】

調査委員長

相澤 紀夫

総 評

○開隆堂出版

- ・学習のめあてが学習指導要領の三つの柱に沿って児童にとって分かりやすい表現として示されている。また、めあてに対応した振り返りの項目や、安全や片付けに対する内容も記載されている。
- ・巻末にある「学びの資料」は該当学年で使用する用具・道具の使い方について明記されている。また、用具・道具の使い方は、関連する題材のページにも表記があり、巻末への「学びの資料」と繋がっている。
- ・教科書はA4版で作品や活動の様子を大きく扱っていて見やすい。また吹き出しなどを使って発想につながるコメントが記載されていて分かりやすい。
- ・二次元コードから用具の使い方などを動画で見ることができる。
- ・一人一台端末の活用ができる活動（振り返りシート、道具の使い方）が多く組み込まれている。
- ・第5・6学年上巻P55にあるようにSDGsに関する取り組みや作品が適宜紹介されているので、環境教育にもつなげることができる。また「あわせて学ぼう」では他教科とつながりを意識して横断的に学ぶことができる。

○日本文教出版

- ・全ての題材に教科の目標に基づく学習のめあてを設け、それが学習指導要領で求められる三つの資質・能力に沿って設定されている。また、めあてに沿った振り返りの項目があり、学びの繋がりを意識しやすい。
- ・巻末の「材料と用具の引き出し」に、該当学年で使用する用具・道具の名称及び使い方のポイントが記載されている。イラストや写真も大きく、「切る」などの項目ごとにわかれている点も分かりやすい。また、第1・2学年上巻P10に「クレヨン・パスについては58ページ。」とあるように関連する題材のページにも表記があり、参照できる。
- ・各ページの右下に二次元コードが記載されており、作品や用具の使い方などのデジタルコンテンツを見ることができる。
- ・題材ページの作品コメントや吹き出しでは、活動や作品に対して児童がイメージしたり思ったりすると予想される言葉で示されており、児童にとって分かりやすい表現となっている。
- ・SDGsや各教科とのつながりは、ページ右下の「つながる学び」に記載されている。
- ・第1・2学年上巻の巻頭には幼児が工作する様子の写真が掲載され、幼保連携を意識したつくりになっている。そして第5・6学年下巻P67では9年間の美術科教育への系統性が意識できるようになっている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 図画工作 】

発行者 【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○学習のめあてが学習指導要領の三つの柱に沿って児童にとって分かりやすい表現として示されている。また、めあてに対応した振り返りの項目や、安全や片付けに対しての内容も記載されている。</p> <p>○巻末にある「学びの資料」は該当学年で使用する用具・道具の使い方について明記されている。また、用具・道具の使い方は、関連する題材のページにも表記があり、巻末の「学びの資料」と繋がっている。</p> <p>○第5・6学年上巻P55にあるようにSDGsに関する取り組みや作品が適宜紹介され環境教育につなげることができる。また、「あわせて学ぼう」では他教科とのつながりを意識して横断的に学ぶことができる。</p> <p>○第1・2学年上巻の巻頭部分に幼稚園教諭のメッセージが掲載され、保育園、幼稚園での活動を土台として図画工作の教科に期待して移行できるような幼保連携を意識した作りになっている。また、第5・6学年下巻P66では9年間の美術科教育への系統性が意識できるようになっている。</p>	<p>○「合わせて学ぼう」では他教科と関連させる内容を示しているが、第5・6学年下巻P43のスチレンボード版画から「浮世絵版画」の作品鑑賞につなげ、江戸時代の文化を考えさせることや第3・4学年P45の工作から箱の図形を考えさせる等の実際にはやりにくいものもある。</p>
構成・分量	<p>○各領域は以下巻のようになっている。</p> <p>第1・2学年上巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：8P、立体：8P、工作：14P、鑑賞：4P）</p> <p>第1・2学年下巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：8P、立体：6P、工作：16P、鑑賞：4P）</p> <p>第3・4学年上巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：6P、立体：6P、工作：16P、鑑賞：4P）</p> <p>第3・4学年下巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：6P、立体：6P、工作：16P、鑑賞：4P）</p> <p>第5・6学年上巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：4P、立体：6P、工作：14P、鑑賞：4P）</p> <p>第5・6学年下巻計69P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：4P、立体：6P、工作：12P、鑑賞：6P）</p> <p>○巻末の「学びの資料」で用具や材料の説明が記載されている。</p>	<p>○全体の構成として、鑑賞の題材が少ない。</p>
表記・表現	<p>○題材名の左上の箇所（定位置）に、その題材で使用する用具が、イラストと文字で表記されているため、何を使用するか分かりやすい。</p> <p>○教科書はA4版で作品や活動の様子を大きく扱っていて見やすい。また吹き出しなどを使って発想につながるコメントが記載されていて分かりやすい。</p> <p>○二次元コードの記載がある。</p>	<p>○写真が古いのか、第1・2学年下巻P17の児童の写真や第5・6学年上巻P10、11の作品の写真のようにピントがあっていないものがある。</p> <p>○第3・4学年下巻P40、41の「ハッピーカード」では、写真が見開きの中心に来てしまい作品の仕組みが見づらい。</p>
使用上の便宜	<p>○目次のページは表紙の裏に大きく扱っており、作品は見開き2ページあたり5～6程度あり、児童がイメージを広げやすい。</p> <p>○タブレット端末を使ってできる活動（振り返りシート、道具の使い方、二次元コード等）が多く組み込まれており、一人一台端末の活用を意識した内容になっている。二次元コードの記載は1・2年上32個、1・2年下32個、3・4年上31個、3・4年下31個、5・6年上31個、5・6年下29個である。</p>	<p>○第1・2学年下巻P30、31にあるように紙面のデザインを重視したため、写真と文字が被っている部分が見にくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 図画工作 】

発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○全ての題材に教科の目標に基づく学習のめあてを設け、それが学習指導要領で求められる三つの資質・能力に沿って設定されている。また、めあてに沿ったふりかえりの項目があり、学びの繋がりを意識しやすい。</p> <p>○巻末の「材料と用具の引き出し」に、該当学年で使用する用具・道具の名称及び使い方のポイントが記載されている。イラストや写真も大きく、「切る」などの項目ごとにわかれている点がわかりやすい。また、第1・2学年上巻P10に「クレヨン・パスについては58ページ。」とあるように関連する題材のページにも表記があり、参照できる。</p> <p>○「きをつけよう」「かたづけ」「ふりかえり」の項目が各題材ごとに定位置に記載されており、安全性及び材料の有効利用や再利用についての配慮がされている。</p> <p>○第1・2学年上巻の巻頭には幼児が工作する様子の写真が掲載され、幼保連携を意識したつくりになっている。そして第5・6学年下巻P67では9年間の美術科教育への系統性が意識できるようになっている。</p>	<p>○「つながる学び」について項目を設けてあるが、教科名やSDGSの番号についての記載はあるが、どんな内容でつなげるのか記載がないので、わかりにくい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各領域は以下巻のようにになっている。</p> <p>第1・2学年上巻計68P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：10P、立体：6P、工作：10P、鑑賞：6P）</p> <p>第1・2学年下巻計64P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：7P、立体：8P、工作：10P、鑑賞：7P）</p> <p>第3・4学年上巻計64P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：6P、立体：7P、工作：9P、鑑賞：8P）</p> <p>第3・4学年下巻計64P（領域内訳、絵：12P、造形遊び：6P、立体：6P、工作：10P、鑑賞：11P）</p> <p>第5・6学年上巻計68P（領域内訳、絵：12P、造形遊び：4P、立体：10P、工作：10P、鑑賞：8P）</p> <p>第5・6学年下巻計68P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：6P、立体：6P、工作：10P、鑑賞：8P）</p> <p>○巻末の「材料と用具の引き出し」に材料に合わせた道具の使用法や表現の仕方が記載されている。</p>	<p>○題材が多く示され、選択しながら取り組むことができるが、提示されている時数で収める内容としては厳しい部分がある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○題材ページの作品コメントやふきだしでは、活動や作品に対して児童がイメージしたり思ったりしたことが、実際に使用した言葉で示されており、児童にとってわかりやすい表現となっている。</p> <p>○図画工作の学びを振り返るページが5・6年下巻の巻末に設けられ、6年間の学びを振り返り、これからの中学校生活や人生にどう生かしていけるか考えられるようになっている。</p> <p>○各ページの右下に二次元コードの記載がある。</p>	<p>○数年使用する上で、児童のマスクをしている写真は子どもの影響が考えられる。</p> <p>○「つながる学び」は教科名のための記載なので、どのようにつなげるか分かりにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○目次が裏表紙にあり使いやすいと同時に、各題材でどのような活動をするか分かるようマークが記載されている。作品は見開き2ページに5～8程度あり、生徒が見通しをもちやすく、イメージを広げやすい。</p> <p>○タブレット端末を使ってできる活動（説明、用具の使い方、鑑賞）が二次元コードで確認できる。1・2年上に35個、1・2年下に37個、3・4年上に35個、3・4年下に36個、5・6年に37個、5・6年下に35個の記載がある。</p>	<p>○1・2年上巻は目次のページが巻末にあり、分かりにくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 家 庭 】

調査委員長

森垣 真由美

総 評

○東京書籍

- ・「①課題発見 ②課題解決・実践活動 ③評価・改善」の3ステップで学習が進められるよう系統立てて表記されている。
- ・題材の終わりに「成長の記録」(P 6～7)を記入することで、2学年間のポートフォリオが完成する。「次へのチャレンジ」は、「生活の課題と実践」(P 65, 121, 134)の学習で活用できる。
- ・「プロに聞く!」コーナーが9か所に掲載されており、学習内容と関連した職業のインタビューが記載され、キャリア教育やSDGsに寄与する内容となっている。
- ・デジタルコンテンツにアクセスする二次元コードが67か所に掲載され、「Dマーク」で示した動画コンテンツが二次元コードから活用できる。
- ・野菜の切り方や布のぬい方などの技能に関わる内容が、巻末に写真付きでまとまっている。利き手別、実物大で「手をのせてまねしてみよう」が掲載されている。
- ・目次には家庭科を学ぶ意義が示され、第5・6学年の学習項目が系統立てて色・マーク分けされている。見開きでこれまでの関連する他教科の学習も含め、全体の見通しがもてる構成になっている。

○開隆堂出版

- ・「①気づく・見つける ②わかる・できる ③生かす・深める」の3ステップで学習が進められるよう、系統立てて表記されている。
- ・巻末(P 136～P 137)では、小学校と中学校の学習のつながりを明確にして、中学校の学習の概要を記載している。
- ・「キャリアインタビュー」が20か所に掲載されており、学習内容と関連した職業のインタビューが記載され、キャリア教育やSDGsに寄与する内容となっている。
- ・右のページに二次元コードが65か所に記載され、学習内容に合わせた動画コンテンツのページへアクセスすることができる。
- ・「実習で役立つワンポイント」が巻末に利き手別に記載され、裏表紙には「野菜の切り方」が一覧でまとめられている。目盛りもついており、活用できる。
- ・巻頭の見開きページ(P 1～5)やフローチャート(P 6, 7等)では、全体の構成の見通しがもてる。目次にある家庭科の2年間の流れや各領域の系統性が、第5学年の「生活を見つめ、できることを増やしていこう」、第6学年の「工夫して生活に生かそう」の学習を含めて、一連の流れで捉えられる。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 家 庭 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として題材のタイトルの横に示し、その題材で重視する4つの視点「協力」「健康・快適・安全」「生活文化」「持続可能な社会」を明確にしている。</p> <p>○「課題発見 課題解決・実践活動 評価・改善」の3ステップで学習が進められるよう表記されている。「めあて」「ふり返ろう」が設定され、板橋区授業スタンダードに合致している。</p> <p>○「プロに聞く！」コーナーが9か所に掲載されており、学習内容と関連した職業のインタビューが記載され、キャリア教育やSDGsに寄与する内容となっている。</p> <p>○題材の終わりに「成長の記録」(P6～7)を記入することで、2学年分のポートフォリオが完成する。「次へのチャレンジ」は、「生活の課題と実践」(P65, 121, 134)の学習で活用できる。</p>	<p>○じゃがいもをゆでる調理(P22)の中のジャガイモの包丁での皮むき、及び、みそしるの調理(P48)の大根の包丁での皮むきを行う際は、特に安全面での配慮を要する。</p>
構 成・ 分 量	<p>○第5学年8題材、第6学年7題材が設定されている。題材ごとに最後に「深めよう」という項目で学習内容を更に考え、発展に繋げる構成になっている。(P19など)</p> <p>○学習指導要領で題材指定された「ふくろ」について、製作にかかわる3つの大題材(P32、P73、P106)で系統性を図っている。</p> <p>○「売買契約の基礎」の学習において、子どもの生活に即した様々な具体的な場面を示し、契約の成立の場面設定が設けられている。(P38)</p>	<p>○第5学年の2学期の題材数は4題材で、ミシン縫いで生活に役立つ物を製作する題材が3学期に設定されている。</p>
表 記・ 表 現	<p>○デジタルコンテンツにアクセスする二次元コードが67か所に掲載され、「Dマーク」で示した動画コンテンツが二次元コードから活用できる。感染症対策やSDGs(外部サイト)についての内容もある。</p> <p>○巻頭の「いつも確かめよう」(P8～11)には安全面についての注意喚起、巻末の「いつも確かめよう」(P136～145)には実習や生活の中の実践に必要な技能について、写真・イラスト・デジタルコンテンツで記載、まとめられている。</p> <p>○野菜の切り方や布のぬい方などの技能に関わる内容が、巻末に写真付きでまとまっている。利き手別、実物大で「手をのせてまねしてみよう」が掲載されている。</p>	<p>○手縫いやミシン縫いの手順を示した写真が小さい。(P30～31など)</p>
使用上の 便 宜	<p>○目次には家庭科を学ぶ意義が示され、第5・6学年の学習項目が系統立てて色・マーク分けされている。見開きでこれまでの関連する他教科の学習も含め、全体の見通しがもてる構成になっている。</p> <p>○A4判で総ページ数は148ページである。薄手の紙を使用している。</p> <p>○色覚特性に適應するデザイン、UDフォントを使用している。</p>	<p>○授業ごとの児童の学びや気づき、ステップごとに設定された振り返りを記録するにはノートやワークシートを要する。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 家 庭 】

発行者【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○家庭科における生活の見方・考え方の4つの視点を四葉のクローバーで示し（P36、P128など）、学習の中での見方・考え方を明確にしている。</p> <p>○「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで学習が進められるよう系統立てて表記されている。単元を通しての「学習のめあて」「学習をふり返ろう」が設定されている。</p> <p>○「キャリアインタビュー」が20か所に掲載されており、学習内容と関連した職業のインタビューが記載され、キャリア教育やSDGsに寄与する内容となっている。</p> <p>○巻末（P136～P137）では、小学校と中学校の学習のつながりを明確にして、中学校の学習の概要を記載している。</p>	<p>○案内役のキャラクターが様々な視点で登場するので、見方・考え方を確認しながら、学習を行う必要がある。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○第5学年11題材、第6学年9題材が設定され、前半（～P76）は「生活を見つめ、できることを増やしていこう」という基礎の習得、後半（P84～）は既習に基づいた「工夫して生活に生かそう」で構成されている。</p> <p>○各ページの下部に学習内容に関連した豆知識が111か所に設定され、実習では簡単なものから繰り返し、スモールステップで積み重ねられるよう設定されている。</p> <p>○「家族・家庭生活についての課題と実践」（P80～83）では4つの課題実践例を示している。</p>	<p>○「売買契約の基礎」の学習で、生活に即した具体的な買い物場面に関する内容において、「支払いに使えるいろいろなカード」が写真ではなくイラストである。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○右のページに二次元コードが65か所に記載され、学習内容に合わせた動画コンテンツのページへアクセスすることができる。</p> <p>○「実習で役立つワンポイント」が巻末に利き手別に記載され、裏表紙には「野菜の切り方」が一覧でまとめられている。目盛りもついており、活用できる。</p> <p>○表紙のデザインが、家庭科の授業を通して成長する姿を描いている。髪の毛や肌の色等について多様な人物の挿絵を登場させている（表紙、P33等）。</p>	<p>○P51「浸水時間と米の吸水量」では、水温による違いが示されていないため、資料を読み取り、考察する内容となっていない。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭の見開きページ（P1～5）やフローチャート（P6, 7等）では、全体の構成の見通しがもてる。目次にある家庭科の2年間の流れや各領域の系統性が、第5学年の「生活を見つめ、できることを増やしていこう」、第6学年の「工夫して生活に生かそう」の学習を含めて、一連の流れで捉えられる。</p> <p>○A4判で、総ページ数は153ページである。</p> <p>○色覚特性に適應するデザイン、UDフォントを使用している。</p>	<p>○授業ごとの児童の学びや気づき、振り返りを記録するにはノートやワークシートを要する。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 保 健 】

調査委員長 高野 康弘

総 評

- 東京書籍
 - ・第3学年の巻頭で「どんな自分になりたいか」問いかけ、第6学年の巻末で「どんな自分になれたか」確認するなど、自分自身を振り返ることを大事にしており、キャリア教育につながる内容である。
 - ・「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という流れで単元が構成されており、板橋区授業スタンダードの流れに沿っている。
 - ・学習と自己との関わりを意識させる内容となっており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で32個、第5・6学年で68個掲載されている。
- 大日本図書
 - ・どの単元も学習内容を実生活に活かす内容となっており、自分の生き方につなげた「振り返り」ができるようになっている。（板橋区授業スタンダード）
 - ・「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」という流れで構成されており、板橋区授業スタンダードの流れに沿っている。
 - ・各学年の最後に記載された「〇年生のまとめ」のページを活用して自らの学びを振り返ることができるようになっていると、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で13個、第5・6学年で26個掲載されている。
- 大修館書店
 - ・第3・4学年、第5・6学年ともに、「タブレットを使って楽しく学ぼう！」のページが設定されており、一人一台端末の活用方法が分かりやすく示されている。
 - ・「ステップ1」（課題をつかむ）「ステップ2」（課題を解決する）「ステップ3」（学習をまとめる）という流れで構成されているため、課題解決的な学習につなげやすい。
 - ・各単元末に記載された「学習をふり返ってみよう」のページを活用して自らの学びを振り返ることができるようになっているなど、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で20個、第5・6学年で38個掲載されている。
- 文教社
 - ・第5・6学年では、単元の内容に応じてアスリートや歯科医師、警察官からのメッセージが掲載されている。
 - ・「学習のめあて」を明示するとともに、本時の流れが「本時のメニュー」として示されているため、児童が学ぶ内容が明確になっている。
 - ・毎時間の振り返りとして「もう一歩先の自分へ」という項目が設定されており、自己調整しながら主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で6個、第5・6学年で23個掲載されている。
- 光文書院
 - ・オリンピックやパラリンピアン、作家やミュージシャンからのメッセージが掲載されており、多様な生き方と健康の関連について考えることができる内容になっている。
 - ・「自分の生活を振り返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」という流れで構成されており、学習内容を自己の生活につなげやすくなっている。
 - ・各単元の導入ページにおいて、その単元をなぜ学ぶのかという意義がマンガで示されており、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で15個、第5・6学年で26個掲載されている。
- Gakken
 - ・各単元末に設定されたまとめのページを活用することで、学習内容と現在の自己の生活や未来の生活と結び付けることができる内容となっている。
 - ・「振り返る」「話し合う」「学びを生かす」の3段階の流れで構成されているため、学習内容を自己の生活につなげやすくなっている。
 - ・単元の始めのページに、学習する内容や他教科との関連が示されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で16個、第5・6学年で25個掲載されている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第6学年P44「病気の予防」では教科書を使って調べたり、意見を伝え合ったりできるなど基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○第5学年P6「心の健康」では不安や悩みがあるときの自分なりの解決方法を書きこめるなど、自分の考えを表現できるような内容である。</p> <p>○第4学年P28「体の成長とわたし」では、自分自身の身長伸びをグラフや計算式で表せるようになっているなど、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。</p> <p>○第3学年の巻頭で「どんな自分になりたいか」問いかけ、第6学年の巻末で「どんな自分になれたか」確認するなど、自分自身を振り返ることを大事にしており、キャリア教育につながる内容である。</p>	<p>○第5学年P13「不安や悩みがあるとき」では、児童自身の悩みを直接記入させるようになっているため、他者に見えないようにする等の配慮が必要である。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という流れで単元が構成されており、板橋区授業スタンダードの流れに沿っている。</p> <p>○一単位時間あたり4ページから6ページで構成されている。</p> <p>○発展的な内容として、第4学年P38「性と自分らしさ」第5学年P42「熱中症」第6学年P53「新型コロナウイルス」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○第6学年P56からP57「生活習慣病の予防」では、円グラフ、専門用語の説明、文章、イラスト、二次元コードを活用した動画資料など、多様な種類の資料が数多く掲載されており、1単位時間あたりの情報量が多い。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第4学年P34「思春期にあらわれる変化」では体の変化について、男子特有の変化、女子特有の変化、男女共通の変化と分類して表記するなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で32個、第5・6学年で68個掲載されている。</p> <p>○知識として着実に定着させたい言葉を太字で目立たせるなど、配慮されている。</p>	<p>○第5学年「自然災害によるけがの防止」内で家屋の倒壊、津波、火災の写真が使用されている。</p>
使用上の便宜	<p>○ワークシート等がなくても児童が書き込みながら学習を進めることができるように配慮されている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は45ページで152グラム、第5・6学年は77ページで重さが237.5グラムある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。再生紙・植物油インキを使用している。</p>	<p>児童が学習のまとめを記入する欄が左上に設定されているため、右利きの児童にとっては書きづらい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第6学年P42「病気の起こり方」では自己の経験を振り返ることから始まり、教科書を使って調べたり、話し合ったりすることで基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○各単元で児童同士で話し合う場面を想定しており、思考力、判断力、表現力等の能力を育む内容である。</p> <p>○各学年の最後に記載された「○年生のまとめ」のページを活用して自らの学びを振り返ることができるようになっており、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○学習内容を実生活に活かせるよう「活かそう」という書き込める欄があり、内容となっており、自分の生き方につなげた「振り返り」ができるようになっている。</p>	<p>○第5学年「けがや事故の原因」では、単純な状況のみを示したイラストから原因を探る内容となっている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」という流れで構成されており、板橋区授業スタンダードの流れに沿っている。</p> <p>○基本的に一単位時間あたり2ページで構成されている。資料の量によって4ページで構成されているものもある。</p> <p>○発展的な内容として、第4学年P39で「さまざまな性」第5学年P36で「プライベートゾーン」P38で「熱中症」、第6学年P48で「新型コロナウイルス」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○学習のまとめとなる「まとめる」の欄には、初めから全て内容が記載されているため、児童が自分の言葉でまとめることにつながらない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第4学年P30からP31「思春期にあられる体の変化」では「思春期」や「性器」などの用語を分かりやすく説明するなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で13個、第5・6学年で26個掲載されている。</p> <p>○内容によって文章の文字の大きさを変えるなど、配慮されている。</p>	<p>○重要語句が太字で強調されていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭に示されている折り込みカードのページを使い、情報を制限することで児童の主体的な学びにつなげられるようになっている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は45ページで187.5グラム、第5・6学年は69ページで重さが265グラムある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙・植物油インキを使用している。表紙は光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしている。</p>	<p>○児童が自分の気付きや考えを書きこむ欄が少ない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 大修館書店 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第6学年P46「病気の起こり方」では、課題に対して自ら考えたり、教科書から読み取ったことをまとめたりする活動を通して、基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○課題を解決するための活動として第3学年、第4学年では「話し合おう」「考えよう」「調べよう」、第5学年、第6学年ではそれに加え「やってみよう」の活動を示し、思考力、判断力、表現力等の能力を育む内容である。</p> <p>○各単元末に記載された「学習をふり返ってみよう」のページを活用して自らの学びを振り返ることができるようになっていたりなど、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第3・4学年、第5・6学年ともに、巻頭に「タブレットを使って楽しく学ぼう！」のページが設定されており、一人一台端末の活用方法が分かりやすく示されている。</p>	<p>○第5学年P39「けがの手当」では、具体的な手当の方法についての動画資料がなく、イラストと文章からのみの説明となっている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○どの単元も「ステップ1」（課題をつかむ）「ステップ2」（課題を解決する）「ステップ3」（学習をまとめる）という流れで構成されているため、課題解決的な学習につなげやすい。</p> <p>○どの単元も一単位時間あたり2ページから4ページで構成されている。</p> <p>○発展的な内容として、第4学年P47で「よりよい関係づくり」、第5学年P40で「熱中症」、第6学年P54、P55で「新型コロナウイルス」、P69「スマホ・ゲーム依存」について掲載している。</p>	<p>○本時で押さえない知識が「ステップ2」（課題を解決する）と「ステップ3」（学習をまとめる）の間に記載されており、強調されていないため、分かりにくい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第4学年「思春期の体の変化」では初経や精通について、「わたしからのアドバイス」という形式で、児童に安心を促す表現が用いられるなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で20個、第5・6学年で38個掲載されている。</p> <p>○第5学年P33「学校や地域でのけがの防止」では、学校や地域での安全な環境づくりに関する写真を12枚使用している。</p>	<p>○第5学年「不安や悩みへの対処②」（P18）で示されている棒グラフの出典年次が明記されていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○どの単元も、教科書右下の欄に、児童が自らまとめを記述するようになっている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は49ページで156.5グラム、第5・6学年は73ページで重さが213.5グラムある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙・植物油インキを使用している。表紙は光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしている。</p>	<p>○文章中の大切なキーワードがゴシック太字となっているが、目立たない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 文教社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第6学年P48からP50「病気の予防」では、風邪をひく原因を9つのケースから選んだり、病気の理由について自分の言葉で書いたりする活動を通して、基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○各単元末に、学んだことを生かして自己の行動を改善しようとすることを表現する「わたしの●宣言」の欄が設けられているなど、思考力、判断力、表現力等の能力を育む内容である。</p> <p>○毎時間の振り返りとして「もう一歩先の自分へ」という項目が設定されており、自己調整しながら主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第5・6学年では、単元の内容に応じてP55アスリートやP64歯科医師、P82警察官からのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○第5学年P14「不安や悩みへの対処①」では、児童自身の悩みを直接記入させるようになっているため、他者に見えないようにする等の配慮が必要である。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○どの単元も「学習のめあて」を明示するとともに、本時の流れが「本時のメニュー」として示されているため、児童が学ぶ内容が明確になっている。</p> <p>○どの単元も一単位時間あたり2ページから5ページで構成されている。</p> <p>○第5学年P30で「自転車の安全点検」、P44で「熱中症」、P51で第6学年で「新型コロナウイルス」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○教科書に示された流れで学習を進めると考えを伝えたり、発表したりするなどのアウトプットの場面を設定しづらい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第4学年P27「思春期の体の変化」では「変化の時期は、みんな同じなのかな？」など、個人差があることに配慮した表記があり、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で6個、第5・6学年で23個掲載されている。</p> <p>○単元の導入では一面に広がるような大きな写真を活用している。</p>	<p>○学習の流れの中に「Mission」「Stage」など、児童にとって分かりにくい文言が使用されている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○振り返りにあたる「もう一歩先の自分へ」の項目では自分自身について直接記述しながら振り返ることができる。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は37ページで155グラム、第5・6学年は83ページで重さが309.5グラムある。</p> <p>○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮して編集している。森林認証紙、環境に配慮したインキを採用している。</p>	<p>○児童が自分の気付きや考えを書きこむ欄が少ない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 光文書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第5学年P8からP11「心の発達」では、教科書から調べたり、自分の経験を振り返って分かったことを記述したりする活動を通して、基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○学習の流れの中で「考えよう」や「話し合おう」といった活動が設けられているなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○各単元の導入ページにおいて、その単元をなぜ学ぶのかという意義がマンガで示されており、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○巻頭にオリンピックやパラリンピアン、作家やミュージシャンからのメッセージが掲載されており、多様な生き方と健康の関連について考えることができる内容になっている。</p>	<p>○各学年末に「学習のまとめ」のページが設定されているが、言葉を選択するのみとなり、基礎的な知識を振り返るにはやや内容が不足している。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○どの単元も「自分の生活を振り返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」という流れで構成されており、学習内容を自己の生活につなげやすくなっている。</p> <p>○一単位時間あたり2ページから4ページで構成されている。</p> <p>○第3学年P15で「スマートフォンなどの使い方と生活のリズム」第4学年P33で「性についての悩み」第6学年P46で「新型コロナウイルス」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○学習のまとめとなる「まとめる」の欄には、初めから全て内容が記載されているため、児童が自分の言葉でまとめることにつながらない。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第4学年「思春期の体の変化」では体の変化の様子について、単純化した絵や図を用いて工夫して表現するなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で15個、第5・6学年で26個掲載されている。</p> <p>○「健康な生活」はオレンジ、「体の発育と健康」は青など、単元ごとにテーマカラーが決まっている。</p>	<p>○第3学年「健康な生活」P10の中で文字が小さく読みにくい表現がある。</p>
使用上の便宜	<p>○第3学年、第4学年の巻末、第5学年、第6学年の巻末ではSDGsについて扱っており、保健の学習とSDGsとの関連を理解できるようにしている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は41ページで134グラム、第5・6学年は65ページで重さが195.5グラムある。</p> <p>○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮して編集している。ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙および植物油インキを使用している。</p>	<p>○第5・6学年の教科書内において、中学校とのつながりについての記載がなく、系統性の意識がもちにくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 Gakken 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第4学年P32「大人に近づく体」では、課題に対して自分の考えを記入したり、教科書から読み取ったりすることで、基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○学習の流れの中で「話し合おう」や「意見を出し合おう」といった活動が設けられているなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○単元の始めのページに、学習する内容や他教科との関連が示されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○各単元末に設定された「振り返る」「伝える」「つなぐ」というまとめのページを活用することで、学習内容と現在の自己の生活や未来の生活と結び付けることができる内容となっている。</p>	<p>○第5学年P39「けがの防止」の発展では、インターネットのトラブル防止が扱われているが、情報量が少ない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○どの単元も「振り返る」「話し合う」「学びを生かす」の3段階の流れで構成されているため、学習内容を自己の生活につなげやすくなっている。</p> <p>○一単位時間あたりおおむね4ページで構成されている。</p> <p>○第4学年P24で「タブレットを使うときには」第4学年P45で「性についての心の多様性」第5学年P43で「熱中症」第6学年P57で「新型コロナウイルス」、P77で「医薬品の正しい使い方」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○第3学年P20からP23の「身の回りのかんきょう」では一単位時間当たりに教科書に書き込む箇所が7箇所とやや多い。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第4学年の「体の発育・発達」では単元名を「体の中で起こる変化」とすることでよりよい理解を促すなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で16個、第5・6学年で25個掲載されている。</p> <p>○「話し合おう」「自分の考えを書こう」など、学習活動につながる文言が太字で表されている。</p>	<p>○第5学年P44「自然災害や緊急事態に備えて」で扱われている写真は、家屋の倒壊、津波、火災の写真が使用されており、震災を経験した児童への配慮が必要である。</p>
使用上の便宜	<p>○教科書の巻頭に「みんなで学びを深めよう」の欄が設定され、見方・考え方を使った学び方が示されている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は49ページで134グラム、第5・6学年は89ページで重さが252.5グラムある。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮して製作している。ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。</p>	<p>○第3学年の発達段階においては、一単位時間に4ページの学習内容はやや多い。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 英 語 】

調査委員長

菊池 宏一

総 評

- 東京書籍
 - ・ほぼ全てのページに書き込む欄があり、「書くこと」を意識した内容となっている。
 - ・全てのUnitの学習の流れが「Starting Out → your turn → Enjoy Communication → Over the Horizon」となっており、指導者も学習者も見通しがもてる構成になっている。
 - ・スピーチやプレゼンテーションを作成する準備過程が書き留められるので、児童がsmall stepで考えながら学習を進めることができる。
 - ・付録のDictionaryを使用するページの指示が的確で、学習者が活用しやすい。
- 開隆堂出版
 - ・単元の導入では、簡単なゲームやアクティビティなどを行い、「話すこと」を重視した内容となっている。
 - ・場面設定が日本語で詳しく書かれているため、児童がイメージをもちやすく、学習に見通しをもつことができる。
 - ・第3学年、第4学年の外国語活動で学んだことのつながりを意識した構成になっている。
 - ・各学年用のWord Bookがあり、児童にとって使いやすく、指導者にとっても指導しやすい。
- 三省堂
 - ・学習の流れ（Let's watch - Listen - Speak - Play - Talk）＋（Read & Write）が統一されており、見通しをもって学習を進められる。
 - ・単元末尾にあるFun Boxは、既習内容を復習する上で有効であり、自学自習に訳に立つ内容である。
 - ・第5学年P39「世界のおはなし」、5年P50「Hello World」等が、発展的な内容であり、異文化理解をする上で有効である。
 - ・巻末にある英文を書くカードが充実しており、表現の幅が広がる。
- 教育出版
 - ・Lesson内容は、Let's Watch → Let's Listen → Activityと設定しており、「聞くこと」「話すこと」を中心にコミュニケーションに慣れる場面をLessonのまとめとしている。
 - ・各LessonごとのGoalが提示されており、Lessonの振り返りはクローバーの三つ葉（3段階評価）となっている。
 - ・二次元コードの中に、音声・動画・音楽のどれかが分かるよう表記がある。
 - ・教科書のサイズが小さめ（26cm×20.5cm）なので、机での作業スペースがとれる。
- 光村図書出版
 - ・unitがHop→Step→Jumpの構成になっており、単元のゴールに向かい、何をどのように学んでいくかが、明確に示されているため、指導者も学習者も見通しをもつことができる。
 - ・国語と関連させて、第5学年P30のように、言葉について考える内容が設定されている。
 - ・各STEPの右ページ下にpicture dictionaryの参照すべきページが記載されており、活用しやすい。
 - ・教科書のサイズが小さめ（26cm×20.5cm）なので、机での作業スペースがとれる。
- 新興出版社啓林館
 - ・各unitにGoalを設定しており、Stepごとの児童の活動のめあてが示されている。
 - ・5、6年ともに、巻頭に「コミュニケーションに大切なこと」として「発表」「やりとり」、巻末に「会話を楽しむフレーズ集」など、activityを行う際のアドバイスが掲載されている。
 - ・各unitのstep3に「Friend around the World」という「聞くこと」のコーナーがあり、同世代の生活を取り上げることで、より世界に関心を高めることができる。
 - ・各「chant」のコーナーでは、強くする発音を赤丸で示し、発音の上げ下げを青の矢印で示すことで、発音を意識することができる。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○全てのUnitの学習の流れが「Starting Out →your turn→Enjoy Communication → Over the Horizon」となっており、指導者も学習者も見通しがもてる構成になっている。</p> <p>○ほぼ全てのページに書き込む欄があり、「書くこと」を意識した内容となっている。</p> <p>○単元や一単位時間のめあてが明確となっており、各単元の最後は、世界に視点をおいためあてとなっている。</p> <p>○英語を書かせる場合は、4線を設定し、6年のP2, 3において、名前の書き方、単語の書き方、文の書き方のポイントが提示されていたり、複数の文を書かせる際には例文があるなど、「書くこと」の活動を段階的に進めることができる。</p>	<p>○2ページを1単位時間で扱う流れになっており、記述する箇所が多く設定され、「話すこと・聞くこと」に欠かせない例文や発話する量が少ない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○check your stepsを活用することにより、Hop→step→jumpと自己評価ができるとともに、別冊の巻末Can doの樹によってできたことが把握しやすい。</p> <p>○スピーチやプレゼンテーションを作成する準備過程が書き留められるので、児童がsmall stepで考えながら学習を進めることができる。</p>	<p>○やや総合的な学習のようなイメージマップやチャートの書き込みが多く、教科書というよりワークブックのようにになっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードが第5学年に76、第6学年に72、別冊に58ある。</p> <p>○設問やactivityの指示がわかりやすく、児童が主体的に取り組むことができる。</p> <p>○見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>○第5学年巻頭のように、二次元コードが、閉じページ側にあるところが数か所あり、読み取りにくいことが懸念される。</p>
使用上の便宜	<p>○重さは5年、6年ともに270g、付録のDictionary130gである。</p> <p>○巻末の絵カードにミシン目があり、絵カードやコミュニケーションカードも多く活用しやすい。</p> <p>○付録のDictionaryを使用するページの指示が的確で、学習者が活用しやすい。またP42のCan doの樹は、具体的にできたことが分かり、所見を記載する際にも活用できる</p>	<p>○Dictionaryが5, 6年共通のため、耐久性に不安がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○単元または一単位時間のゴールが明確に示されている。 ○単元の導入では、簡単なゲームやアクティビティなどを行い、「話すこと」を重視した内容となっている。 ○単元の終わりに、Around the World というコラムや、Story Timeという物語を掲載し、児童の興味・関心を高める工夫がある。 ○関連教科やSDGsとのつながりがマークで記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」については、ノートなどを使って補充が必要である。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○Let's play の内容がゲーム的要素を盛り込んでいるため、児童の学習活動に対する意欲を引き出す工夫が見られる。 ○第5学年P8、P9のように、第3学年、第4学年の外国語活動で学んだことのつながりを意識した構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末カードの量が52枚と少ないため、指導の際に工夫が必要である。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○場面設定が日本語で詳しく書かれているため、児童がイメージをもちやすく、学習に見通しをもつことができる。 ○基本的な色合いが、カラーユニバーサル視点から、児童が見やすくなるように配慮されている。 ○二次元コードが第5学年教科書に57、第5学年ワードブックに51、第6学年教科書に57、第6学年ワードブックに53掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第6学年の最後の単元（P100）で紹介されている有名人たちについて、子どもたちにはなじみが薄い可能性がある。（佐野豊さん、高橋尚子さん、小柴昌俊さん）
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○重さは5年、6年ともに330g、Word Book100gである。 ○各学年用のWord Bookがあり、学習者にとって使いやすく、指導者にとっても指導しやすい。また、教科書とWord Bookが同じ大きさなので、持ち運びしやすい。 ○教科書の折り込みページが巻末にまとめられているため、ページをめくりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○CAN - D0チェックのスペースが狭いため、教科書への記述が十分にできない。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 三省堂 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○学習の流れ (Let's watch - Listen - Speak - Play - Talk) + (Read & Write) が統一されており、見通しをもって学習を進められる。</p> <p>○単元のはじめに、ゴールが書かれており、一単位時間ごとのめあてはページが進むごとに表記されている。</p> <p>○ページ右下のミニ情報が充実しており、英語を理解する上で有効である。</p> <p>○単元末尾にあるFun Boxは、既習内容を復習する上で有効であり、自学自習に役に立つ内容である。</p>	<p>○第5学年P17 Let's Playの内容が難しく、児童にとってなじみのない人物の可能性はある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第6学年の巻末 (This is me!!) は、復習したことを記入して、掲示物としても活用できる。</p> <p>○第5学年P39「世界のおはなし」、5年P50「Hello World」等が、発展的な内容であり、異文化理解をする上で有効である。</p>	<p>○第5学年Let's Read & Writeで使用する巻末ワークシートの単語の文字が小さい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードが各ページの右上に第5学年が54、第6学年が55、My Dictionaryが62あり、使いやすく読み取りやすい。</p> <p>○紙面に適度な余白があり、見やすい。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されており、また、環境にやさしい用紙とインキを採用している。</p>	<p>○人物のイラストが場面により異なり、統一感がないものがある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○重さは、5年、6年ともに300g、My Dictionaryは115gである。</p> <p>○巻末にある英文を書くカードが充実しており、表現の幅が広がる。</p> <p>○My Dictionary P44～45の「CAN - DO」によって、学習したことを振り返ることができ、評価にも活用しやすく、また、P46～49に「さくいん」があることで、分からない単語を調べやすい。</p>	<p>○Dictionaryが5、6年共通のため、耐久性に不安がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson内容は、Let's Watch→ Let's Listen → Activityと設定しており、「聞くこと」「話すこと」を中心にコミュニケーションに慣れる場面をLessonのまとめとしている。 ○各LessonごとのGoalが提示されており、Lessonの振り返りはクローバーの三つ葉（3段階評価）となっている。 ○sounds and lettersで音声を「聞くこと」を、Reviewでアルファベットや文を「書くこと」を扱うページとなっている。 ○第5学年P41のようにLet's Look at the Worldでは、SDGsを意識した内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一単位時間ごとのめあてはない。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○activityでは、友だちとのインフォメーションギャップを意識したインタビュー（クイズ）を活動に活かしている。 ○第5学年、第6学年ともに「はってん」としてEnjoy the musicを扱っており、歌を通して英語に慣れ親しむようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5, 6年ともに見開きで名所・名物マップがあるが、必要な情報を得るために指導を工夫する必要がある。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○紙面に適度な余白があり、資料や絵を見ればやるべき活動が分かりやすい。 ○二次元コードが第5学年教科書に71、第6学年教科書に59掲載されており、二次元コードの中に、音声・動画・音楽のどれかが分かるよう表記がある。 ○カラーユニバーサルデザインを採用してる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5, 6年ともに同じキャラクターを登場させてはいるが、一貫性がなく親しみにくいと感じる児童がいる可能性がある。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○重さは、5年320g、6年320gである。 ○5, 6年ともに巻頭にクラスルーム・イングリッシュやタブレット端末の使い方、学校生活で気を付けることを音声で案内している。 ○26cm×20.5cmのサイズなので机での一人一台端末と一緒に出しても、作業スペースがとれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5年巻末に活動用シールがあるが、シールだと一度貼ってしまうと変更等がしにくい。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元のゴールに向かい、何をどのように学んでいくかが、明確に示されているため、指導者も学習者も見通しをもつことができる。</p> <p>○国語と関連させて、第5学年P30のように、言葉について考える内容が設定されている。</p> <p>○発展的な内容として、第6学年P61のように、ICTを活用した学習についてのページや、第6学年P94、95の「English Festivalを開こう。」など、楽しく意欲的に活動ができる内容になっている。</p> <p>○SDGsに関わる環境問題を多く取り上げており、英語の物語を通して考えることができる。</p>	<p>○「書くこと」の活動が少ないため、指導を工夫する必要がある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○トピックとして「世界の友達」が各学年に配置されており、世界の同世代を知り、さらに世界に興味を広げるきっかけになる。</p> <p>○脚注に、英語らしく発音するためのヒントが紹介されている。</p>	<p>○Can do Listが☑のみの評価となっており、自己評価を記載することができない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードが第5学年に56、Picture Dictionaryに31、第6学年に54、Picture Dictionaryに24、掲載されている。</p> <p>○児童の学習負担を軽減するため、アルファベットが読みやすく、書き文字との差があまりない書体が使われている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを採用している。</p>	<p>○なぞり書きや、書き出しが示されていない箇所もあり、書くことを苦手としている児童には指導をしにくい部分がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○重さは、5年360g、6年330gである。</p> <p>○各STEPの右ページ下にpicture dictionaryの参照すべきページが記載されており、活用しやすい。</p> <p>○26cm×20.5cmのサイズなので机での一人一台端末と一緒に出しても、作業スペースがとれる。</p>	<p>○ピクチャーディクショナリーの日本語の説明が少なく、絵から類推するのが難しいものがある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各unitにGoalを設定しており、Stepごとの児童の活動のめあてが示されている。</p> <p>○「書くこと」「読むこと」の内容をUnitの終わりにまとめて設定している。</p> <p>○各unitのstep3に「Friend around the World」という「聞くこと」のコーナーがあり、同世代の生活を取り上げることで、より世界に関心が高めることができる。</p> <p>○生活をよくするための工夫として、SDGsについて第6学年P48、49に特設ページを設け、各国の取組が掲載されている。</p>	<p>○英文を書くページが豊富に設けられているが、書く量が多く、「書くこと」が苦手な児童への支援が必要となる。</p>
構成・分量	<p>○第5学年、第6学年ともに、巻頭に「コミュニケーションに大切なこと」として「発表」「やりとり」、巻末に「会話を楽しむフレーズ集」、activityを行う際に、Tipsとしてコミュニケーションする際のアドバイスを掲載している。</p> <p>○「Did you know?」やChallengeでは、世界のカルチャーを知ったり、activityを発展させたりできる。</p>	<p>○Can do Listが☑のみの評価となっており、自己評価を記載することができない。</p>
表記・表現	<p>○各「chant」のコーナーでは、第5学年P37のように、強くする発音を赤丸で示し、発音の上げ下げを青の矢印で示すことで、発音を意識することができる。</p> <p>○二次元コードが第5学年教科書に132、第6学年教科書に134掲載されている。</p> <p>○見やすいユニバーサルデザインフォントや個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色やデザインを使用している。</p>	<p>○二次元コードがページの内側にある箇所があり、読み取りにくい。</p>
使用上の便宜	<p>○重さは、5年385g、6年380gである。</p> <p>○巻末にWord listがあり、扱う単語数も多い。（第5学年のP108～P128）</p> <p>○絵カードのミシン線も切り取りやすい。</p>	<p>○巻末の会話をを楽しむフレーズにミシン線があり切り離すことができるが、活用方法については、工夫が必要である。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 道 徳 】

調査委員長

松野 薫子

総 評

- 東京書籍（別冊ノートなし）
 - ・全学年のP6・7に道徳の学び方として、「気づく→考える→広げる・深める」という学び方が示され、板橋区授業スタンダードに沿った学習展開を行いやすい。
 - ・地域教材は、第6学年P25のように自分たちのまちのよいところについて考える内容になっており、iカリキュラムとつなげて指導しやすい。
 - ・「つながる・広がる」では、詩、多数の写真や学校で歌われている曲の歌詞など、他教科の学習や実生活と関連した内容を取り上げている。
 - ・考えるためのツールとして、〈こころのメーター〉〈こころのものさし〉〈こころのちず〉が巻末に載っている。〈こころのメーター〉はインターネットでも使用可能となっている。
- 教育出版（別冊ノートなし）
 - ・全学年のP4・5に「考えよう」「深めよう」「つなげよう」という学び方が示され、めあてをもって主体的に解決をする流れを行いやすい。
 - ・第2学年P43のように、「特に大切にしているテーマ」として取り上げられている教材のあとには必ずコラムがついており、より学びを深くすることができる。
 - ・教材文の終わりに、「しっかり考えられた」「新しく気付いたことがあった」「大切にしたいことがわかった」と自己評価を記入する欄がある。
 - ・ほぼ全ての教材に「まなびリンク」として、教科書の二次元コードで読み取り、教材の解説や資料が出せるようになっている。
- 光村図書出版（別冊ノートなし）
 - ・第2学年～第6学年のP8・9に「道徳みちあんない」として、1年間の流れが示されている。
 - ・第1学年P80のように、「演じて考えよう」が各学年に設定されており、演技をすることだけではなく、その演技から考えられることを話し合えるよう活動例が示されている。
 - ・巻末に、内容項目別教材一覧や現代的な課題等との関わりがまとめられている。
 - ・第5学年P54・62のように掲載されている写真が鮮明で、内容によく合っている。
- 日本文教出版（別冊ノートあり）
 - ・第1学年P16のように、本編教材に関連する問題解決的な学習や体験的な学習を促す「ぐっと深める」が各学年で設定されている。
 - ・P2・3に「道徳のとびら」P4・5に「道徳の学び方」があり、道徳の授業開きや、学習の見通しをもたせるために活用しやすくなっている。
 - ・教材と道徳ノートに全て二次元コードが付いており、各教材のスタートがすべて見開きになっている。
 - ・教科書の巻末に、内容項目別教材一覧や現代的な課題等との関わりがまとめられている。
- 光文書院（別冊ノートなし）
 - ・日本や地域の伝統・文化に触れる教材では、第5学年「世界の文化遺産（P82）」のように、地域や文化財を指定している内容と、第2学年「ぼくのまちも、ひかってる！（P64）」のように、自分の地域で活用できるようにはっきりさせていない内容のものと両方ある。
 - ・全学年の巻頭P2・3に「ゆたかな心」があり、道徳の授業開きや学習の見通しをもたせるために活用しやすくなっている。
 - ・教材の最後に「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」があり、問題解決的な流れを意識した構成になっている。
 - ・全学年でP6・7に「いろいろなやり方で考えてみよう」があり、考えを整理する方法を表すページがある。
- Gakken（別冊ノートなし）
 - ・板橋区で実際に児童が行った出来事が題材として扱われている。（第6学年P156～P159「届け！ぼくらの願い」）
 - ・全学年「道徳の学習が始まるよ（P8・9）」では、第1・2学年で道徳の学習内容、第3・4学年で自分を見つめ深めるポイント、第5・6学年で考えを深めるステップが記載されている。
 - ・各教材のスタートがすべて見開きになるよう配慮されている。
 - ・全学年P2、3で「つながる私 広がる私」では、教育課題の紹介と自分のことを記述することができ、自分の興味や関心のあるものと道徳科との関わりを知ることができる。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートカリキュラムで活用できる教材が7時間分あり、保幼小接続に対応しているため、児童がスムーズに道徳の学習に入ることができる。 ○地域教材は、第6学年P25のように自分たちのまちのよいところについて考える内容になっており、iカリキュラムとつなげて指導しやすい。 ○全学年のP6、7に道徳の学び方として、「気づく→考える→広げる・深める」という学び方が示され、板橋区授業スタンダードに沿った学習展開を行いやすい。 ○「つながる・広げる」の資料では、第6学年P103のように考えさせるページがあるため、学級での指導に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第6学年教材に「ばかじゃん」というタイトルの教材がある。ただし、内容的には自分ごととして考えやすい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文に「安全・安心」「いじめについて」「情報モラル」「いのちについて」「じぶんについて」という5つのユニット（まとまり）が取り入れられている。 ○本編教材は、第1学年は34編、第2学年～第6学年は35編ある。 ○「つながる・広がる」では、詩、多数の写真や学校で歌われている曲の歌詞など、他教科の学習や実生活と関連した内容を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助教材がないので、道徳の余剰時間がある場合には、東京都教材集や他の教材を活用するか、2時間扱いなどで工夫をする必要がある。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○本教材35編、ほぼすべての教材に二次元コードがあり、多様なコンテンツで学びを広げることができる。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年P30のように、教材文が見開きで完結しておらず、次の教材が始まっているものがあり、児童の集中を削ぐ可能性がある。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○考えるためのツールとして、〈こころのメーター〉〈こころのものさし〉〈こころのちず〉が巻末に載っている。〈こころのメーター〉はインターネットでも使用可能となっている。 ○「つながる・ひろがる」には内容項目と関連した書籍の紹介やコラム、動画がある。 ○AB版で横幅が広い。重さが他の教科書に比べて軽い（第1学年：141ページ、第2学年：157ページ、第3学年171ページ、第4学年171ページ、第5学年179ページ、第6学年187ページ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末にある「学習の記録（心に残ったお話について書きましょう。）」は、一つの枠が縦10.7cm、横4.3cmで、罫線が4本であり、児童にとって小さいと感じる可能性がある。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 道 徳 】

発行者【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題に対応した教材がある。(例 3年「エプロン」(P42)「おそろしいゲームいぞん」(P50)) ○LGBTについて取り扱う教材がある。(3年:「タンタンタンゴはパパがふたり」P124) ○全学年のP4・5に「考えよう」「深めよう」「つなげよう」という学び方が示され、めあてをもって主体的に解決をする流れを行いやすい。 ・第6学年P176のように、巻末には、SDGsとの教材が記載されており、関連教材が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートカリキュラムで活用できる教材が3時間分である。
構 成・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○本編教材のみの扱いで、本編教材が第1学年で30編、補充教材が4編、第2学年～第6学年で30編、補充教材が5編ある。 ○第2学年P43のように、「特に大切にしたいテーマ」として取り上げられている教材のあには必ずコラムがついており、より学びを深くすることができる。 ○教材文の終わりに、「しっかり考えられた」「新しく気付いたことがあった」「大切にしたいことがわかった」と自己評価を記入する欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助教材がないので、道徳の余剰時間がある場合には、東京都教材集や他の教材を活用するか、2時間扱いなどで工夫をする必要がある。
表 記・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○ほぼ全ての教材に「まなびリンク」として、教科書の二次元コードで読み取り、教材の解説や資料が出せるようになっている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年P29のように、教材文が見開きで完結しておらず、次の教材が始まっているものがあり、児童の集中を削ぐ可能性がある。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に道徳の学び方について掲載されている。 ○巻末に学年の発達段階に応じた資料が掲載されている。 ○AB版で横幅が広い。(第1学年152ページ、第2学年152ページ、第3学年160ページ、第4学年160ページ、第5学年176ページ、第6学年176ページ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の振り返りシートは切り取り線があり、児童が紛失してしまう恐れがあるなど、管理に工夫が必要である。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○吹き出しに自分で言葉を書き入れられる教材（例 （第1学年P102「ジャングルジム」、第3学年P125「まわりを見つめて」）があり、児童の問題解決能力を育成することができる。</p> <p>・スタートカリキュラムで活用できる教材が7時間分あり、保幼小接続に配慮している。</p> <p>・第1学年P80のように、「演じて考えよう」が各学年に設定されており、演技をすることだけではなく、その演技から考えられることを話し合えるよう活動例が示されている。</p> <p>・各学年に教材とコラムを組み合わせた現代的な課題等との関わりで「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「国際理解」「共生・福祉」「キャリア教育・社会参画」などが設定されている。</p>	<p>○伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の内容項目では、昔遊び、おせち、風呂敷、祭太鼓、曲げわっぱ、菅島を取り扱っており、似たような話合いの展開になってしまう可能性がある。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○第2学年～第6学年のP8・9に「道徳みちあんない」として、1年間の流れが示されている。</p> <p>○教材の配列が、学期ごとにテーマを設け、発達段階に合わせて並べられている。</p> <p>○「こころをかよわそう」や「コラム」、「なんだろうなんだろう」（ヨシタケシンスケ）が、各学年に配置されており、考えたり話し合ったりできる発展的な内容になっている。</p>	<p>○補助教材がないので、道徳の余剰時間がある場合には、東京都教材集や他の教材を活用するか、2時間扱いなどで工夫をする必要がある。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第5学年P54・62のように掲載されている写真が鮮明で美しく、内容によく合っている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p>	<p>○第5学年P33のように、教材文が見開きで完結しておらず、次の教材が始まっているものがあり、児童の集中を削ぐ可能性がある。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭の「どうとくがはじまるよ」では、道徳の学び方について、児童に分かりやすく示している。</p> <p>○巻末に、内容項目別教材一覧や現代的な課題等との関わりがまとめられている。</p> <p>○変形AB版（縦25.7cm、横19.2cm）である。他の教科書に比べて軽い。（第1学年128ページ、第2学年160ページ、第3学年176ページ、第4学年184ページ、第5学年192ページ、第6学年208ページ）</p>	<p>○第1～4学年に巻末のシールがあり、児童がシールを目的とする活動以外で使用する可能性がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 道 徳 】

発行者【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年の始めは、スタートカリキュラムとして活用できる教材が7時間分ある。 ○日本や地域の伝統文化に触れる教材を取り入れている。(第1学年：和菓子、第2学年：祇園祭り・花火、第3学年：ふろしき、第4学年：浮世絵、第5学年：和太鼓、第6学年：茶道など) ○第1学年P16のように、本編教材に関連する問題解決的な学習や体験的な学習を促す「ぐっと深める」が各学年で設定されている。 ○第4学年P78・79のように、各学年に設定されている「心のベンチ」は、授業で学んだ行動を児童が実践する助けとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文の始めのリード文だけで児童が結末を予想し、教材を読んだ気になってしまう可能性がある。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○本編教材数が第1学年が34編、補助教材3編、第2学年～第6学年が本編教材35編と補助教材3編で構成されている。 ○第1学年～第4学年では、「善悪の判断、自律、自由と責任」「節度・節制」「親切・思いやり」「規則の尊重」「生命の尊さ」が3～4編ある。 ○P2・3に「道徳のとびら」P4・5に「道徳の学び方」があり、道徳の授業開きや、学習の見通しをもたせるために活用しやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳ノート第1学年では、マス目が採用されている。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○教材と道徳ノートに全て二次元コードが付いており、各教材のスタートがすべて見開きになっている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表紙や裏表紙の児童の写真に、一部体の部分が切れているものがあり、人権上の配慮が不足している。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の巻末に、内容項目別教材一覧や現代的な課題等との関わりがまとめられている。 ○各教材のスタートがすべて見開きになるよう配慮されている。 ○AB版で横幅が広い。(第1学年150ページ、第2学年166ページ、第3学年182ページ、第4学年186ページ、第5学年182ページ、第6学年190ページ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年の初期に使用するノートの挿絵と教科書の挿絵が違うものがある。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 光文書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年の始めは、スタートカリキュラムで活用できる教材が6時間分ある。 ○情報モラルに関する教材が各学年に設定されている。 ○日本や地域の伝統・文化に触れる教材では、第5学年「世界の文化遺産（P 8 2）」のように、地域や文化財を指定している内容と、第2学年「ぼくのまちも、ひかっている！（P 6 4）」のように、自分の地域で活用できるようにはっきりさせていない内容のものと両方ある。 ○オリンピックに出場したことのある体操の内村航平選手（第3学年P 6 6）やラグビー日本代表選手（第4学年P 1 4 0）の教材があり、オリンピック・パラリンピック教育に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第6学年最後の教材「わたしはひろがる（P 1 6 0）」は、中学校へ進学する内容になっていない。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○本編教材数が第1学年が3 4編、補助教材6編、第2学年～第6学年が本編教材3 5編と補助教材5編で構成されている。 ○全学年の巻頭P 2・3に「ゆたかな心」があり、道徳の授業開きや学習の見通しをもたせるために活用しやすくなっている。 ○教材の最後に「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」があり、問題解決的な流れを意識した構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の最後に「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」について発問が4問あり、児童によっては多すぎてしまう可能性がある。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○表紙と裏表紙が1つのストーリーになっている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本編教材数が第1学年が3 4編、補助教材6編、第2学年～第6学年が本編教材3 5編と補助教材5編のうち、二次元コードがあるのは、第1学年「9」、第2学年「6」、第3学年「9」、第4学年「1 2」、第5学年「1 3」、第6学年「1 0」である。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年でP 6・7に「いろいろなやり方で考えてみよう」があり、考えを整理する方法を表すページがある。 ○第2学年P 1 7 0のように、各学年で素敵な言葉を紹介する「ことばのたからもの」のページがある。 ○AB版で横幅が広い。（第1学年1 5 6ページ、第2学年1 7 2ページ、第3学年1 8 0ページ、第4学年1 8 4ページ、第5学年1 8 8ページ、第6学年1 8 8ページ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の「学びのあしあと」は記入する枠が小さく、活用しにくい可能性がある。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 Gakken 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○板橋区で実際に児童が行った出来事が題材として扱われている。(第6学年P156～P159「届け！ぼくらの願い」)</p> <p>○全学年「道徳の学習が始まるよ(P8・9)」では、第1・2学年で道徳の学習内容、第3・4学年で自分を見つめ深めるポイント、第5・6学年で考えを深めるステップが記載されている。</p> <p>○第6学年P166、167に「栄光の架橋」の歌詞が掲載されており、将来に対する希望や夢を前向きに考える機会にすることができる。</p> <p>○やなせたかしさん(第1学年P136)、長谷川町子さん(第2学年P24)、上野由岐子さん(第3学年P26)、高橋尚子さん(第3学年P118)など、児童が興味をもって考えられる人物の教材を扱っている。</p>	<p>○スタートカリキュラムで活用できる教材が1時間分である。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○本編教材は、第1学年は34編、第2学年～第6学年は35編ある。</p> <p>○教材文の中に「みらいへ」(キャリア)「みんなで」(多様性)「いのち」とまとまりを示し、学習をつなげられるようにしている。</p> <p>○最後のページに道徳の学習のまとめを直接記入できるスペースがある。</p>	<p>○補助教材がないので、道徳の余剰時間がある場合には、東京都教材集や他の教材を活用するか、2時間扱いなどで工夫をする必要がある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各教材のスタートがすべて見開きになるよう配慮されている。</p> <p>○11個の指針となるマークを使用し、教材ごとに1～2のマークを振り分けることで教材の方向性が児童にも伝わる。</p> <p>○環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用している。</p>	<p>○本編教材は、第1学年は34編、第2学年～第6学年は35編のうち、二次元コードがあるのは、第1学年「11」、第2学年「10」、第3学年「9」、第4学年「10」、第5学年「9」、第6学年「10」である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○表紙に登場するイラストの2人が6年間かけて児童と同じように成長している様子を表している。</p> <p>○全学年P2、3で「つながる私 広がる私」では、教育課題の紹介と自分のことを記述することができる。</p> <p>○AB版で横幅が広い。(第1学年140ページ、第2学年148ページ、第3学年156ページ、第4学年164ページ、第5学年160ページ、第6学年168ページ)</p>	<p>○巻末の「つなげよう 広げよう」では、学年のまとめのみを記入する欄となっている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 1

調査委員長 神保 幸次郎

種目	1 国語	2 国語	3 国語
発行	戸田デザイン研究所	戸田デザイン研究所	本の泉社
書名	あいうえおえほん	カタカナえほん	新小学校漢字1026字音読で楽しく学べる漢字童話
著者	とだ こうしろう	とだ こうしろう	井上 憲雄
内容	○平仮名50音を一文字ずつ「単語・絵・文字・書き順」と見開きで紹介している。 ○文字は、デザインして完成させた作者のオリジナルフォントが使われている。	○片仮名を一文字ずつ「絵・単語・(50音の)順番・文字・書き順」と見開きで紹介している。 ○文字は、デザインして完成させた作者のオリジナルフォントが使われている。	○小学校で習う漢字1026字を学年ごとに文章と童話で学べる作りである。 ○童話等の音読等を通して漢字を学べる作りである。
構成・分量	○見開きページの左側には、右側で扱う平仮名が入った「単語と絵」が記載されている。 ○見開きページの右側には、平仮名50音の「文字と書き順(一画ずつ)」が記載されている。	○見開きページの左側には、右側で扱う片仮名が入った「単語と絵」が記載されている。 ○見開きページの右側には、片仮名50音の「順番と文字と書き順(一画ずつ)」が記載されている。	○基本的な構成は国語教科用図書の物語文の表記に似ている。 ○童話は学齢に応じた内容と分量である。 ○1つの童話の中に1学年で習得する漢字が登場する仕組みになっている。
表記・表現	○見開きページに一つの文字と一つの大きな挿絵の構成である。 ○平仮名50音を一文字ずつデザインして記載している。 ○下部に硬筆標準書体で書き順が一画ずつ記載されている。	○見開きページに一つの文字と大きな挿絵の構成である。 ○片仮名50音を一文字ずつデザインして記載している。 ○文字と言葉のイメージがつながりやすい構成である。	○一文ずつ丸数字で番号が振られ、内容が段落ごとに分けている。 ○下部には、漢字が読み仮名付きで紹介されている。 ○文の状況を示した挿絵がある。
使用上の便宜	○平仮名を一文字ずつ読んだり、指でなぞったりしながら覚えることができる。 ○23.5cm四方判 94ページ	○片仮名を一文字ずつ読んだり、指でなぞったりしながら覚えることができる。 ○23.5cm四方判 94ページ	○段落に番号がふってあり、段落が分かりやすく工夫されている。 ○欄外に漢字の読み方が記載されている。 ○A5判 240ページ

令和 5 年 7 月 7 日

令和 5 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書（一般図書）)

No. 2

調査委員長 神保 幸次郎

種目	4 社会	5 社会	6 社会
発行	小学館	小学館	福村出版
書名	ドラえもんちずかん 1 につぽんちず	ドラえもんちずかん 2 せかいちず	シリーズ生活を学ぶ 5 遠くへ行きたいな
著者	嶋津 陸 堀野 和彦 大沢 葉子	嶋津 陸 堀野 和彦 大沢 葉子	富岡 達夫・大井 清吉 編
内容	○都道府県名、地名、人々の暮らし、名所などを地方別にまとめている日本地図絵本である。	○国名、都市名、人々の暮らし、名所などを大陸別にまとめている世界地図絵本である。	○交通ルール、社会的マナー、各種の公共施設について説明し、遠足・キャンプ等の野外活動の楽しみ方を紹介している。 ○積極的な社会参加を促す内容となっている。
構成・分量	○一項目について、見開き 2 ページで構成されている。 ○前半は、各地方ごとの地図に、自然や文化、建造物、特産品などの特色が紹介されており、後半は、日本地図に四季ごとの日本の特色が紹介されている。	○一項目について、見開き 2 ページで構成されている。 ○各大陸ごとにある国名や都市名、人々の暮らし、名所、などの特色が紹介されている。	○一項目について、見開き 2 ページで構成されている。 ○社会生活における基本的なルールから、楽しく過ごすための事柄が広範囲にわたって掲載されている。
表記・表現	○平仮名と片仮名のみの表記である。 ○日本各地の様々な写真やキャラクターのイラストが豊富に掲載されている。	○平仮名と片仮名のみの表記である。 ○世界各地の様々な写真やキャラクターのイラストが豊富に掲載されている。	○文章中の全ての漢字に振り仮名がついている。 ○絵と文章が緑色・水色・橙色の 3 色刷りとなっている。
使用上の便宜	○紙質は厚くしっかりした装丁で防水性、耐久性がある。 ○A 4 版 40 ページ。	○紙質は厚くしっかりした装丁で防水性、耐久性がある。 ○A 4 版 40 ページ。	○授業だけでなく、調べ学習にも活用できる。 ○B 5 判 80 ページ

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 3

調査委員長 神保 幸次郎

種目	7 算数	8 算数	9 算数
発行	同成社	同成社	同成社
書名	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルB 3～4けたのたしざんひきざん	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルC かけ算	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルD わり算
著者	遠山真学塾(編)	遠山真学塾(編)	遠山真学塾(編)
内容	<p>○四則計算を科学的に分析し、計算の要素や過程に分類している。筆算体系を中心としたドリルである。</p> <p>○問題の内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3桁の数 ・3桁のたし算、ひき算 ・4桁のたし算、ひき算 	<p>○四則計算を科学的に分析し、計算の要素や過程に分類している。筆算体系を中心としたドリルである。</p> <p>○問題の内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算九九 ・2～4桁のかけ算 	<p>○四則計算を科学的に分析し、計算の要素や過程に分類している。筆算体系を中心としたドリルである。</p> <p>○問題の内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横書きのわり算 ・1～4桁のわり算
構成・分量	<p>○1ページに計算の要素・分類ごとの筆算を中心とした8～12問の計算問題を扱っている。</p> <p>○計算問題の分類ごとに、まとめの問題や文章問題を配置している。</p>	<p>○1ページに計算の要素・分類ごとの筆算を中心とした8～12問の計算問題を扱っている。</p> <p>○計算問題の分類ごとに、まとめの問題や文章問題を配置している。</p>	<p>○1ページに計算の要素・分類ごとの筆算を中心とした8～12問の計算問題を扱っている。</p> <p>○計算問題の分類ごとに、まとめの問題や文章問題を配置している。</p>
表記・表現	<p>○漢字には振り仮名が書かれている。</p> <p>○計算問題の分類のはじめにはタイルを用いた説明図が記載されている。</p>	<p>○漢字には振り仮名が書かれている。</p> <p>○計算問題の分類のはじめにはタイルを用いた説明図が記載されている。</p> <p>○九九の文章問題では、問題に関係する挿絵が記載されている。</p>	<p>○漢字には振り仮名が書かれている。</p> <p>○計算問題の分類のはじめにはタイルを用いた説明図が記載されている。</p>
使用上の便宜	<p>○計算の分類ごとに、指導者向けの計算の位置付けや指導のポイントがまとめられている。</p> <p>○B5判 110ページ</p>	<p>○計算の分類ごとに、指導者向けの計算の位置付けや指導のポイントがまとめられている。</p> <p>○B5判 111ページ</p>	<p>○計算の分類ごとに、指導者向けの計算の位置付けや指導のポイントがまとめられている。</p> <p>○B5判 111ページ</p>

令和 5 年 7 月 7 日

令和 5 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書（一般図書）)

No. 4

調査委員長 神保 幸次郎

種目	1 0 算数	1 1 理科	1 2 保健
発行	同成社	ひかりのくに	ひかりのくに
書名	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルE 小数のたし算ひき算	こどものずかんM i o 1 2 きせつとしぜん	改訂新版体験を広げるこどものずかん8 あそびのずかん
著者	遠山真学塾（編）	太田 昇	渋谷 秀夫
内容	○四則計算を科学的に分析し、計算の要素や過程に分類している。筆算体系を中心としたドリルである。 ○問題の内容としては以下である。 ・小数の仕組み、大小 ・小数同士のたし算、ひき算	○四季のそれぞれに見られる自然や生き物、特徴について挿絵や写真で説明したり、クイズ形式で説明したりしている。	○1本のロープや公園にある物を使った遊び、雨上がりの砂場など、身近なものを活用したおもちゃ作りや、様々な遊びを通して、子どもが体験しながら発見する喜びを促す内容である。
構成・分量	○1ページに計算の要素・分類ごとの筆算を中心とした8～12問の計算問題を扱っている。 ○計算問題の分類ごとに、まとめの問題や文章問題を配置している。	○上記の内容で春夏秋冬で説明している。 ○図鑑のように読み進められる箇所がある。	○風・音・光・水など利用する項目ごとに表記している。
表記・表現	○漢字には読み仮名が振られている。 ○計算問題の分類のはじめにはタイルを用いた説明図が記載されている。 ○計算の分類ごとに、指導者向けの計算の位置付けや指導のポイントがまとめられている。	○絵や写真が豊富に活用している。 ○全ての漢字に読み仮名が振られている。 ○吹き出しにより注目しやすい表記がある。	○おもちゃの作り方や遊び方を、イラストや写真を使って説明している。
使用上の便宜	○B 5 判 1 1 0 ページ	○縦 2 6 cm×横 2 2 cm 6 4 ページ	○ハードカバーの装丁で、汚れや傷に強い。 ○縦 2 7 cm×横 2 2 cm 6 3 ページ

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 5

調査委員長 神保 幸次郎

種目	13 保健	14 保健	15 保健
発行	ひかりのくに	偕成社	偕成社
書名	改訂新版体験を広げるこども ものずかん9 からだとけんこう	子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー	子どものマナー図鑑(3) でかけるときのマナー
著者	頼藤 和寛	峯村 良子	峯村 良子
内容	○からだと食べ物の関係、動物との比較などを通して、体と健康のひみつについて解説している。	○生活していく上での基本的なマナーがイラストとともに示されている。 ○留守番をするとき、手伝いをするとき、ゲームで遊ぶとき等、日常の様々な場面でのマナーが取り上げられている。	○人に迷惑をかけたり事故に遭ったりしないためのマナーがイラストとともに示されている。 ○自転車や乗り物に乗るとき、友達の家や公共施設に行ったとき等、安全な外出のためのマナーが取り上げられている。
構成・分量	○目・歯等の体の部位ごとに人体の仕組みなどをイラストを用いながら表記している。	○1つのテーマにつき、基本的に見開き2ページでイラストを使って説明する構成になっている。 ○16のテーマが記載されている。 ○テーマによっては、各ページ、もしくは4ページに渡っているものもある。	○1つのテーマにつき、見開き2ページでイラストを使って説明する構成になっている。 ○20のテーマが記載されている。
表記・表現	○体の仕組みや器官の働きについて、イラストや写真を使って説明している。	○イラストと共にマナーについて示している。 ○マナー違反の事例についても、イラストで取り上げられている。 ○漢字には読み仮名がふられている。	○イラストと共に基本的なマナーについて示している。 ○周りの人への配慮と守らなければ危険なことの事例についても、イラストで取り上げられている。
使用上の便宜	○ハードカバーの装丁で、汚れや傷に強い。 ○縦27cm×横21cm 63ページ	○ハードカバーの装丁で丈夫である。 ○28cm×23cm 32ページ ○余白はほとんどなく情報が多いため読みにくい。	○ハードカバーの装丁で丈夫である。 ○28cm×23cm 32ページ ○余白はほとんどなく情報が多いため読みにくい。

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 6

調査委員長 神保 幸次郎

種目	16 保健	17 保健	18 保健
発行	金の星社	カドカワ	偕成社
書名	やさしいからだのえほん4 むしばはどうしてできるの？	性の絵本みんながもってる たからものってなーんだ？	子どもの健康を考える絵本 (5) こんなときどうするの？
著者	小野 芳明 監修 せべ まさゆき 絵	たきれい 高橋 幸子 監修	高田 芳朗
内容	○歯の仕組み、虫歯になる原因について、虫歯の予防、歯磨きの仕方について、シンプルなイラストと説明で表記されている。	○性について学ぶ上で初歩的で生物学的なからだのしくみと知識及び、こころとからだを守る方法や考え方が示されている。 ○シンプルなイラストと文章で、1ページに一つずつ伝えたいことをまとめている。	○子どもの身近で起こる事故や怪我、緊急時の救急法や心構えが描かれている。 ○子どもが自分でできることや、注意することと共に、保護者に対する指南(「ママがよむないしょのはなし」というコラムの形式)も記載されている。
構成・分量	○上記の4つの内容で構成されている。	○5つの項目毎にページが色分けされている。 ○前半2項目に、からだのしくみや知識について、後半3項目に、こころとからだを守るために必要な考え方やとるべき行動について示されている。	○ページが進むにつれて見開き2ページで1場面、1ページで1場面、1ページで2場面まとめられている。 ○場面毎に体内での現象や対処方法についてまとめられている。
表記・表現	○絵や写真が豊富に活用されている。 ○すべてが平仮名で明記されている。 ○図鑑のように読み進められる箇所がある。	○文章の語尾は語りかけるような文体である。 ○平仮名中心で、知識として示す単語は漢字で表記されている。	○児童が読む文章は全て平仮名と片仮名で表記されており、片仮名に読み仮名がふられている。
使用上の便宜	○縦26cm×横22cm 28ページ	○ハードカバーの装丁で、汚れや傷に強い装丁である。 ○19cm四方判 48ページ	○保護者に向けた表記として「ママとよむ」「ママがよむ」の表記がある。 ○表紙の厚さは約2mmで丈夫である。 ○縦26cm×横21cm 31ページ。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 7

調査委員長 神保 幸次郎

種目	19 音楽	20 図画工作	21 図画工作
発行	成美堂出版	学研	学研
書名	CDつき楽しく歌える英語のうた	あそびのおうさまBOOK はじめてきるほん	あそびのおうさまBOOK はって
著者	伊勢 誠 監修	La Zoo	La Zoo
内容	<p>○聞きおぼえのある身近な歌が29曲紹介され、音楽CDが添付している。</p> <p>○英語の歌詞と日本語訳がある。</p> <p>○歌詞の意味や歌が作られた背景と、踊りがイラスト付きで紹介されている。</p>	<p>○自分で考えて紙を切ったり、切り取った紙の形からイメージを広げたりして、想像力を働かせて創作活動を促す内容である。</p>	<p>○紙を切ったり、破いたり、折ったりしてから、想像力を働かせて「貼る」活動ができる。</p>
構成・分量	<p>○一つの歌につき2ページ見開きで紹介されている。</p> <p>○片側に楽譜、もう片側に歌詞と訳が書かれている。</p>	<p>○2ページ見開きで、片方は切ったりちぎったりした紙を貼る台紙となるページ、もう片方は切る材料となるページになっている。</p> <p>○最終的に一冊の絵本が完成する作りになっている。</p>	<p>○2ページ見開きで、片方は切ったりちぎったりした紙を貼る台紙となるページ、もう片方は切る材料となるページになっている。</p> <p>○最終的に一冊の絵本が完成する作りになっている。</p>
表記・表現	<p>○いくつかの挿絵があり、絵本のような作りのページがある。</p> <p>○漢字の表記には振り仮名が振ってある。</p>	<p>○大きなイラストとともに切り貼りしてほしい言葉が端的に表記されている。</p> <p>○表記は平仮名と片仮名のみである。</p>	<p>○大きなイラストとともに切り貼りしてほしい言葉が端的に表記されている。</p> <p>○表記は平仮名と片仮名のみである。</p>
使用上の便宜	<p>○紙質は厚めで耐久性がある。</p> <p>○A B判 96ページ</p>	<p>○はさみで切りやすい厚さの紙質である。</p> <p>○余った紙を入れる「おかたづけぶくろ」や糊を使用する際に敷く「ぬりぬりボード」が付いている。</p> <p>○2000年度にボローニャ児童賞・大賞受賞している。</p> <p>○A 4判 80ページ</p>	<p>○はさみで切りやすい厚さの紙質である。</p> <p>○2000年度にボローニャ児童賞・大賞受賞している。</p> <p>○A 4判 80ページ</p>

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 8

調査委員長 神保 幸次郎

種目	22 図画工作	23 道徳	24 「生活」
発行	ポプラ	福音館	岩崎書店
書名	ペーパーランド9 はこをつくろう	福音館の科学シリーズ ただいまお仕事中	絵本図鑑シリーズ12のは らのずかんー野の花と虫た ちー
著者	神戸 憲治	おち とよこ 秋山 とも子	長谷川 哲雄
内容	○プレゼントボックスや整理箱、小物入れに使える楽しい箱の簡単な作り方を説明している。	○こどもがやってみたい仕事を中心に、約30の仕事をイラスト共に紹介している。 ○子どもたちが知りたがるような質問に答える形式で仕事内容について説明している。	○田畑のあぜ道・小川のほとり・道端・空き地・草原・湿地等の野原に咲く植物を、初春から晩秋まで順番に、そこに生息している昆虫等を含めて紹介している。
構成・分量	○箱一つにつき、見開き2ページで表記している。	○一つの職業につき見開き2ページで紹介している。 ○右ページは質問に答える形で、左ページは挿絵を多く用いて仕事の内容を紹介している。	○季節毎に8～15ページ程度でまとめて紹介され、実写的で特徴を捉えた絵で描かれている。
表記・表現	○箱の完成写真と、図面を中心に作り方を説明している。	○全ての漢字に振り仮名がついている。 ○職業を説明する文量は10行を超えるものもある。 ○職業を表す絵を用いた目次があり、調べやすい構成になっている。	○全ての漢字に読み仮名が振られている。 ○場所や季節毎の植物や昆虫の特徴が、本物のような細かな描写で描かれている。
使用上の便宜	○ハードカバーで汚れや傷に強い装丁である。 ○縦22cm×横25cm 32ページ	○資格が必要な職業について紹介するページがある。 ○縦26cm×横24cm 72ページ	○巻末に大人向けの索引と解説欄が載っている。 ○表紙は2mm厚で丈夫である。 ○A4判 48ページ。

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 9

調査委員長 神保 幸次郎

種目	25「生活」		
発行	学研		
書名	はっけんずかんどうぶつ改訂版		
著者	今泉忠明(監修) 山口まさよし(絵)		
内容	○様々な動物が住んでいる場所や体の特徴等のグループごとに分けられている。 ○豊富なイラストや写真とともに紹介されている。 ○動物に体長が記載されている。 ○海の動物以外には、生息地も記載されている。		
構成・分量	○見開き2ページに、海にいる動物・草を食べる動物等、各ジャンルの動物が紹介されている。 ○ページをめくることで、動物が何をしているのかが分かるしかけのページがある。		
表記・表現	○平仮名と片仮名のみで表記されている。 ○文章はわかち書きである。		
使用上の便宜	○紙の厚さが1mmと厚めである。 ○A B判 36ページ。		

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

(令和6年度～9年度使用・小学校用)

令和5年 7月

目次

教	科	種	目	ページ
国	語	国書	語写	1 2
社	会	社地	会図	3 4
算	数	算	数	5
理	科	理	科	7
生	活	生	活	9
音	楽	音	楽	11
図	画	図画	工作	12
家	庭	家	庭	13
体	育	保	健	14
外	国	英	語	16
特別の教科	道徳	道	徳	18

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 光村図書 ）
内 容	<p>○第2学年以上の巻頭に「国語の学習の進め方」が示されているとともに、各単元では「見通す」「取り組む」「ふり返る」の学習の流れが示されている。</p> <p>○「環境教育」に関連する教材として「発信しよう、わたしたちのSDGs」（第6学年P170）や「郷土愛の育成」に関連する教材として「地域のみりよくを伝えよう」（第5学年P58）を取り上げている。</p> <p>○第1・2学年を除き、巻頭に「デジタルノートの作り方」が掲載されており、一人一台端末を活用するための工夫がされている。</p> <p>○第1学年上巻を除き、巻末の付録に「デジタル資料を活用しよう」が掲載されており、児童が主体的に学習できる工夫がされている。</p>	<p>○各単元の終わりに「見通しをもとう」として、「たしかめよう」「くわしくよう」「まとめよう」「つたえあおう」の学習の流れが示されている。</p> <p>○「環境教育」に関連する教材として「雪は新しいエネルギー」（第6学年上巻P38）を取り扱うなど、SDGsにかかわるテーマを取り扱っている。</p> <p>○「郷土愛の育成」に関連する教材として「すいせんしよ『町じまん』」（第5学年上巻P58）を取り上げている。。</p> <p>○第4学年上巻P64～「いろいろな手紙」では電子メールの作り方を扱っており、現代社会において必要な内容を取り上げている。</p>	<p>○第2学年以上では巻頭に「どうやって学んでいくのかな」として学習の進め方が示されているとともに、各単元では「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の学習の流れが示されている。</p> <p>○第2学年下巻P48～「おもちゃのつくり方を説明しよう」は児童の生活に合った題材であり、プログラミング的思考を育む題材である。</p> <p>○第5学年P227～「大造じいさんとガン」には、前書きがあり、内容把握のために工夫されている。</p> <p>○第1学年上巻を除き、巻末に「言葉のたから箱」が記載され、自分の考えや気持ちを表現しやすくする工夫がされている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第2～6学年のP6～7「言葉の力を集めよう」に、各教材で身に付ける言葉の力が一覧で載っている。</p> <p>○巻末の「学習でつかうことば」では、国語の学習において身に付けるべき語彙が掲載されており、端的に説明されている。</p> <p>○各単元の終わりの「生かそう」では、学習したことを活用する方法が示されており、他教科へも学習が生かせるよう構成が工夫されている。</p>	<p>○全学年のP4～「○年生で学ぶこと」で、各領域ごとにどのような学びをし、どのような言葉の力を付けていくか示されている。</p> <p>○巻末の「学ぶときに使う言葉」では、国語の学習で身に付けるべき語彙の意味が詳しく掲載されている。</p> <p>○第2学年下巻のP20「この間に何があった？」や第6学年上巻のP38「雪は新しいエネルギー」のように、絵、図、表、写真等が、学ぶ内容に応じたものが配置する工夫がされている。</p>	<p>○第2～6学年の巻頭「○年生で学ぶこと」で、各領域ごとに学年で身に付けたい力が示されている。</p> <p>○巻末の「学習に用いる言葉」では、国語の学習において児童が身に付けるべき語彙が掲載されている。</p> <p>○単元の最後にある「たいせつ」はポイントを絞った簡潔な言葉で表現されており、単元で学んだ学習の要点や大切なことを確認できる。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ハテナとコトハというキャラクターや4人の登場人物が学習のポイントを伝えていて親しみやすい。</p> <p>○第1学年上巻P58～「ねことねっこ」では、たたいてみよう（どうが）や手をたたく・にぎる図が表記され、視覚的にイメージしやすい工夫がされている。</p>	<p>○ふくろうのキャラクターや6人の登場人物が学習のポイントを伝えていて親しみやすい。</p> <p>○第1学年上巻P28～「くまさんと ありさんの ごあいさつ」では、声の大きさを表現するために文字の大きさを変えていて分かりやすい。</p>	<p>○単元の終わりにある「たいせつ」や「生かそう」など学習のポイントを示すために簡単な印を使い、ポイントを押さえやすいように工夫している。</p> <p>○第1学年上巻P78～「はおへを つかおう」では、パズルのピースの絵になっており、児童が視覚的にイメージしやすい工夫がされている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第1～4学年は上・下巻に分かれているが、第5・6学年の教科書は通年のもので、分厚く重い。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが用いられている他、番号や色遣い、文字の太さを工夫してある。</p>	<p>○全学年の教科書が上・下巻に分かれているため軽い。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮しており、見やすさ読みやすさに配慮したオリジナルフォントが用いられている。</p>	<p>○第1～4学年は上・下巻に分かれているが、第5・6学年の教科書は通年のもので、分厚く重い。</p> <p>○文字や色がユニバーサルデザインに配慮されている。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

	発行者（東京書籍）	発行者（教育出版）	発行者（光村図書）
内 容	<p>○第2学年から第6学年において、本時に学ぶ大事なポイントを「書写のかぎ」として記載することで、知識及び技能を身に付けやすくしている。</p> <p>○第3学年のP4～P7で、毛筆についての道具の説明や筆の置き方、筆のもち方、姿勢が4ページ分に渡って丁寧に記載されており初めての毛筆の学習に対応できる内容になっている。</p> <p>○第3学年P22のように、理由や違いを考えたり話し合ったりする活動が設定されており、課題発見や把握につながっている。</p>	<p>○巻頭の「学習の進め方」では、記号だけの振り返りではなく、めあてに気を付けて書けたかを友達と伝え合いながら振り返る活動が示されている。</p> <p>○第3学年のP6～P12で、毛筆についての道具の説明や置き方、筆のもち方、姿勢が7ページ分に渡って丁寧に記載されており、初めての毛筆の学習に対応できる内容になっている。</p> <p>○第6学年のP40「思い出に残る言葉を書こう」では、作品完成のイメージがしやすく、小学校の書写のまとめの学習としてふさわしい。</p>	<p>○第5学年P34のように、6年生を送る会を題材とするなど、実生活と関連づけた内容になっている。誤った書き方が載っており、児童が正しい書き方を意識しやすい。</p> <p>○第3学年の巻頭に、毛筆についての道具の説明や置き方、筆のもち方、姿勢が12ページ分に渡って「毛筆スタートブック」として、丁寧に記載されており初めての毛筆の学習に対応できる内容になっている。</p> <p>○第3学年の巻頭に「書写の約束」「書写たいそう」P11に「整理たいそう」など、児童の興味を引き付ける内容となっている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○「書写の学び方」として、「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」という学習の流れを設定するなど、「板橋区授業スタンダード」の流れに沿っている。</p> <p>○筆使い、筆順、字形、文字の大きさ、配列などが学年の発達段階に応じて、適切に掲載されている。</p> <p>○第2学年で連絡帳の書き方、第6学年ではポスターの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○「学習の進め方」として「つかむ・考える」「確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」という学習の流れを設定するなど、「板橋区授業スタンダード」の流れに沿っている。</p> <p>○第3学年以上でも、毛筆だけでなく硬筆の指導も入っている教科書のつくりになっている。</p> <p>○第2学年では招待状の書き方、第6学年ではリーフレットの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○毛筆スタートブックの中の「学習の進め方」として「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」という学習の流れを設定するなど、「板橋区授業スタンダード」の流れに沿っている。</p> <p>○第3学年の毛筆書写が、横画（一）→たて画（土）→おれ（日）とシンプルに発展しているため、毛筆書写を始めやすい系統性になっている。</p> <p>○第2学年では連絡帳の書き方、第6学年ではパンフレットの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○始筆、送筆、終筆において、とん、すう、びたなどと表記しており、児童にとって分かりやすい。</p> <p>○筆順の数字や大切なポイントがカラーで示されている。</p> <p>○毛筆の手本となる字が共通し、左側に掲載されている。</p>	<p>○第3学年P11の筆圧の合い言葉「ちゅん・とっ・とん」は動物のイラストと合わせてあり、親しみやすい。</p> <p>○穂先が朱色で書かれており、穂先の向きや通り道が分かりやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○1ページに手本が大きく掲載されている。また手本の文字には書き順やポイント等の記載がなく、シンプルで見やすい。</p>	<p>○第1学年から第6学年までねこのキャラクターが用いられており、親しみやすい。はねやはらいをねこの動きのイラストによって意識できる。</p> <p>○穂先が朱色で筆先の動きがわかりやすい。</p> <p>○ページが上部に表記されていて、机上に多くの道具を置く書写の教科書として使いやすい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○「生活に広げよう」のページを活用して、国語や総合的な学習の時間とのつながりを意識した学習展開ができるようになっている。</p> <p>○一単位時間の内容が主に見開き1ページで構成されている。</p> <p>○各学年のP1には「もくじ」が掲載されている。その上段部には、「おかしな〇〇」の欄が掲載され正しく書いてないと子どもが困っている場面になっている。書写を学習する意味が伝わるものになっている。</p>	<p>○手紙の書き方、原稿用紙の使い方、新聞の書き方等の資料などが掲載されているので、他の教科の学習の参考になる。</p> <p>○第3学年P15のように、硬筆でも試し書きとまとめ書きを比較できるよう、書くスペースが設定されている単元がある。</p> <p>○第3学年の表紙を開いた次の項には「なぜ毛筆を学習するの?」ということが漫画で紹介されており、書写を学ぶ必然性について児童が読んで分かるようになっている。</p>	<p>○日常につなげる取組として、第6学年の書写ブックに「手紙の書き方」「はがきの表書き」「げんこう用紙の使い方」等が分かりやすくまとめられている。</p> <p>○第3学年以上の「タブレットを活用しよう」には、毛筆で書いた文字を撮影して、自分の課題を見付けるという学習の仕方が載っている。</p> <p>○第1学年と第2学年の巻末に、水筆で練習できるページが掲載されている。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 社 会 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 日本文教出版 ）
内 容	<p>○「つかむ」→「調べる」→「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○「まとめる」の段階で、それぞれ「新聞にまとめる」「プレゼンテーションソフトを使ってまとめる」「調べたことを整理して考えをまとめ話し合う」など、まとめ方の具体例やその表現の仕方等が分かりやすく示されている。</p> <p>○第3、4学年の巻頭には地図帳の使い方と特徴が詳しく書いてあり、指導しやすい。</p>	<p>○「つかむ」→「調べる」→「まとめる」→「つなげる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○単元の最後の「つなげる」では、自分の暮らしを見直したり、地域の課題を解決したりできるような時間が設定されていることで、学びを深め、思考を広げることができるようになっている。</p> <p>○板橋区について、第3学年「事件や事故からまちを守る」P114～115、120～121で記載がある。</p>	<p>○「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追及・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○現在の諸問題として「未来につなげるわたしたちのSDGs」として単元の学習を終えて、もっと詳しく調べてみたいことなどをSDGsと関連付けて取り上げたページがどの学年でも設けられている。</p> <p>○板橋区の取組が、第3学年の「未来につなげる」P92～93の中で紹介されている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○基本的に、その日の活動が見開きページで完結するようになっているので、教師も児童も見通しをもちやすい。</p> <p>○第6学年の外国の扱いが、ヨーロッパ州1、アジア州1、北アメリカ州1、南アメリカ州1でバランスが良い。</p> <p>○第5学年下P122～125のように、「ひろげる」「いかす」といった発展的な内容が、各単元で適切に設定されている。</p>	<p>○第6学年の歴史学習の導入では、P72のように歴史の学び方についてのページを設け、児童が歴史学習の仕方が分かるように構成している。</p> <p>○第6学年の外国の扱いが、アジア州1、北アメリカ州1、南アメリカ州1で、ヨーロッパ州が取り上げられていない。</p> <p>○第5学年P201、207のように、「つなげる」「もっと知りたい」といった発展的な内容が設定されている単元がある。</p>	<p>○「学習の計画」で「調べたいこと」「調べ方」「まとめ方」等が整理されており、教師も児童も学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○第6学年の外国の扱いが、アジア州2、北アメリカ州1、南アメリカ州1で、ヨーロッパ州が取り上げられていない。</p> <p>○「学び方・調べ方コーナー」で、手順が図解等で分かりやすく明記されていて、児童同士が考えを深め合うのに役立つ。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○下の学年ほど、資料や文字のサイズが大きく、発達段階に応じて見やすい工夫がされている。第5学年下P8のように、ページ下部に「教科関連マーク」があり、教科等横断的な学習に役立てることができる。</p> <p>○二次元コードの位置が見開き右ページの下方に固定され、読み取りがしやすい。</p> <p>○色が明るくとても見やすい。また、字体もユニバーサルデザインフォントを採用しており、とても読みやすい。</p>	<p>○第3学年、第4学年では写真やグラフが大きく見やすい。また、第6学年の歴史単元において、旧版の教科書では特に近現代史において白黒写真だったものが、ほとんどの写真でカラーに修整されている。</p> <p>○「まなびリンク」や各資料で二次元コードが掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点から太く丸みを帯びた字体を使用し、配色にも配慮している。</p>	<p>○社会科の学習のための様々な学び方について「学び方・調べ方コーナー」が掲載され、全ての掲載箇所二次元コードが付いている。</p> <p>○吹き出しについているイラストの分かったことと疑問のマークが全学年で統一されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点から太く丸みを帯びた字体を使用し、配色にも配慮している。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭に前年度に学んだこと、今年度学ぶこと、巻末に今年度学んだことを振り返るページがあり、全体の学習を見通せるように工夫されている。</p> <p>○第5学年は上下の2分冊、第6学年は政治・国際編と歴史編の2分冊構成とされ、軽量化が図られており持ち運びがしやすい。</p>	<p>○巻頭に前年度の学習の振り返り、学習の進め方、巻末に今年度の学習の振り返りのページがあり、全体の学習を見通せるように工夫されている。</p> <p>○分冊ではなく、全学年1分冊にまとまっていることで、学習の見通しがもちやすく、復習もしやすい。</p>	<p>○巻頭に今年度の学習、学習の進め方、巻末に今年度の学習の振り返り、次年度の学習のページがあり、全体を見通せるように工夫されている。</p> <p>○分冊ではなく、全学年1分冊にまとまっていることで、学習の見通しがもちやすく、復習もしやすい。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 地 図 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 帝国書院 ）	発行者（ ）
内 容	<p>○第3学年から地図帳を使った学習が行えるよう、巻頭で地図記号・索引・方位・縮尺の見方等の地図学習について、8ページにわたって図解している。</p> <p>○SDGsについてP96に17の目標の表を掲載している。</p> <p>○「ホップステップマップでジャンプ」というコーナーがあり、様々な視点から地図を活用するヒントがある。</p> <p>○地図だけでなく統計や災害についてなどの表やグラフも豊富にあり、第5学年・第6学年の社会科資料集のように活用できる。</p>	<p>○地図の成り立ちから、地図ってなんだろう、地図の約束、地図帳の使い方を14ページに渡って図解しており、地図の基礎的な知識や技能を解説している。</p> <p>○P125・126で世界のSDGsについて、世界の課題と、その課題に対する世界各地の取組を、写真資料を用いて紹介している。</p> <p>○「地図マスターへの道」という、地図を読み取る際のコツを伝えるコーナーが存在し、児童が主体的に学べる。</p> <p>○P99「日本の自然災害と防災」や歴史に関する資料等、授業で活用できる資料が豊富に掲載されている。</p>	
構 成 ・ 分 量	<p>○全102ページ（日本地図38ページ、世界地図14ページ、資料統計（日本）21ページ（世界）2ページ）で構成されている。</p> <p>○日本の歴史に関わる地図が年表と併せて4ページ（P77～80）にわたり7種類掲載されており、当時の日本と世界との結びつきを踏まえた世界情勢の特徴が、地図を用いて掲載されている。</p>	<p>○全132ページ（日本地図60ページ、世界地図14ページ、資料統計（日本）20ページ、（世界）4ページ）で構成されている。</p> <p>○「江戸時代の結びつき」街道を行き交う人々の資料（P55、56）、日本の歴史（P109、110）等、歴史関連の資料が掲載されている。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○フォントは丸みを帯びたゴシックで見やすい。</p> <p>○実際の距離を捉えさせるために、ものさしを活用して計測できるようにしている。</p> <p>○首都東京のページ（P45）に板橋区の一部が記載されている。</p> <p>○二次元コードがあることで、自学自習に役立つ。</p>	<p>○色覚特性に配慮した色づかいで、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>○実際の距離を捉えさせるために、ものさしを活用して計測できるようにしている。</p> <p>○世界の地図には、全てのページに写真資料が掲載されている。</p> <p>○二次元コードがあることで、自学自習に役立つ。</p>	
使 用 上 の 便 宜	<p>○サイズ（A4判）や重さは適切である。</p> <p>○目次には、どのような内容の資料なのかがすぐに分かるマークが示されている。</p>	<p>○サイズ（A4判）や重さは適切である。</p> <p>○P2には、「外国語活動でも地図帳を使ってみよう」と表記されていたり、SDGsに関連の深い資料にマークをつける（P108）等、教科横断的な活用を促すつくりとなっている。</p>	

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 算 数 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 大日本図書 ）	発行者（ 学校図書 ）
内 容	<p>○「たしかめよう」や「おぼえているかな」では、基礎的な知識及び技能を習得できるように配慮されている。</p> <p>○第3～6学年に1単元以上で「それなら次は？」があり、児童が今までに学んだことを生かした学習計画が立てられるようになっている。</p> <p>○虫眼鏡の記号等を用いて、数学的な見方・考え方が記載され、児童の思考力、判断力、表現力等を育む工夫がある。</p> <p>○「マイノートをつくろう」では、ノートの書き方が記載されており、「板橋区授業スタンダード」に沿っている。</p>	<p>○数と計算分野において、単元の間に「練習」ページが設定され、基礎的な知識及び技能が習得できる作りになっている。</p> <p>○「じっくり深く学び合おう！」では、問題解決型の授業が適宜設定されている。</p> <p>○第3～6学年には、単元ごとの「たしかめもんだい」において「学んだことを生かそう」があり、日常生活の中で算数を生かせる内容が取り上げられている。</p> <p>○全学年で「読み取る力をのぼそう」があり、「読み解く力」の育成につながる内容である。</p>	<p>○第2～5学年では、筆算のしかたについて、絵や言葉を使い、視覚的に分かるよう記載され、基礎的な知識及び技能を習得しやすい工夫がある。</p> <p>○「考え方モンスターでふりかえろう」では、本単元で大切にしたい数学的な考え方が示され、思考力、判断力、表現力等を育む工夫がある。</p> <p>○各ページの左端に？（めあて）、！（まとめ）、？（次の学びにつなげるはてな）と、問題解決方法が記載され、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○「算数パトロール隊」は、児童のよくある間違いを取り上げ、「読み解く力」の育成を図るのに適している。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第1学年では、どんぐりをつかったおもちゃ作りなど、共通した材料、場面を設定して数を数えるようになっており、生活科の学習で生かすことができる。</p> <p>○第6学年P114にデータを活用した問題解決方法として、PPDACサイクルが示されている。</p> <p>○発展的な問題に課題解決型の授業で取り組む「今日の深い学び」が第2～6学年に各1つ程度ある。</p>	<p>○第4学年の単元は「折れ線グラフと表」から始まり、また、第6学年に「円の面積」が1学期に配置される等、単元構成に特徴がある。</p> <p>○第6学年P84、85にデータを活用した問題解決方法として、PPDACサイクルが示されている。</p> <p>○第3～6学年には、「ふくろう先生のなるほど算数教室」として、算数の学習に興味関心を高められるような問題を掲載している。</p>	<p>○一単位時間のまとめの後に、「？」として次の学習内容につながる問いのある構成となっている。</p> <p>○全学年の巻末の「もっと算数」〔ふかめよう〕では、既習の学習内容を活用して解決する発展的な問題が掲載されている。</p> <p>○全学年に掲載されている「すじ道をたてて考えよう」では、プログラミング的思考を育む課題を扱っている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○一単位時間のめあてにあたる「？」とまとめが、他と同系色の緑で表記されている。</p> <p>○数学的な見方・考え方のヒントが吹き出しの形式で表記されている。</p> <p>○計算問題では、問題のうち数題が網掛けで表記され、短時間で基礎的・基本的な知識・理解が確認できる工夫がある。</p>	<p>○一単位時間のめあてが赤、まとめが青の線で囲まれており、区別しやすい工夫がある。</p> <p>○「ひらめきアイテム」として、巻頭に、数学的な見方・考え方の内容が発達段階に応じて表記されている。</p> <p>○第2学年からは演習問題の番号の一部が青い丸数字で表記され、短時間で基礎的・基本的な知識・理解が確認できる工夫がある。</p>	<p>○一単位時間のめあてとまとめが赤枠で囲まれて表記され、区別しやすい工夫がある。</p> <p>○第2～6学年において、「めあて」等に「しらべたいな」「考えたいな」「まとめたくな」等の表記があり、問題解決の方法が示されている。</p> <p>○ページの左端に矢印と学習内容の見出しで区切りを表しているためどの学習内容にあたる所か把握しやすい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第1学年「はじめよう！さんすう1－①」のみA4判、1年1－②以降の5年まではB5判の上下巻に分かれている。第6学年のみB5版1冊になっている。</p> <p>○全学年もくじのページに、「感染症」について記載されている。</p> <p>○第6学年付録にトレーシングペーパーの対称な図形があり、ノートに書き写すことができる。</p>	<p>○第1学年上巻はA4判、第1学年下巻から第6学年はB5判で、第2学年から第6学年は1冊で構成されている。</p> <p>○使用されているキャラクターには、外国人の子どもがおり、多様性に配慮されている。</p> <p>○第2～4学年では、「問題ごとに使い分ける考え方」をシールで貼れる付録がある。</p>	<p>○全学年AB版で、第1～5学年は上下巻に分かれており、第6学年のみ1冊で構成されている。また、第6学年には別冊が付いており、「算数で見つけた見方・考え方」「中学校へのかけ橋」が盛り込まれている。</p> <p>○第5学年以上の索引には、外国語の学習と関連させて、算数用語の英語表記も記載されている。</p> <p>○AB版の教科書のため1ページあたりの面積がB5版より大きく、教科書のページを開きやすい。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 算 数 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 啓林館 ）	発行者（ 日本文教出版 ）
内 容	<p>○単元末に「ふりかえろう」「たしかめよう」という既習事項の確認にあたる問題があり、基礎的な知識及び技能を習得できる工夫がある。</p> <p>○「はてな」「なるほど」「だったら」等の問題解決の学習の流れが記載され、児童の思考力、判断力、表現力等を育む工夫がされている。</p> <p>○巻末の「自分で取り組むページ」に習熟度に合わせた問題が記載され、児童が主体的に学習に取り組む工夫がある。</p> <p>○巻頭の「みんなで算数をはじめよう！」にある、教科書の学習の流れは「板橋区授業スタンダード」に沿っている。</p>	<p>○第2～5学年では「もうすぐ○年生」として、第6学年では「6年のまとめ」として、各学年における基礎的な知識及び技能を習得する内容の問題がまとめて掲載されている。</p> <p>○「見方・考え方を深めよう」では、日常生活に見られる算数を取り上げ、児童が主体的に学習に取り組めるように配慮されている。</p> <p>○各単元に「これから学習することのめあて」と「ふりかえろう」が記載され、単元で身に付けれる力を確認できる。</p> <p>○第3～6学年では巻末に「わくわくSDGs」において算数を生活に生かせる活動等が紹介されている。</p>	<p>○単元の導入で「次の学習のために」があり、児童が既習事項を適宜、思い出したり確認する工夫がある。</p> <p>○全学年に「自分でみんなで」が複数掲載され、身の回りの事象を取り扱った課題解決型の授業が設定されている。</p> <p>○第2～6学年巻末「算数マイトライ」では、習熟度に合わせた演習問題が掲載されており、主体的に問題解決学習に取り組める工夫がある。</p> <p>○第2～6学年に「算数ジャンプ」が掲載され、長文の文章を読み解き、身の回りの事象に対して既習事項を活用して解決する問題が掲載され、「読み解く力」の育成につながる。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第1学年では、数を数える学習で、アサガオの花や種の数調べる学習があり、生活科と関連した学習内容となっている。</p> <p>○第2～6学年の巻頭に「算数が好きになるはじめての一步」があり、児童が興味・関心を高められる構成となっている。</p> <p>○「算数ワールド」や「学んだことを使おう」では、身の回りの事象を取り上げた、既習事項を活用して課題解決を図る問題が掲載されている。</p>	<p>○第3学年の始めの単元が、「かけ算のきまり」の次に「わり算」という構成になっている。</p> <p>○算数に関わる身近な事象や発展的な問題が掲載された「算数ポケット」が設けられている。</p> <p>○単元末にある「学びのまとめ」の「学びをいかそう やってみよう」では、単元の学習内容を活用して解決できる問題が1題程度掲載されている。</p>	<p>○第3学年の始めの単元が、「かけ算のきまり」の次に「わり算」という構成になっている。</p> <p>○算数に関わる身近な事象が掲載された「なるほど算数」が設けられている。</p> <p>○「○○について話し合しましょう」等の問いがあり、対話的な学びを意識した構成になっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○新しく考える問題等に合わせて「はてな？」が表記され、児童が問題をつかみ自分の考えをもつための工夫がある。</p> <p>○計算問題では、問題のうち数題が青い網掛けで表記され、短時間で基礎的・基本的な知識・理解が確認できる工夫がある。</p> <p>○第6学年「対称な図形」、第4学年「立体」、第5学年「四角形や三角形の面積」等では4色程度の色で色分けされた図形が活用されており、区別しやすい表記になっている。</p>	<p>○一単位時間のめあてが赤字で、まとめが赤枠で囲まれて表記されており、区別しやすい工夫がある。</p> <p>○登場するキャラクターが主体的・対話的に学習している様子が表記され、児童の学習モデルとなる工夫がある。</p> <p>○見開きページの右上に単元名を表記しており、児童が学習内容を見通しやすい工夫がある。</p>	<p>○一単位時間のめあては赤の下線で、まとめが赤枠で囲まれて表記されており、区別しやすい工夫がある。</p> <p>○見開きページの右上に単元名を表記しており、児童が学習内容を見通しやすい工夫がある。</p> <p>○演習問題の番号の一部が緑の丸数字で表記され、短時間で基礎的・基本的な知識・理解が確認できる工夫がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○B5判で第1・5・6学年は1冊、第2～4学年は上下巻に分かれている。</p> <p>○第2～6学年巻末の「学び方の手引き」では、分度器等の道具の使い方や数直線図等の書き方が記載されている。</p> <p>○コンパスの使い方の動画が利き手別にあり、左利きにも配慮されている。</p>	<p>○B5判で、5・6年は1冊、2～4年は上下巻に分かれている。また、1年生には「すたあと ぶっく」（A4判）が別冊として付いている。</p> <p>○使用されているキャラクターには、車椅子、眼鏡をかけた子ども、外国人の子ども等があり、多様性に配慮されている。</p> <p>○第4学年の付録には分度器があり、第5学年の付録に「円周測定マシン」がある等工夫がある。</p>	<p>○B5判で、第1～4学年は上下巻に分かれており、第5・6学年は1冊の構成となっている。</p> <p>○第5・6学年の教科書にはしおり紐が付いている。</p> <p>○巻末の「学び方ガイド」は学習の流れが記載されており、また取り外して下敷きのように使用できる。</p>

令和5年度 検定教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 大日本図書 ）	発行者（ 学校図書 ）
内 容	○単元の始まりに問題をつかむページと問いかけがあり、課題解決をするために必要な思考力の育成につながる内容となっている。 ○「広げよう！理科の発想」や「理科の世界 探検部」などのコラムが豊富に用意されており、理科の学習と身近な生活との関わりが示されている。 ○巻末に「デジタルコンテンツで学びを広げよう」があり、紙面上の二次元コードの種類が一目で分かって便利である。	○巻末に「〇年のまとめ」が見開きでまとめられており、復習がしやすい。 ○話し合いの場面では、イラストでどのように話し合うのか、どんなポイントで話し合うのかが分かるようになっており、思考力を伸ばすことができる。 ○巻頭の「理科の学び方」から、児童が問題解決の流れを把握しやすくなっている、「〇年では特にココ！」のコーナーで、学年ごとに学ばせたい理科の力を提示している。	○問題解決のプロセスは、「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」の流れで統一されている。 ○第3学年P15のように問題解決のプロセスの過程が確実に行えたかどうか児童自らが確認できるようなチェック欄が付いている。 ○巻末の「考えよう調べよう」では問題の見つけかたや意見の伝えかた聞きかたが具体的に書かれており、思考力・判断力・表現力の育成につながる。
構 成 ・ 分 量	○単元の振り返りと確かめ問題が続きのページにあり、見やすくなっている、児童が使いやすい。 ○教科書の巻頭に、領域毎に学習する単元名が整理されていて、見通しをもたせやすい。 ○各学年ともに「理科とSDGs」「理科とプログラミング」のページが設けられており、他教科や発展的な学習につなげることができる。	○学年の発達段階に合わせた見方・考え方で単元が進められるような配列になっている。 ○事象提示を受けて学習前の児童の疑問、問題解決を経ての変化などがイラストを通して表現されていて、学習の見通しがもちやすい。 ○「Science World サイエンスワールド」のページがあり、中学校への接続や発展学習に生かすことができる。	○児童が興味をもって学習に取り組めるように、身に付けたい力が理科モンスターというキャラクターで表現されている。 ○「もっとしりたい」では、身近な暮らしと関連付けたり、発展学習に生かしたりできる構成となっている。 ○巻末に、理科室の使い方や道具（実験器具）の使い方が詳しく書かれている。
表 記 ・ 表 現	○デジタルコンテンツが豊富で、個別最適な学びに役立てられる。 ○活字が大きい。字体、行間、色調も適切である。 ○安全面の注意事項が、赤字吹き出し「きけん」で強調されている。また、「問題」と「まとめ」が緑色で統一され、重要語句が、太字、緑色の下線で強調されている。	○実験結果・道具の使い方等をデジタルコンテンツで確認でき、二次元コードは全てページ番号の横にあるので、児童が見付けやすく、使いやすい。 ○登場するキャラクターでは、人権に対する配慮がなされている。 ○第5学年「めだかのたんじょう」P46、P47で使われている誕生までの写真に、別角度からの写真も掲載されていて、たまごの変化の様子が分かりやすい。	○巻末に二次元コードでデジタルコンテンツの目次を見ることができ、一覧から動画や確認テストを開くことができるようになっている。 ○第4学年P163のように実験器具の使い方を手順ごとに写真を掲載しながら説明していて、児童が視覚的に分かりやすくなっている。 ○第5学年P70のめしべの先や第6学年P127の化石など、児童が実際に見ることが難しい写真が大きく掲載されている。
使 用 上 の 便 宜	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。 ○巻頭の写真付きの「〇年の理科で学ぶこと」と背表紙の「もくじ」で、全体の構成を見通せる。写真付きのため、児童にとってイメージしやすい。 ○サイズ：縦29.8cm、横21cm、厚さ0.7～0.8cm、重量：第6学年439g、第5学年374g、第4学年437g、第3学年392g	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。 ○「ココに注目」では、実験する際に注目すべきポイントが書かれていて、児童が見通しをもって実験しやすい配慮がされている。 ○サイズ：縦29.8cm、横21cm、厚さ0.7～0.8cm、重量：第6学年531g、第5学年454g、第4学年526g、第3学年473g	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。 ○目次が裏表紙にあり、SDGsの17の目標との関連についても一目で分かる。 ○サイズ：縦25.7cm、横21cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年532g、第5学年447g、第4学年474g、第3学年427g 教科書のサイズが他社に比べて小さい。

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 啓林館 ）	発行者（ ）
内 容	○巻頭に、前の学年で学習した内容をまとめたページや国語の学習で学んだ力を生かすための解説ページがある。 ○巻頭の「学習の進め方」では、問題解決のプロセスが明記されており、それに沿って内容が展開されている。 ○思考力・判断力・表現力を育成するための支援として、問題から予想したり、結果から考察したりするところにピンク色で「見方のカギ」「考え方のカギ」がある。	○巻頭の「学びの中でICTを活用してみよう」で、活用の場面や効果を具体的に示し、主体的な学びを促している。 ○「理科の楽しみ方」では、問題解決の流れを円の形で示すことで、継続的に学習を進めていくという意識をもたせることができるようになっている。 ○「くらしとリンク」では、暮らしの中で理科がどのように活用されているかなどを紹介している。	
構 成 ・ 分 量	○単元末の「確かめよう」では、定着度を確認したり、理解を深めたりすることができる。 ○事象提示を受けて学習前の児童の疑問、問題解決を経ての変化などがイラストを通して表現されていて、学習の見通しをもちやすくなっている。 ○第6学年P31のように「はってん」では、中学校のどの学年で学習するのかが書かれているので、学習に見通しがもてる。	○発展的な内容はコラム「理科の広場」に記載されており、中学校での学びのつながりも意識することができる。 ○第6学年P12のように、ページの左端に問題解決のプロセスが整理されて記述されている。 ○第3学年の巻末に「こん虫たんけんシート・植物たんけんシート」の付録（定規付き）がある。	
表 記 ・ 表 現	○裏表紙に安全の手引が記載されており、子どもたちが安全への配慮に意識を向けやすいように工夫がされている。 ○全学年P7に「ノートのとおり方」の例示があり、「問題」「予想」「計画」「結果」「考察」「結論」のそれぞれの項目に何をどのように書いたらよいか分かる。 ○二次元コードだけでなく、第3学年P54のようにSDGsのアイコンも所々掲載されている。	○新しく学習した語句やポイントが単元末の「ふり返ろう」にまとめられている。 ○新出の実験器具や資料の提示に二次元コードが用意されており、詳細について学んだり確認したりできるようになっている。 ○活字の大きさ、字体、行間、色調が適切である。安全面の注意事項が、橙色吹き出し「注意」で強調されている。	
使 用 上 の 便 宜	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。 ○目次は、物質・エネルギー領域は青色、生命・地球領域は緑で表記されている。また、目次の横にマークの説明も記載されている。 ○サイズ：縦27.3cm、横21.1cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年481g、第5学年448g、第4学年496g、第3学年417g	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。 ○目次のページに「季節ごよみ」が掲載されており、学習に必要な植物の栽培の見通しがつかみやすい。 ○サイズ：縦25.7cm、横21.1cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年427g、第5学年382g、第4学年400g、第3学年397g 教科書のサイズが他社に比べて小さい。	

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 生 活 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 大日本図書 ）	発行者（ 学校図書 ）
内 容	○幼保小連携を意識しており、入学直後の1年生に向けた活動を丁寧に扱っている。 ○下巻P15などのように、他教科との関連を示すマークがあり、教科横断的に学ぶことができる。	○上巻の巻頭「たのしいよ 1ねんせい」（P2～P7）では、幼稚園、保育園、子ども園の生活と小学校生活とを比較しながらのスタートカリキュラムで活用できる内容となっている。 ○下巻P50にSDGsに関連した資料があり、下巻P39のようにマークをつけることで、学習との関連を示している。	○小学校生活の円滑な接続として、「はじまるよししょうがっこう」（上巻P3～P11）が設定され、児童の発達段階を考慮した紙面となっている。 ○ごみの分別やリサイクルなど、環境に配慮した行動についてイラストで示している（下巻P90など）。
構 成 ・ 分 量	○観察カードを書く時に、「見付ける」、「比べる」、「たとえる」と3観点を示しており（上巻P35など）、観察カードの例も多く掲載されている。 ○「！」気付き、「？」疑問や課題、「♡」関心など、児童の思いに沿った学習展開がされている。	○「くらべる」「たとえる」など、観察カードの書き方が具体的にくわしく載っている（上巻P41など）。特に第1学年初期の段階では、文字を書くのではなく、気持ちを表現する「きもち」マークというものが教科書に示されている（上巻P3など）。 ○見開き左ページ上には、興味を引く小見出しがあり、キャラクターが本時のめあてを伝えている。	○各ページの左上には、活動内容をその下には活動を喚起する内容が明記されていることで見通しをもって取り組むことができる。 ○上巻P46、47のように、もっと○○、ものしりノートなどは、発展的な学習につなげることができる。
表 記 ・ 表 現	○学習で大切なキーワードとなる考えは吹き出しの形で目立つようになっている。活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。 ○二次元コードが用意されており、活動が動画で見られるので分かりやすい。 ○上巻P28では、たね、芽、花のつぼみが種類ごとにセットで見られるようになっており分かりやすい。	○「せいかつのことば」として、「たべものをつくることば」（上巻P77）や「ゆきの名まえ」（上巻P109）などが掲載されており、語彙を広げることができる。 ○下巻P48のように、○○名人という言葉をつかって、めざす姿を明らかにしているため、児童がイメージしやすい。 ○二次元コードが載せてあり、動画を学習に活用できる。	○使用されている漢字にすべてルビが振ってあるため、未習や漢字の読みが苦手な児童も読むことができる。 ○二次元コードが載せてあり、動画を活用した学習に取り組むことができる。 ○発達段階を考慮したカードの記録例（上巻P35）や新聞の書き方（上巻P56）など、多様な表現方法を例示している。
使 用 上 の 便 宜	○巻末「かつどうべんりてちょう」が児童の自力解決の手がかりとなる。 ○サイズはA4サイズで重さは適切である。 ○上巻P119「こんぴゅうたをつかおう」では一人一台端末の活用例が具体的に示されている。	○「がくしゅうどうぐばこ」には、道具の使い方等の情報がまとめてあり、活動の際の視点、留意点分かりやすい。 ○下巻P77のように、児童の活動例にICT活用の様子が載せられており、分かりやすい。 ○教科書のサイズはA4版の大きさで、重さは適切である。	○巻末に9つの項目からなる「学び方図かん」があり、生活科の学習に必要な基礎的な知識・技能の習得が分かりやすいようにまとめられており、参照しやすい工夫がされている。 ○ICTの活用について、ワンポイントアドバイスを載せたり、写真で紹介したりしている（下巻P41など）。 ○A4判変形サイズ（レターサイズ）で重さは適切である。

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 生 活 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 光村図書 ）	発行者（ 啓林館 ）
内 容	○幼児教育（上巻P3～）や中学年の学習（下巻P104～）とのつながりを意識した内容になっている。 ○他教科との関連やSDGsを意識した構成となっており、関連学習にSDGsのマークが付いていたり、その一覧がまとめられたりしている。（下巻P109 「学びのポケット」、P122 「地きゅうとなかよし」）	○「さあ、とびだそう」では、幼児教育とのつながりを意識し、これまでの成長をいかし興味を引き出しながら、第一單元へつなげている。 ○SDGsのマークをつけ（下巻P55など）、環境学習と関連付けている。	○スタートカリキュラムで活用できる内容として、「がっこうだいすき いちねんせい」（上巻P1～P16）が設定されている。 ○「他教科マーク」（下巻P69など）を掲載し、他教科とのつながりを分かりやすく示している。
構 成 ・ 分 量	○「気付く」「考える」「伝える」「挑戦する」などがページ左上に記載されており、視点が明確である。 ○第1学年の段階から、思考ツールの手法を取り入れた学習構成がなされている。（上巻P77など）	○各ページに「ふりかえろう」という振り返りの視点があり、子どもたちが活動を振り返りやすくなっている。 ○上下巻ともに、「こんなこともあるかもね」「こんなのもいいかもよ」「どうしてなんだろう」の部分が児童の思考を促したり、興味をもてるように工夫がなされていたりしている。	○単元末「ぐんぐん」の紙面の「できるかな できたかな？」のコーナーで自己評価の視点を示し、「ひろがるきもち」のコーナーでは、学習活動を日常生活につなげたり、学習をさらに広げる具体的な姿が示されている。 ○上巻P113の付箋整理や上巻P47、P92などの児童の気付きを共有化・可視化する、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されており、課題解決の方法を学ぶことができる。また、様々な思考ツールの基礎段階を指導することができる。（例：上巻P112）
表 記 ・ 表 現	○二次元コードが掲載されていて、どのような資料を見ることができるか、一目で分かるように示されている。 ○活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。 ○はっけんロードが教科書下に示され、学習がつながっていることが分かる（上巻P25～など）	○子どもになじみのあるイラスト（絵本作家）で、色味も暖かく見やすい。 ○二次元コードが掲載され、動画を活用して学ぶことができる。 ○活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。	○二次元コードが掲載され、動画を活用して学ぶことができる。 ○活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。 ○教科書右下には、本時のまとめや次時の課題につながる言葉などが書かれている（上巻P17など）。
使 用 上 の 便 宜	○巻末「学びのポケット」との関連が示されており、児童の自力解決の手がかりとなる。 ○わくわくスイッチのページを活用して一人ひとりの興味を探ることができ、個に応じた支援に生かすことができる。 ○サイズA4であり、重さは適切である。	○別冊で、ひろがるせいかつじてんがあり、植物図鑑やあそびの図鑑などがあり、学習に役立てることができる。 ○上巻巻末の植物図鑑が防汚加工されているので野外活動で使いやすい。 ○サイズはA4であり、重さは適切である。	○上巻P78のような「びっくりずかんLIVE」があり、図鑑的な要素がある。 ○巻末「がくしゅうずかん」では、生活科の活動に生かせる情報をまとめている。 ○サイズはA4より小さく、重さは適切である。

令和5年度 検定教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 音 楽 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 教育芸術社 ）	発行者（ ）
内 容	<p>○右ページ上部にある、「音楽のもと」で学習内容がわかりやすく示されており、知識及び技能の習得に役立つ。</p> <p>○第4学年の「役割をもとに音楽を作ろう」など、学び合うことをテーマに学習活動が設定されており、児童が試行錯誤しながら学習に取り組みやすい。</p> <p>○全学年で英語の歌が掲載されており、他教科との関連を図った授業展開ができる。</p> <p>○第5学年P 6 5「川はだれのもの？」でSDG sについて取り上げられている。</p>	<p>○「見つける」「考える」「歌う」「演奏する」など、学習活動が具体的に示されており、課題を解決したり、思考を促したりする手立てとなっている。</p> <p>○キャラクターが考えるヒントとなることをつぶやいており、視点をもって表現の工夫を考えることができる。</p> <p>○著作権やサウンドスケープ、ゲーム音楽の紹介等、実生活につながる内容が記載されている。</p>	
構 成 ・ 分 量	<p>○「音楽のおくりもの」「さんぽ」が全学年で掲載されているため、全校合唱で活用できる。</p> <p>○児童に書き込ませる枠がほとんどない。</p> <p>○第3学年P 4 6のように、児童が「歌唱で学ぶのか」「器楽で学ぶのか」（リコーダー）主体的に選べる題材がある。</p>	<p>○第6学年P 4 4「われは海の子」を夏に扱うことが難しい配列になっている。</p> <p>○第6学年P 3 7など、気づいたことを書き込ませる枠が設けられている。</p> <p>○第3学年P 3 6, 第5学年P 3 8のように、1つの題材について、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」の2つ以上を組み合わせている題材がある。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○第1、2学年に、実物大の鍵盤写真があり、手の置き方、指使いが分かりやすい。</p> <p>○楽器やばちの持ち方が、手元を拡大した写真で分かりやすく示されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの数が精選されている。</p>	<p>○第1学年の鍵盤ハーモニカの単元で、息の出し方、切り方がイラストで分かりやすく示されている。</p> <p>○楽譜がシンプルで、児童の集中力を妨げる刺激が少ない。</p> <p>○二次元コードの位置がページの右上に固定されていて、見付けやすい。</p>	
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭の「学習マップ」で全体の構成を見通せるように工夫されている。</p> <p>○巻末の「音楽のもと」まとめでは、難しい言葉の要素が、イメージ図で分かりやすく示されている。</p> <p>○折込のページにリコーダーの運指表があり、広げて見やすい。</p>	<p>○巻頭の「学習マップ」「ふりかえりのページ」で全体の工夫が見通せるように工夫されている。</p> <p>○各ページの学習活動が明確で、自学自習にも生かすことができる。</p> <p>○アジロ製本様式で、丈夫で長持ちするように配慮されている。</p>	

令和 5 年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 図画工作 】

	発行者（ 開隆堂 ）	発行者（ 日本文教出版 ）	発行者（ ）
内 容	○「学習のめあて」について、三観点のうち最も重要とする部分が赤字で書かれており、児童が主体的に短時間で確認できるようになっている。 ○現行の教科書と同題材名でも作品事例写真が異なるので、指導者にとって指導の幅の広がりの手がかりになる可能性が高い。 ○低学年から高学年にむけて、自然に触れたり外に出て行う造形あそびの題材が系統的に組み込まれている。	○中学年から鑑賞教材、写真が充実している（第3・4学年下巻P22鳥獣戯画等） ○高学年から本格的なICT活用の題材が取り入れられている。（第5・6学年上巻P54「ICTでチャレンジ」等） ○情報モラルなど現代的な課題から、第5・6学年下P48、49のように伝統文化や国際理解等にも触れ、発展的内容が充実している。	
構 成 ・ 分 量	○各領域に必要な内容が適切な分量で構成されている。 ○現行の教科書よりも、技能的なヒントや発想の手立てとしての写真などが、それぞれのページに掲載があるため見やすい。 ○学習のめあてがはっきりしていて、どの資質・能力を育てるための授業をすればよいのか分かりやすい。	○各領域に必要な内容が適切な分量で構成されている。 ○巻末の用具の扱いや、注意事項に関するページは、落ち着いた色調の背景となっているので、視覚的な刺激が強すぎず、最適で見やすい。 ○教科書の上部に制作している子どもの写真が多く記載されており、作業過程がイメージしやすい構成になっている。	
表 記 ・ 表 現	○題材名の左上の箇所（定位置）に、その題材で使用する用具が、イラストと文字で表記されているため、何を使用するか分かりやすい。 ○高学年になるにつれ、字が小さくなる。技法の説明ページも背景色が全て白で、とても小さい字のため、1ページの情報量が多くなっており読みにくい、イラストは見やすい。 ○めあてのキャラクターが登場し、表記されている。	○高学年でも字が大きめで見やすい。技法の説明では、イラストより写真を多く使用するとともに、背景色や太い枠で囲むなどしており、見やすい。 ○どのページも、左上にめあて、下部に用具や注意事項などが同じように記載されており、見やすく分かりやすい。 ○児童のつぶやきが吹き出しになっていて作品の様子が分かりやすい。	
使 用 上 の 便 宜	○1単元が見開きになっていてわかりやすい。 ○片付けや振り返り等の観点が同じ場所に記載されわかりやすい。 ○左ページ下部の「参考」から巻末の「学びの資料」につながり、主体的に活動できるようになっている。 ○全体的に学年のつながりを意識できる内容になっており、第5・6学年下巻の「未来につながる図画工作」では6年間の学習を振り返り、図画工作で身に付けた力が中学校生活、さらに将来の仕事につながることを意識できるようにさせている。	○第5・6学年上の巻末にアートカードが付いており、子どもがそのまま切り取って使えて便利である。また、「図工のたいそう」は独自の表記である。 ○巻末の「材料と用具のひきだし」が辞典のようで、活用でき、使いやすい。知りたい情報が見付けやすく、技術や表現の幅を広げることにつながる。 ○第1・2学年上巻には保幼小連携を意識したつくりになっており、第5・6学年下巻では9年間の美術科教育への系統性が意識できるようになっている。	

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 家 庭 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 開隆堂 ）	発行者（ ）
内 容	○日本の伝統、SDGs、安全への配慮がまとめられ、各学習内容と関連付けながら学びを深めることができる。 ○「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「深めよう」と活動内容が明示され、学んだことを活用して深めるようになっている。	○防災、SDGsについてまとめられている。また、P77のように地図を活用して食文化への理解を深めるなど、各学習内容・関連教科と関連付けながら学びを深めることができる。 ○子どもたちの興味を引きつけ、語彙を増やしたり知識を広げたりできる豆知識がページ下部に全ての単元で掲載されている。	
構 成 ・ 分 量	○第5学年8題材、第6学年7題材が設定され、全149ページで構成されている。 ○毎学期、調理又は裁縫の実技が構成されており、教材の配列、系統性、発展性が考慮されている。	○第5学年11題材、第6学年9題材が設定され、全153ページで構成されている。 ○発展学習としてP37のように「生活の課題と実践」があり、家庭科の学習を生かして、日々の生活から課題を見つけ、実践につなげる資質・能力を伸ばすようになっている。	
表 記 ・ 表 現	○写真、大きな絵、図が豊富で、説明と合わせて視覚的に捉え理解を深めることができる。 ○題材名や挿絵による問題提起など、児童が学習内容に興味関心を高めるよう工夫されている。	○写真やイラストが豊富で、色使いも配慮されており、視覚的に捉えることができる。 ○重要な語句を太字にしたり、吹き出しや見出しを付けたりと文字情報の表記方法を工夫している。	
使 用 上 の 便 宜	○各単元において二次元コードが示され、単元に紐付く動画等が準備されている。 ○目次に一覧性があり、2年間の内容を把握し、見通しがもてる。また、巻末には右利き・左利き両方の技能に関する写真が掲載されている。	○各単元において二次元コードが示され、単元に紐付く動画等が準備されている。 ○目次に一覧性があり、2年間の内容を把握し、見通しがもてる。また、巻末には右利き・左利き両方の技能に関する写真が掲載されている。	

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 大日本図書 ）	発行者（ 大修館書店 ）
内 容	○「学習の課題」が教科書の左上に大きく示されていて、児童がその時間に何を身に付けるのかが分かりやすい。 ○どの単元の課題も自ら気付いて見つける構成になっており、問題を解決するために必要な力を育むことができる。 ○単元の始まりのページに学習内容とSDG sとの関連を示すなど、現代的な課題に対応している。	○各学年の最後に「○学年のまとめ」のページがあり、学習内容の定着につなげることができる。 ○どの単元にも「活かそう」の欄があり、自分の生き方につなげた「振り返り」ができるようになっている。 ○現代的な課題（SDG s、LGBTなど）についての記載がある。	○第3・4学年用教科書の巻頭に「生活の中のほけんをさがそう！」があり、身の回りに保健に関する事象が多くあることを理解させやすい。 ○各学年の最初のページには、著名人の健康についてのインタビューがあり、「キャリア教育」につなげることができる。 ○第5学年「心の健康」の悩みを相談する場面において、具体的な相談の仕方が記載されているなど、生活に活かすことを想定した内容である。
構 成 ・ 分 量	○「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という流れで単元が構成されている。 ○ほとんどのページに書き込む箇所があり、授業の流れにそって、記入しながら、考えを深めることができる構成である。 ○一単位時間あたり4～6ページで構成されており、詳細に説明されている箇所が多い。	○「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」という流れで単元が構成されている。 ○巻頭に目次、学習のすすめ方、教科書の使い方が記載しており、どのように学習をすすめれば良いかがわかりやすい。 ○一単位時間あたり2～4ページで構成されており、統一されたレイアウトで児童が迷いなく学習に取り組むことができるようになっている。	○どの単元も「ステップ1」（課題をつかむ）「ステップ2」（課題を解決する）「ステップ3」（学習をまとめる）という流れで構成されている。 ○教科書自体がワークシート形式となっており、扱いやすい。 ○一単位時間あたり2ページから4ページで構成されている。また資料「もっと学びを広げよう！深めよう！」が多く用意されている。
表 記 ・ 表 現	○写真やイラストは、車椅子、外国籍の子どもなどを使用しており、多様性・共存に対して配慮がされている。 ○「解説」として新しく出てきた言葉の解説がされており、分かりやすい。 ○知識として確実に定着させたい言葉を太字で目立たせるなど、配慮されている。	○フォントのサイズが適切かつ統一されており、見やすい。 ○第3学年の学習内容が青、第4学年が赤、第5学年が緑、第6学年が紫と薄い赤と色別されている。 ○他教科との関連があるページには教科名が分かりやすく記載されている。	○見開きの左上に必ず単元名や本時のテーマが明記されていて、児童も教師も見通しをもちやすい。 ○児童の発達の段階を考慮し、第4学年P31「体にあらわれる変化」では着衣のイラストを採用している。 ○第3学年P23「学校みんなのけんこうを守る活動」などでは、実際の写真が多く使用されているため、日常生活につなげやすい。
使 用 上 の 便 宜	○教科書はA4判で、第3・4学年は45ページ、第5・6学年は77ページで構成されている。 ○教科書のまとめが穴埋め式になっているため、児童にとってまとめに何を書いて良いか分かりやすい。 ○児童の興味関心を高めるため、「気づく・見つける」段階のページでは、そこから先の学習内容を見えないようにしている。	○教科書はA4判で、第3・4学年は45ページ、第5・6学年は69ページで構成されている。 ○ワークシートと一体となっており、児童が書き込みながら学習できるようになっている。 ○巻頭に示されている折り込みカードのページを使い、情報を制限することで児童の主体的な学びにつなげられるようになっている。	○教科書はA4判で、第3・4学年は49ページ、第5・6学年は73ページで構成されている。 ○イラスト・写真の配置や色づかい、マークや囲みのデザイン、文節での改行など、学習上のつまづきを防ぐように配慮されている。 ○「まとめ」の書き込みが教科書見開きの下部分に統一されて設定されている。

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

	発行者（ 文教社 ）	発行者（ 光文書院 ）	発行者（ Gakken ）
内 容	○単元の内容に合わせて、アスリートや歯科医師、警察官からのメッセージを掲載しているなど、「キャリア教育」につなげやすい内容である。 ○単元末の「私の○○宣言」の欄を活用し、今後に生かしたいことを表現するなど、思考力、判断力、表現力等を高めることができる内容である。 ○第5学年「不安や悩みへの対処」では、体ほぐしの運動例が写真付きで1ページ紹介されている。	○「わたしと健康」という題名で、オリンピックやパラリンピアン、アーティストのメッセージが掲載されている。「キャリア教育」にもつなげやすい内容である。 ○伝え合う学習が各単元に設定されており、児童が思考力、判断力、表現力等を高めることができる内容である。 ○毎時間「学習の課題」が示されることで、児童が主体的に学習に取り組むことができるようになっている。	○「もっと！知りたい・調べたい」のページがあり、学習内容と自己の生活を結び付けることができる内容である。 ○「話し合う・意見を出し合う」などの活動が、どの単元にも配置されており、思考力、判断力、表現力等を高めることができる内容である。 ○5年「不安や悩みへの対処」では、体ほぐしの運動例が1ページイラストで紹介されている。（5年）
構 成 ・ 分 量	○毎時間「本時のメニュー」が示されることで、見通しをもって学習できるようになっている。 ○教科書自体とワークシートが一体となっている。また、児童が記述する欄には、罫線が引かれている。 ○発展的な学習として「もっと考えよう課」というページが設定されている。	○「自分の生活を振り返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」という流れで構成されている。 ○目次には学習の進め方が示されているとともに、保健を学ぶ意義について漫画で示されている。 ○巻末にSDG sについての単元「SDG sってなんだろう」が掲載されており、保健で学んだこととSDG sの目標には深いつながりがあることを示し、発展学習へつなげやすくしている。	○どの単元も「振り返る」「話し合う」「学びを生かす」などの3段階の流れで構成されている ○巻頭では、目次とともにSDG sと保健の学習とのつながりを明記している。 ○「ほけんのはこ」のコーナーが設定され、発展的な内容を学ぶことができるようになっている。
表 記 ・ 表 現	○大事な言葉が太字で表記されるなどの配慮がある。 ○学習の流れの言葉が英語表記になっている。 (menu、mission、Stage、clear、complete) ○全体的に明るい色を使用しており、イラストと実際の写真のバランスがよい。	○大事な言葉が太字で表記されるなどの配慮がある。 ○イラストと実際の写真を組み合わせることにより、日常場面をイメージしやすくしている。（例：第5・6年 「心の発達に大切なこと」 P10～P11など） ○第4学年「体の発育と健康」では、成長には個人差があることを繰り返し表記している。	○文字数が少なく簡潔にまとめられている。また、文字と資料、イラストのバランスがよい。 ○各ページの下部に豆知識を記載した「プチ」というコーナーを設けており、学習内容に関連した知識が書いてある。 ○キャラクターの吹き出しが児童に思考を促すようになっている。
使 用 上 の 便 宜	○教科書はA4判で、第3・4学年は37ページ、第5・6学年は83ページで構成されている。 ○「つぶやきくん」というキャラクターが豆知識やメッセージをつぶやく欄をページ下部に設けている。 ○まとめて「もう1歩先の自分へ」の項目に記述するようになっており、自分の将来と結び付けるようにしている。	○教科書はA4判で、第3・4学年は41ページ、第5・6学年は65ページで構成されている。 ○単元の最初のページでは、学習内容に関連した4または5コマ漫画を掲載し、単元のねらいを明確にする工夫がなされている。 ○単元末の「学習のまとめ」では、チェックシートに○や×をつけたり、記述で振り返ったりできるようになっている。	○教科書はA4判で、第3・4学年は49ページ、第5・6学年は89ページで構成されている。 ○第3・4学年及び第5・6学年の巻末において、2年間の学びを振り返り、記述できるページを設定している。 ○印刷が鮮明であり、全ページカラー刷りで、色彩は目にやさしくソフトに仕上げています。

令和5年度 検定教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 開隆堂 ）	発行者（ 三省堂 ）
内 容	<p>○書く活動を多く取り入れている。</p> <p>○第6学年の教科書Unit 5 P 5 4のように、他教科と関連した内容がある。</p> <p>○Unitの学習の流れがStating out → your turn → Enjoy communication → Over the horizonとなっており、指導者も学習者も見通しがもてる内容になっている。</p> <p>○第5学年P 3 9のように考えを整理する思考ツールを活用し、自分の考えを発表する活動がある。</p>	<p>○単元の最初に、単元のゴールや学習の流れが明確に書かれている。</p> <p>○単元の導入では、簡単なゲームやアクティビティなどを行い、「やり取り」を重視した内容となっている。</p> <p>○世界に焦点を当てていて、SDGsに関係しているものを取り上げている。（第5学年P 5 1）</p> <p>○他教科に関連した情報や表現が多い。該当箇所は他教科との関連がわかるマークが第5学年P 2 5のように、単元の最初のページ右下に示されている。</p>	<p>○各ユニットごとにHop Step Jumpの三段階に分かれており、学習の流れが明確に示されている。</p> <p>○第6学年P 2 0などのように外国の文化の紹介等が多く盛り込まれている。</p> <p>○学習の流れ（Let's watch - Listen - Speak - Play - Talk）+（Read & Write）が統一されており、見通しをもって学習を進められる。</p> <p>○第6学年P 5 9のように、他教科とのつながりを意識したマークがついている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第5学年P 1 1のように、実際に自分のことについて書かせ、話し合わせる活動につなげている。</p> <p>○Small Talkの設定時間が1単位時間の中盤にあり、学習したことを生かして話し合うことができる。</p> <p>冒頭の目標から達成度を見取るコミュニケーション活動に至る一連の流れを通じ、児童に安心感を与える構成になっている。</p>	<p>○巻頭に見開きで、英語を学ぶ上での大切なことが掲載されている。</p> <p>○Let's play の内容がゲームの要素を盛り込んでいるため、学習活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>	<p>○単元後半にあるFun Boxは、既習内容を復習する上で有効である。</p> <p>○第6学年P 3 1のように、プレゼンテーションでOUTPUTする活動が多く、発表することを意識した内容になっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第6学年のP 2, 3において、名前の書き方、単語の書き方、文の書き方のポイントを提示するとともに、英語を書かせる場合は、4線の上に書かせるようにしている。</p> <p>○二次元コードで読み取り、一人や家庭学習でも発音を確認できる。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>	<p>○日本語で書かれている指示が分かりやすいので、児童が見通しをもって学習に取り組みやすい。</p> <p>○二次元コードで動画や音声聞くことができる。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>	<p>○ページ右下のミニ情報が、児童の興味を引く内容となっている。</p> <p>○二次元コードで動画や音声聞くことができる。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第5、6学年で利用できる別冊のMy picture dictionaryが付いている。また、別冊のP 4 2にCAN-DOの樹としてCAN-DOリストがある。</p> <p>○サイズはA 4で重さは適切である。</p> <p>○付録のMy picture dictionaryを使用するページの指示が的確で、学習者が活用しやすい。</p>	<p>○第5、6学年のそれぞれにWord Bookがあり、学習者にとって使いやすく、指導者にとっても指導しやすい。</p> <p>○巻末のCAN-DOチェックで、できるようになったことが記録できる。</p> <p>○サイズはA 4サイズで重さは適切である。</p>	<p>○第5学年P 3 9「世界のおはなし」、第5学年P 1 0 6「プログラミング」に関するページ、P 9 2, 9 3「Hello World」等が、発展的な内容であり、異文化理解をする上で有効である。</p> <p>○サイズはA4で重さは適切である。</p> <p>○別冊のMy Dictionary P 4 4～4 5の「CAN-DO」によって、学習したことを振り返ることができ、評価にも活用しやすい。</p>

令和5年度 検定教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 光村図書 ）	発行者（ 啓林館 ）
内 容	<p>○Lessonの内容構成が「映像を見る」→「話す」「聞く」「書く」「読む」→Final activityとなっている。</p> <p>○各LessonごとのGoalが提示されており、クローバーの三つ葉に色を塗り、振り返る形になっている。</p> <p>○Let's Look at the Worldでは、SDG sを意識した内容となっている。</p> <p>○第5学年P 5 6の名所・名物マップなど、他教科と関連した多彩な資料が掲載されている。</p>	<p>○Unitの最初にゴールが示されており、学習の流れが明確に示されている。</p> <p>○1単位時間の学習は「watch→listen→try→read」となっており、指導者も児童も見通しをもって学習に取り組むことができる。</p> <p>○UnitがHop→Step→Jumpの構成になっており、それぞれの目標も明示されているため、指導者・学習者ともに見通しをもって指導・学習ができる。</p> <p>○SDG sに関わる環境問題を多く取り上げており、英語の物語を通して考えることができる。（6年P 9 7など）</p>	<p>○各UnitにGoalを設定しており、Stepごとの学習者の活動のめあてが示されている。</p> <p>○Stepの最後にはactivityが設定されており、OUTPUTで終わるようにになっている。</p> <p>○巻頭にはコミュニケーションに大切なことを載せ、話し方や聞き方、やりとりについて、説明がされている。</p> <p>○Did you know?では、第5学年P 1 0 3のように、世界の問題についてSDG sを視点に考えるページがある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各Unitの最初にThinkが設定されており、自分はどうしたいかを考え、それをもとに友達と交流することができる。</p> <p>○多彩なアクティビティが多く掲載されている。</p>	<p>○やりとり中心で、相手に応じてのリアクションなどが丁寧に扱われている。</p> <p>○巻頭に「6年でできるようになること」や「中学校の目標」を掲載し、これからの学習の動機づけを重視したつくりとなっている。</p>	<p>○第5、6学年ともに、巻頭に「コミュニケーションに大切なこと」で「やりとり」「発表」、巻末に「会話を楽しむフレーズ集」があり、コミュニケーションする際のアドバイスを多く掲載している。</p> <p>○Did you know? やChallengeでは、世界のカルチャーを知ったり、activityを発展させたりできる。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第5、6学年とも巻頭にクラスルーム・イングリッシュやタブレット端末の使い方、学校生活で気を付けることが音声で案内されている。</p> <p>○二次元コードの中に、音声・動画・音楽のどれかが分かるよう表記がある。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>	<p>○二次元コードが掲載され、音声や動画等、資料を活用して学習に取り組むことができる。</p> <p>○ページ下に発音についてのワンポイントが書いてあったり、ページ上部には、Small Talkのフレーズ等、英語のちょっとしたコツが多く掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>	<p>○Tipsがあり、豆知識やヒントがある。</p> <p>○Chantの学習では、アクセントの部分にオレンジ点が付いており、どこに強弱をおくのかが見て分かる。</p> <p>○二次元コードで動画や音声を聞くことができ、また、ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調などが適切である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第5、6学年ともに巻末にMy word bankがあり、Lessonごとに活用しやすい。</p> <p>○第6学年巻末のMy Bookでは、9種類のワークシートがあり、学習を生かして表現をすることができる。</p> <p>○大きさはA 4変形型で、小さいつくりとなっている。</p>	<p>○picture dictionaryがついていて、単語が覚えやすくなっている。</p> <p>○第6学年P 6 1のように、ICTの活用についてページを割り、ノートパソコンやタブレットを活用した学習を紹介している。</p> <p>○大きさはA 4変形型で、少し小さい作りとなっている。</p>	<p>○巻末にWord listがある。</p> <p>○A 4サイズで、重さは適切である。</p> <p>○around The World では、同年代の友達を意識させることで、より英語を身近に感じることができる。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 光村図書 ）
内 容	<p>○全学年のP 6・7に道徳の学び方として、「気づく→考える→広げる・深める」という学び方が示されている。</p> <p>○手塚治虫さんや辻井伸行さんなど、子どもたちが知っている著名人を取り上げており、興味・関心を引く内容になっている。</p> <p>○「郷土愛の育成」については、第1学年で「見つけてみよう まちのすてきなところ」となっており、身近な話題を取り上げることができる。</p>	<p>○全学年のP 4・5に「考えよう」「深めよう」「つなげよう」という学び方が示されている。</p> <p>○現代的な諸課題に対応した教材がある。（例 第3学年「エプロン」（P 4 2）「おそろしいゲームいぞん」（P 5 0））</p> <p>○第5学年の巻末に、SDG s との関連した資料がある。</p>	<p>○第2学年～第6学年のP 8・9に「道徳みちあんない」として、1年間の流れが示されている。</p> <p>○教科書に自分で言葉を書き入れられる教材（例 第1学年P 1 0 2「ジャングルジム」、第3学年P 1 2 5「まわりを見つめて」）がある。</p> <p>○「なんだろうなんだろう」という児童が考えるきっかけになる教材が各学年に配置されている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○本編教材は、第1学年は3 4編、第2学年～第6学年は3 5編ある。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○「つながる・広がる」で、他教科の学習や実生活と関連した内容を取り上げている。</p>	<p>○本編教材が第1学年で3 0編、補充教材として4編、第2学年～第6学年で3 0編、補充教材が5編ある。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○「問題を解決しよう」では、「問題を見つける」「解決方法を考える」「考えたことを生かす」と問題解決の手順が示されており、児童にとって、取り組みやすい。</p>	<p>○本編教材数が第1学年が3 4編、第2学年～第6学年が3 5編ある。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○「ところをかよわそう」や「コラム」があり、発展的な内容になっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○二次元コードからスライドショー、デジタルノートが活用できるとともに、心情メーターなどの付録がついている。</p> <p>○通常の目次とは別に、内容項目別の目次が設けられている。</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○ほとんどの教材に二次元コードがついている。</p> <p>○P 2・3に「道徳で学習すること」が内容項目ごとに色分けされた目次がある。</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○掲載されている写真が鮮明である。</p> <p>○第3学年以上で思考ツールが付録で紹介されている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書はA B版である。</p> <p>○巻末の「学習の記録」では、心に残った話や振り返りを記入する欄がある。</p>	<p>○教科書はA B版である。</p> <p>○巻末に学年の発達段階に応じた資料が掲載されている。</p>	<p>○教科書は、変形A B版（縦2 5．7 cm、横1 9．2 cm）である。</p> <p>○巻末に「学びの記録」があり、シールを貼ったり一言感想を書いたりする欄がある。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

	発行者（ 日本文教出版 ）	発行者（ 光文書院 ）	発行者（ Gakken ）
内 容	<p>○P4・5に「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」という「道徳の学び方」が示されている。</p> <p>○「こころのベンチ」が設定されており、授業で学んだ行動を児童が実践する助けとなる。</p> <p>○「ウイルスとの戦いー父にエールをー（第6学年P50）」に新型コロナウイルス感染症に関する教材がある。</p>	<p>○P4・5に「問いを見つけよう」「考えよう」「まとめよう・ふりかえろう」「ひろげよう・つなげよう」という学び方が示されている。</p> <p>○「生命尊重」について、全学年で連続して教材を配置している。</p> <p>○オリンピックに出場したことのある体操の内村航平選手（第3学年P66）やラグビー日本代表選手（第4学年P140）の教材がある。</p>	<p>○「道徳の学習が始まるよ（P8・9）」では、第1・2学年で道徳の学習内容、第3・4学年で自分を見つめ深めるポイント、第5・6学年で考えを深めるステップが記載されている。</p> <p>○板橋区で実際に児童が行った出来事が題材として扱われている。（第6学年P156～P159「届け！ぼくらの願い」）</p> <p>○上野由岐子さん（第3学年P26）、高橋尚子さん（第3学年P118）など、児童が興味をもって考えられる人物の教材を扱っている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○本編教材数が第1学年が34編、補助教材3編、第2学年～第6学年が本編教材35編と補助教材3編で構成されている。</p> <p>○自分の考えを書き込んで授業に生かすことができる別冊ノートがある。</p> <p>○各教材に「見つめよう・いかそう」があり、自分事として考える学習につなげることができる。</p>	<p>○本編教材数が第1学年が34編、補助教材6編、第2学年～第6学年が本編教材35編と補助教材5編で構成されている。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○各単元に「ひろげよう」が記載されており、自分事として考えることができる。</p>	<p>○本編教材は、第1学年は34編、第2学年～第6学年は35編ある。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○発展として「こころのパスポート」があり、教材を通して考えを深めることができる。（例：第1学年「あかるい あいさつ」→「やってみよう あいさつリレー」 P13）</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○教材と道徳ノートに全て二次元コードが付いている。</p> <p>○教材に登場する主要人物の挿絵がある。</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○写真の掲載量が多く、挿絵が目を引き構成である。</p> <p>○思考ツールや、ノートの書き方例などを紹介するページが巻頭にある。</p>	<p>○環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、ユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>○各教材の主題が教材の冒頭にない。</p> <p>○見開き2ページを使用した写真（第1学年「みんなあかちゃんだったよ」P36）がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書はAB版である。</p> <p>○各教材のスタートが全て見開きになっている。</p>	<p>○教科書はAB版である。</p> <p>○巻末に「学びの足あと」として、授業の記録を短く表にまとめられるページがある。</p>	<p>○教科書はAB版である。</p> <p>○巻末の目次は、教材の主題名だけでなく、デジタルコンテンツも一覧になっている。</p>

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書

学校調査研究報告書

(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

(令和6年度使用)

令和5年 7月

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	国語	国語	国語
発行	永岡書店	東洋館	くもん出版
書名	考える力・知的好奇心を育てる子どもに教えたいふしぎのお話365	小学生のためのきれいな字になるワーク漢字・言葉・文章〔改訂版〕	書きたいことが、いっぱいみつかる作文教室小学1・2年生
著者	篠原 菊紀	大南 英明／著	田近 洵一
内容	○科学や日常生活の疑問などを題材に366の話が掲載されている。	○基礎的な知識及び技能が確実に習得できる内容である。	○「報告・記録」「意見」「説明」など、さまざまな作文のジャンルごとに、生徒が関心をもちそうな題材が紹介されている。
構成・分量	○日付に沿って366の話が掲載されている。 ○片面1文章で見開きで2つの文章が書かれている。	○発展的内容に関わる記述の内容、構成・分量等は適切である。	○まんがで場面やポイントをおさえ、「お手本例」をもとにした簡潔な説明が掲載されている。
表記・表現	○カラー印刷がされている。 ○文章にルビ振りがされている。 ○文章に合わせたイラストが描かれている。	○活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。	○イラストで場面が分かりやすく提示されている。ふきだしなどでポイントや考えや気持ちの例などが表記されている。
使用上の便宜	○国語の授業で文章を学ぶ際に活用できる。	○全体の構成が見通せるような配慮がされている。	○生徒にとって身近な題材を取り上げており、作文や書字が苦手な生徒にも分かりやすく説明ができるよう工夫されている。

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	書写	書写	社会
発行	学文社	日本習字普及協会	ポプラ社
書名	ゼロから始める日 ペンのこども美文字練習帳	わかりやすい毛筆の基本	もっと知りたい！図鑑6 行ってみよう！京都・奈良 図鑑
著者	三ツ井 清貴	関岡 松籟	千葉 均
内 容	○1冊でひらがな、カタカナ、数字、漢字の書き方が上達できる。練習が終わった後もお手本集として長く役立つ。	○運筆など筆づかいについて解説されている。 ○書写のお手本が多く掲載されている。	○京都・奈良を中心に、平泉・日光・姫路・広島・沖縄の建造物などの文化財を、歴史的な背景も含めて解説している。
構成・分量	○漢字に関しては小学校学年別配当漢字(1年生から6年生)1,026文字の手書きお手本がついている。	○書写のお手本文字がある。 ○お手本の作品の運筆方法や文字のバランス、形について解説がされている。	○全体の7割が京都・奈良で構成されている。 ○多くの神社仏閣の解説がされている。
表記・表現	○書き方と上手に書くポイントがわかり、手書きのお手本がついている。	○ひらがなや漢字など様々なお手本が掲載されている。	○全ページにルビが振られている。 ○写真が多く使われていて資料集としても使える。
使用上の便宜	○ひらがなや漢字だけでなく、季節の言葉も練習することができる。	○書写の授業でお手本として使用できる。	○修学旅行や校外学習で訪れるときの、事前学習をする際に手引きとなる。

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	社会	数学	数学
発行	小学館	日本教育研究出版	東洋館
書名	書いて覚える都道府県 令和版	ひとりだちするための 算数・数学ワーク1お金編	くらしに役立つワーク数学
著者	小学館クリエイティブ	子どもたちの自立を 支援する会	大南 英明
内容	○問題ページに白地図を用いて、地理的状況が自然に学べるようになっている。	○実生活を意識したような題材で問題が作成されている。 ○お金のやりとりの計算問題が豊富である。	○学校生活を卒業後、社会の一員として主体的に生きていくために必要な基礎知識が写真やイラストを交えて分かりやすく紹介されている。
構成・分量	○日本がどのような形をしていて、どのような都道府県があるのかを、日本地図で見ていき、7つの地域に分け、地域ごとの特徴を簡単に紹介した後に、各都道府県の解説をしている。	○お金に関する算数数学の内容で、図形や量、グラフの読み取りなどの単元に分かれている。	○「数と計算」や「量と測定」等、基礎的な計算力と知識を身に付ける「基礎編」と、実生活に沿った内容で、生活単元学習や特別活動等でも活用できる内容で構成されている「生活編」の2部に分かれた構成となっている。
表記・表現	○問題を解き解説を読むことで、都道府県の地理的位置関係や特徴をつかむことができる。 ○解説ページには立体地図を用いるため、地理的状況を視覚的に読み取ることができる。	○問題に沿ったイラストが記載されている。 ○文章にルビ振りがされている。	○イラストが各所に提示されており、文字だけでなく視覚的補助も充実している。
使用上の便宜	○白地図、および問題ページなどは、小学館クリエイティブのHP内にある「書いて覚える」のページから簡単にダウンロードできるので、出力して何度でも繰り返し学ぶことができる。	○数学の演習問題として使用できる。	○生活の中で数学を使う具体的な場面設定がされており、「くらしに役立つ」生きた知識・技能としての数学を身につける教材として適している。

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	理科	理科	美術
発行	日東書院本社	新学社	秀学社
書名	でんじろう先生の わくわく化学実験	グラフィック理科資料集	美術資料東京都版
著者	米村でんじろう	新学社編集部	京都市立芸術大学美術教育研究会日本文教出版編集部(編)
内容	○「大気」「揚力」「静電気」など22の科学のテーマを取り上げ、その現象を確かめる実験のやり方と、実験の結果やその理由を説明している。それぞれの現象がどんなところで見られ、どのように使われているのかも写真とともに紹介する。	○中学生の全学年理科の内容を單元ごとにまとめられている。	○学習指導要領に対応している。最新の図版により忠実な色を再現している。原寸大の鑑賞資料を表現編、鑑賞編のトビラにそれぞれ掲載している。
構成・分量	○「実験」、「身のまわりで発見」の他にも、科学の実験、発見や発明、応用例、もしもの話など、テーマを掘り下げるコラムも充実した内容となっている。	○生物や地学、科学など複数の單元で構成されている。 ○内容は單元から細かく分類されまとめられている。	○A4版183頁で、前半が「表現」について、後半が「鑑賞」についての内容で構成されている。巻末には美術史の略年表が掲載されている。
表記・表現	○「実験」、「身のまわりで発見」の他にも、科学の実験、発見や発明、応用例、もしもの話など、テーマを掘り下げるコラムも充実した内容。	○カラー印刷されている。 ○写真やイラストなどが多く掲載されている。 ○実験の様子や過程などが掲載されている。	○オールカラーで参考作品が大きく数も豊富である。難しい漢字には振り仮名が付いている。
使用上の便宜	○すべての漢字が振り仮名付きである。	○理科の資料集として授業で利用できる。	○一版多色木版や陶芸の手順など、そのまま授業に活用できるよう分かりやすく写真で示しており、実用的である。説明文は字がやや小さく、漢字も多いため補足説明は必要である。

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	美術	美術	保健体育
発行	西村書店	かんき出版	東洋館出版社
書名	直感こども美術館すごいぞ！ニッポン美術	マンダラデザイン塗り絵ブック	くらしに役立つ保健体育
著者	結城 昌子	ジャリーヌ・モリソン	石塚 謙二
内容	○古代から近代までの日本美術作品を子ども向けに解説している。	○マンダラをモチーフにした50のパターンを掲載している。	○将来の自立した生活に必要な知識と教養を身に付けられるような内容になっている。
構成・分量	○国宝や重要文化財など日本美術を代表する作品が掲載されている。 ○説明文は子どもが分かりやすいように物語調で説明している。	○書き込み式のマンダラをモチーフにした50のパターンを掲載している。	○さまざまなスポーツのルールや習得法を紹介することで運動をすることの大切さが理解できるように構成されている。
表記・表現	○作品はカラーで紹介されている。 ○文章にルビ振りがされている。	○塗り方のコツを詳しく掲載している。	○心と体の発達についてや、けがや病気に対する処置法なども解説されている。 ○イラストが多く使われている。
使用上の便宜	○美術の参考作品や鑑賞の時間に使用する。	○塗り方のコツを詳しく掲載しており使用しやすい。	○けがや病気に対する処置法、余暇とスポーツなどについても学習できる。

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	保健体育	保健体育	技術
発行	成美堂出版	大修館書店	技術評論社
書名	体幹力を上げる コアトレーニング	ステップアップ中学体育	親子でかんたん スクラッチプログラミングの 図鑑
著者	木場 克己	大修館書店	松下孝太郎, 山本光
内容	○長友佑都の個人トレーナーを務める木場克己氏の指導による1か月で体幹力を上げるメソッドである。	○中学校で学ぶ種目を中心に、体育授業で、また運動部活動で、最も効率的に楽しく学習が進められる。	○スクラッチによるゼロからのプログラミングをビジュアルふんだんの図鑑形式で解説しており、算数、国語、社会、理科、図工、音楽といった教科をテーマにした章も設けている。
構成・分量	○子どもから大人、トップアスリートまであらゆる人が実践できるように、「ストレッチ+体幹トレーニング」をレベル別に構成。	○各種目の学習の流れが3ステップで明記され、練習方法や技術ポイントなど、イラストの構成が分かりやすい。	○基礎から本格的なプログラミングが載っている。また、算数、国語、社会、理科、図工、音楽といった教科をテーマにした章も設けている。
表記・表現	○写真やイラストで説明やポイントが掲載されている。	○ボールの動きや人の動きが矢印で表記され、敵・味方の動きは色を分けて表記がされている。	○全ての漢字にルビが振られている。
使用上の便宜	○トレーニングを安全に行うためのポイントが写真やイラスト付きで掲載されている。	○保健体育授業の際に、技能ポイントの確認や、実生活における体づくりの参考資料として便利である。	○イラストや画像が掲載しており、小学生でも始められるような内容となっている。

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	家庭	家庭	英語
発行	育成会	福村出版	mpi
書名	たのしい、わかりやすい料理の本	つくって食べよう	子供のための英語で自己表現ワーク1
著者	枝元なほみ	大石 坦 大井 清吉	山下 千里
内容	○楽しく料理を作ることをテーマに、様々なレシピが写真、イラスト、ルビ付きで載っている。	○ご飯の炊き方や味噌汁の作り方からカレーライス、ハンバーグまで33種の料理の作り方を紹介している。	○将来広い場面で使えるコミュニケーション力と発表力の基礎を築けるような内容になっている。
構成・分量	○基本のことや、レシピのことなどが載っている	○全79ページ。料理をする上で必要な準備片付け、調理器具などもイラストとともに紹介されている。	○身近な8つのトピックで基本文と語彙を身に付け、英文の書き方を学び、最終的に英語のスピーチができるように構成されている。
表記・表現	○全ての漢字にルビが振られている。また、注意が必要が必要なポイントでは、写真が載っている。	○基本的な料理のレシピが見開きで短い文章とイラストで紹介している。	○全体的にカラフルに構成されている。 ○写真や絵が多く使われている。
使用上の便宜	○たのしく、分かりやすく料理を作るという観点で説明が書かれている。	○調理実習の事前学習で使用する。 ○普段食べているメニューがどのようにして作るのか自分で読み進め、調べることができる。	○OCDは別売りで購入する必要がある。

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	英語	英語	英語
発行	mpi	誠文堂新光	くもん出版
書名	子供のために英語で 自己表現ワーク2	英語好きな子に育つたのし いお話365	えいごで1・2・3！
著者	岩本由美子	小学生のための英語教育 研究グループ	くもん出版
内容	○聞く、話す、読む、書く、 の4技能に加え、総合的な 英語力を伸ばすアクティビ ティーがバランスよく組み 込まれている。	○主体的に学習に取り組 む態度を養うことができる 内容である。	○朝日小学生新聞に連載 のコーナー『えいごで1・2・ 3！』の内容が1冊の本に まとめられている。
構成・ 分量	○英語力はもとより、「人に 伝える力と態度」を育て、 将来幅広い場面で役立つ 「コミュニケーション力と発 表力」の基礎を築くことが できる教材である。	○発展的内容に関わる記 述の内容、構成・分量等は 適切である。	○トピックに合わせた例文 やドリルページが見開き1 ページにまとまっている。
表記・ 表現	○単語が分かりやすいよう にイラストが載っている。	○活字の大きさ、字体、行 間、色調など適切である。	○スマホやタブレット・PC で、画面いっぱい広がる イラストと共に、ネイティブ の発音を聞くことができる。 STEP1: 聞く・声に出す、 STEP2: 書く、STEP3: 読む の順に、200以上の英語の 語彙や表現を取り扱ってい る。
使用上 の便宜	○人前に立って、堂々と自 分のことや考えを分かりや すく話すことができるよう なる視点で書かれている。	○教科用図書のサイズや 重さは適切である。	○音声をタブレット等で聞 くことができ、家庭でも復 習することができる。書く 練習の部分はなぞり書きにな っていて、書字が苦手な生徒 にも取り組みやすいよう工 夫されている。

令和5年度 特別支援学級使用教科用図書学校調査研究報告書
 (学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

種目	道徳	道徳	
発行	開隆堂	旺文社	
書名	私たちの未来 未来の私たち	学校では教えてくれない大切なこと14自信の育て方	
著者	全国特別支援教育・知的 障害教育研究会	藤 美沖	
内容	○題材に関しての自分の考えを整理し、未来に向けて「つなげよう」「広げよう」「深めよう」などの視点から、自分はどんなことができるかを考えていくようにしている。	○どのように自信を付けるのか、自信を付けるとどのようなことが良いのかが説明されている。	
構成・分量	○1時間の授業で1つの内容項目を指導できる構成。内容項目ごとに4ページとして、最初の見開き2ページで題材を示している。	○全5章にわかれ自信について、自己理解などの項目に分かれている。	
表記・表現	○障害者の権利条約等での権利擁護や自己決定支援の重要性を考慮し、生徒が自分のこととして考えることができる題材を精選し、自分で考え、判断し、よりよい生き方を探っていくことができる。	○イラストや漫画が一緒に描かれており、分かりやすい内容になっている。 ○カラー印刷である。 ○文章にルビ振りがされている。	
使用上の便宜	○知的障害教育における自立活動やキャリア教育、主権者教育、セルフ・アドボガシーの視点を重視した授業展開ができる。	○道徳や学活の時間に教科書として使用できる。	

令和5年度 教科用図書区民意見結果 (令和6年度～9年度使用・小学校用)

1 区民アンケート件数 196件

2 教科書展示会実施概要

- 板橋区教科書センター
令和5年6月6日(火)～6月29日(木)
- 成増アートギャラリー
令和5年6月6日(火)～6月29日(木)
※6月19日(月)を除く
- 高島平図書館
令和5年6月12日(月)～6月16日(金)

◆ 入場者数 合計 488人

〔会場別内訳〕

板橋区教科書センター	228人
成増アートギャラリー	209人
高島平図書館	51人

令和5年 7月

1

教科（国語 新しい国語 ） 発行者（東京書籍）

内容について

教科書を手に取り読ませていただきました。内容は国語の教科書という感じはあまりしませんでした。作品を読み取る工夫は、あまりなされていないように感じました。

構成・分量について

分量は、多くてお驚きました。一部分を学習されているという事でしょうか。

表記・表現について

表記・表現はヒカクテキ普通に感じました。

使用上の便宜について

先生方が授業で使用されているなら指導用教科書を充実されてると感じました。

御意見・御感想

若い方の教育が変わっている、教育指導についてあまり等を聞かせていません。教育支援法が普及したそうです。教育庁、文科省の方々の教育に対する基本理念、心情、思惑に良心予期させていただきます。

2

教科（国語） 発行者（東京書籍）

内容について

6年生に「プレゼンテーション」があったり、子供たちの今後にあわせた内容にアップデートされておりよいと感じました。

使用上の便宜について

QRコード等からデジタル教材へ推移できるなど GIGA に対応できていて良い。

御意見・御感想

国語に関しては、東京書籍以外では、光村図書でも新しい取りくみが見られましたが内容では東京書籍の方がよいと感じました。

3

教科（こくご） 発行者（東京書籍）

構成・分量について

ちょうどいい

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

箱にいれずらい

4

教科（国語） 発行者（東京書籍）

内容について

興味深い題材を扱って載せていることと思います。

構成・分量について

わかりません。

表記・表現について

意図がわかりにくい。

使用上の便宜について

わかりにくい内容と書き方がされているように思います。もうちょっとわかりやすくズバッと書いてあると良いと思います。

御意見・御感想

わかりにくい教科書... みたいに思います。説明表現も抜けていてわかりにくい、子供に理解が早くできるのかわかりません。配慮が少し足りなく思います。

5

教科（国語） 発行者（東書）

内容について

・国語の様々な領域について（話す、聞く、書く、読む…）がどれも興味深い内容となっている。ずっと変わらない読み物もあってよい。

構成・分量について

必ずつけたい言葉の力が見開きで見やすく書かれてそこから内容に入っていくのがよい。

表記・表現について

文字もハッキリしていてよい。写真もたくさん入っていてわかりやすい。（説明文など）

使用上の便宜について

5・6年生が上下に分かれていないのは、年間を見通すためなんだと思うが、やっぱりあつくて重いのが気になる。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

四年生の表紙（とくに㊦）があまり…見おろすかんじがちょっとこわいように思う。

6

教科（国語） 発行者（教育出版）

構成・分量について

5、6年 教育出版は、上下別なので軽くてよい。（小学生の荷物を軽くしたいので）

表記・表現について

色調があざやかだが、紙が光る素材なので光って読みづらい。文字の大きさを工夫しているのがよい。文字は、教科書体がよい。

7

教科（国語1、2年（上）（下）） 発行者（教育出版）

内容について

年齢に合っている。本からばっすいした場合、その本の題名、表紙の写真がほしい。

構成・分量について

見開きが中央だと開いたとき子供の関心をひくが破りそうと思った。中央びつたりの大きさじゃなく、開きやすいようサイズ小さめだといいかも。

御意見・御感想

本の紹介ページを多く使っているので本に接せるきっかけがつかめると思います。

8

教科（国語3～6年 上・下） 発行者（教育出版）

内容について

他の科目につながる作品が多くて良い。

構成・分量について

ちょうどいい量

表記・表現について

見やすく、絵や写真も目を引いた。

御意見・御感想

表紙が可愛らしく、開きたくなる。

※原則、原文そのままに記載しています。

9

教科（ 小学国語 5 年上下 ） 発行者（ 教育出版 ）

他に東京書籍と光村図書も読んでみました。

内容について

多きにわたり、よいと思いました。特に、今は新聞をとっていない家庭も多いので、新聞の構成や読み方を解説してあってよかった。（下）の「まんがの方法」も子供が興味を持って楽しめる解説になっていた。

構成・分量について

他の 2 社は、1 冊にまとめてあったが、上・下と分けてあるところも、手に取りやすく、かばんに入れる重さのことを考えても、良かったと思う。

表記・表現について

ふくろう（博士？）や男の子・女の子のイラストも良く、わかりやすいと思った。

使用上の便宜について

各項目で、4 年生の時の復習がでてるのも良かった。

御意見・御感想

個人的に一番感動したのは「みすずさがしの旅」でした。著者のように、ここに掲載されている以外の作品をもっと読んでみたくなりました。

10

教科（ 国語 ） 発行者（ 教育出版 ）

使用上の便宜について

本文下のスペースに単語や漢字か書きだしてあるのが見やすいと思った。

11

教科（ 国語 ） 発行者（ 光村図書 ）

内容について

表紙も一番親しみやすく、本の紹介がどの学年にもあるところがとても良かったです。

構成・分量について

作品と話し合うところのくぎりがわかりやすく、作品外のページが少し楽しみに読める工夫が良いと思いました。

表記・表現について

上の学年になるにつれモノクロになりがちな教科書ですが、光村図書は上の学年でもカラフルでした。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

自分の子どもの学校の教科書しかふれる機会がなかったのでとても楽しく色々考えさせられました。教科書もカラフルであると気分が上がるので良いと思いました。

12

教科（国語 1上） 発行者（光村図書）

内容について

昔話が入っていて、とても良いと思う。本の紹介もあり、親も参考になって助かる。

構成・分量について

親目線からしたら多くはないが、限られた授業時間では、やりきれないかな。と思いました。

表記・表現について

人と人で会話の色が分かれていて、子供でも分かりやすい

御意見・御感想

子供が使っている教科書以外の内容を知れて良かったです。昔話がもう少し入れてほしい。全学年で。

13

教科（国語） 発行者（光村図書）

内容について

私自身、光村の教科書を使って学習しており（25～30年ほど前ですが）、とても学びやすく感じていました。現在も物語などについては、低学年は私の時代と同じ作品が載っていたりしたので、安定して質の良い学習ができるのではないかと思います。

構成・分量について

ちょうどいいように感じますが、学校によって進むスピードが異なってきたり最後の方の単元が学習できずに終わったりするので、その点が気になります。

表記・表現について

親しみやすいさし絵や、わかりやすい表現が使われており、愛着をもって使うことができると思いました。

使用上の便宜について

学習内容が多いので仕方ないかと思いますが、やはり少し重いように思います。文字の大きさやフォントの使い方などは適切かと思っています。

※原則、原文そのままに記載しています。

14

教科（国語） 発行者（光村）

内容について

「問いをもつ」という項目が、児童が主体的に学習に取り組むためによいと思った。また、どの学年でも語彙をふやすためのページがあり、読みとく力の視点からもよいと思った。

構成・分量について

低学年は、物語が十分に構成されていた。系統性がしっかりととれている。

表記・表現について

デジタルコンテンツが充実していてよい。色調等もシンプルでわかりやすい。

使用上の便宜について

目次の他に、領域別に示されていることがよい。

15

教科（国語） 発行者（光村図書）

内容について

巻末の「図をつかって考えよう」「言葉の宝箱」が素晴らしく、これだけでも使わせていただきたいと思いました。

16

教科（国語） 発行者（光村）

内容について

特記事項無し

構成・分量について

特記事項無し

表記・表現について

特記事項無し

使用上の便宜について

教科書に細かく情報が載っているので、授業に参加する際のヒントになる気がする。

17

教科（国語） 発行者（光村）

内容について

子どもに親しみやすいわかりやすい内容

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

ちょうどよい

表記・表現について

適切な表記表現

使用上の便宜について

つかいやすい

御意見・御感想

子どもが主体的にとりくむのにとてもよいと思いました

18

教科（国語） 発行者（光村図書）

内容について

定番の読み物の中にも新しい読み物が加わって、新しさを感じました。表紙や挿絵も素晴らしく、学習意欲をかきたてられます。

表記・表現について

文字が大きくて見やすい。紙が黄味がかっていて、目にやさしい。アイコンなどが大きくて、見やすい。

御意見・御感想

子どもの頃使用していた国語の教科書が光村図書でした。今も定番の読み物を掲載しながら、「くじらぐも」など）現在にあった読み物の取り入れて、新しくなっているように思いました。音読の宿題も子どもと楽しく一緒にできそうです。是非子どもに読ませたい教科書です。

19

教科（国語） 発行者（光村図書）

内容について

他の教科書と比べて内容が深く、濃く、充実していると感じました。冒頭に、学び方が載っているのも良いです。

また、各単元のめあてやポイントが明確なもの良いと思いました。

構成・分量について

構成は、読む、書く、話す、聞くがバランスよく配置されており、分量も適切だと思います。

表記・表現について

表記は見やすいです。表現も、各学年の発達に合わせたものとなっています。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

使いやすさは他の教科書と同じだと思います。

御意見・御感想

国語といえば光村と言われるほど定評のある光村図書の教科書ですが、やはり「学校で」国語力を付ける工夫が散りばめられていると感じました。国語の教科書ではありますが「生活」や「理科」、「外国語」など他教科と有機的な関わりをもって学べるようになっており、また、クラスでの授業展開の道筋も明確になるような作りになっています。さらに、欧米の文章構成の基本であるパラグラフ・ライティングも意識されているのは光村図書だけではないかと感じます。板橋区は国語力が低く、新井紀子先生のご協力の下で国語力の向上に取り組んでいるのですが、光村の教科書を用いることでより一層の効果が期待できるのではないのでしょうか。

20

教科（国語） 発行者（全3社）

内容について

どれも良くできています。

構成・分量について

どれも良くできています。

表記・表現について

どれも良くできています。

御意見・御感想

来年度がたのしみです。

21

教科（国語） 発行者（光村図書、東京書籍、教育出版）

御意見・御感想

1年生のこくごの内容を見させていただきました。それぞれが特徴があって、良かったと思います

22

教科（国語）

内容について

物語など、前のものと変わっていた。子どもたちが、読みやすいものになっていて良いと思う

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

良い

表記・表現について

良い

使用上の便宜について

良い

御意見・御感想

QRコードが入っていることで、クロームを使用するようになると思うが、どのような時に使用するか考えていかなければいけない

23**教科（国語）****表記・表現について**

カラーで絵が多くわかりやすい

24**教科（国語）****構成・分量について**

東書の低学年多い

25**教科（国語）****御意見・御感想**

会社の決定のプロセスが不透明。どういう基準で選んだのか。その教科書会社にどんな意見が出たのかを知らせないでただ「会社が決定しました」では、納得がいかない。多くの教員に意見を書かせている以上、審査過程を明確にしてほしい。

26**教科（国語）**

光村図書には、子ども達に読ませたい作品が多く採用されている。例えば、「考えるとは」3人の筆者の論を読み比べるのはむずかしいかもしれないが、6年生後半の年齢を考えると、是非読んで考えさせたい内容を持っている。困難ではあっても読んで、考えさせたい。文学にもよいものが多い。5年「銀色の裏地」6年「帰り道」思春期に入り、自己と向き合う時期に入っている子ども達に読んで、話し合わせたい。5年の作品は女の子の心の揺れを、6年では男の子の心の揺れを書いている。自分やその周辺の人々と重ねて読ませたい。5年「たずねびと」も、今の子ども視点から原爆・戦争を考えさせる。今だからこそ、読ませた

※原則、原文そのままに記載しています。

い作品。4年下巻「スワンレイク」も読ませたい。障がいのある人のこと、外国の人のことなど、考えて話し合う題材が多い。

戦争・平和に題材を取った文学作品が3年4年5年と取り扱っている。今だからこそ、考え合い、話し合いたい題材である。作品も定評のあるものである。

説明文も自然保護の大切さを考えさせるもの、作文でデジタル機器に関する考えまとめさせるものなど、今を生きる子ども達にとって学び、考えねばならないものが多く取り上げられている。

入門期の助詞（は、を、へ）の扱いがよい。凸凹を使って「くっつき」というのを視覚的にわからせようとしている。編集者の工夫が子どもにとってわかりやすいものを作っている。

27

教科（国語）

御意見・御感想

東書（現在息子が使用）光村 見比べ

用紙：東書の方がひらきやすい感じがしました。

見え方：光村の方が読みやすい？文字の送りと絵のバランスが良い気がしました。

イメージで東書より光村が良いと思っていたので、実際にさわってみたら東書の良さもわかりました。息子は光村がよいと言っていました。

28

教科（書写） 発行者（光村図書）

内容について

- ・基礎的な知識・技能が確実に習得できると考える。
- ・課題解決（思考力、判断力、表現力、その他）の力が身に付く内容である。
- ・主体的に学習に取り組めるような内容（イラスト、写真等）になっている。

構成・分量について

- ・単元、教材の配列、系統性、発展性が適切である。
- ・発展的な内容も取り入れているのでよい。

表記・表現について

・資料が精選されて、教材の特質に応じた絵、図、グラフ、写真等が分かりやすく親しみやすい表現になっている。

使用上の便宜について

- ・全体の構成が見通すことができ、サイズ、量も適切である。

御意見・御感想

- ・ぜひ、次の書写の教科書は光村図書にしていきたいと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

29

教科（社会・6年生） 発行者（東京書籍）

内容について

偏りのない内容で安心できる。教科書の厚さが多少増えてもいいので、もう少し図、写真が大きく、量もあると視覚的にも理解しやすいのではないかと思います。

構成・分量について

政治・国際・歴史、バランスが取れた内容で良いと思う。特に歴史は、近・現代もしっかりした内容でわかりやすいと感じた。

表記・表現について

特に問題はないと思う。

御意見・御感想

全体的にバランスの良い教科書だと感じた。説明文も読みやすく、わかりやすく、頭に入りやすいというのが1番の感想である。父母の目線で見ても、社会の教科書はこちらを使用していただきたいと思う。

30

教科（社会：政治国際編） 発行者（東京書籍）

わたしたちの生活と政治

（1）憲法学習の途中にいきなり「社会科の学習の進め方」という見開き2ページが挿入されていて、学習が中断する。子どもは混乱するだろう。学習に集中させたいと思うのだが。不適切な挿入である。

（2）原子爆弾の記述。どこの国が落としたのか不明な記述。はっきりと書くべきだ。子どもはどこの国が落としたのか知らずに学ぶことになる。

（3）原子爆弾の記述中に「日本は、世界でたった一つの被爆国云々」とあるが、「戦争被爆国」と記述してほしかった。

（4）自衛隊に関する記述が一方的だ。本当に「日本の平和と安全を守る」のか。子ども達に真実を教えることにはならないと思うが。

（4）東日本大震災の記述にふろくのようにしている「原子力発電所事故からの復興」の項。今、問題になっている、汚染水を海に流す話、汚染土の処理問題が述べられていないのはきわめて残念だ。現在（2023年）の問題として述べるべきだろう。

①「中国」「ブラジル」を学習する場合「過去に、どのような関わりがあったのか」の視点が必要だろう。中国に関して歴史学習で学ぶからこそ、現在と関連させて、学習させねばならない。ブラジルに関しても「日本からの移民」の問題は欠かせない。限られた時間数の中で、より本質に迫る学習が、真の国際交流となるはずだ。

②海外からの技能実習生の学習で、よいことのみを書いているが、それでよいのだろうか。

※原則、原文そのままに記載しています。

③ペシャワールの会の扱いがもう少し多くあった方が、子どもはわかりやすいと思う。

〈全体〉キャラクターとしての「子ども」の発言が、子ども（児童）達の思考を先取りしている。これでは、自分で考える力がつかない。ていねい過ぎるのは子ども（児童）の成長のさまたげになる。教師も自分から教材研究をしなくてもよいような教科書づくりとなっているのは問題だ。

3 1

教科（社会） 発行者（東京書籍）

構成・分量について

- ・ 5年生が（上）（下）にわかれていた。
- ・ 6年生が政治・国際と歴史に分かれていた。

実施時期、ないようで使い分けられる

御意見・御感想

つかむ→調べる→まとめる→いかすと学習過程が明確になっていて、使いやすいと感じた。

3 2

教科（社会） 発行者（東京書籍）

内容について

すばらしい

構成・分量について

十分

表記・表現について

ガイド役の子がときわ台のお屋しき街にしかないさそう。

下町の子はお呼びじゃないというメッセージと強く感じる。（無意識なんだろうが）

使用上の便宜について

上下巻やノート、ワークは子どもがなくすのと、かさばるのとでやめてほしい。タブレット使用を前提にスリムかシンプルな教科書をもたせたい。自分もよく失くしたので、ネットで簡単に買えるようにしてくれればそれでもよいが。

御意見・御感想

一社一教科のみにすればいいと思う。あとは逆張りしている会社とか（右系のぞく）。学校ごとに選ばせてほしい。

※原則、原文そのままに記載しています。

33

教科（社会） 発行者（東京書籍）

内容について

主体的に学習に取り組むことができる内容となっている

構成・分量について

5・6年が2冊にわかれていて分かりやすい

表記・表現について

写真が多い、カラフルな印刷で分かりやすい

使用上の便宜について

学習の進め方が統一されている

34

教科（社会） 発行者（東書）

内容について

基礎、基本的な知識や技能が落ちなく書かれている。

児童の思考の流れに沿って、導入からまとめまで計画されている。

構成・分量について

- ・教材の配列が適切である。
- ・分量も適切である。

表記・表現について

- ・発達段階に応じた表記・表現である。

使用上の便宜について

- ・教科書に調べるためのちらし等があり、準備の負担が軽減される。

御意見・御感想

・社会科の実践を行う上で、教員の負担を軽減した上で、単元を通して、見通しをもって実践が行いやすいと考える。

35

教科（社会） 発行者（東書）

内容について

- ・地図記号や縮尺といった知識、技能をおさえるページが適切な分量で掲載されている

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

・各領域の分量が適切に調整されている

表記・表現について

イラストや写真がバランスよく表記されている

使用上の便宜について

冒頭のページに全体の構成が見返せるもくじがあるつくりとなっている。

36

教科（社会） 発行者（東書）

内容について

どの会社も適切である。

構成・分量について

写真、文字数ともに適度。

表記・表現について

色あい見やすくてよい。

使用上の便宜について

特になし。

御意見・御感想

それぞれの会社ごとにちがいがあってどれも工夫されている

37

教科（社会） 発行者（東京書籍）

構成・分量について

歴史編と政治・国際編に分けていることでそれぞれを充実させることができている

表記・表現について

表と図によって認識が深まるが、取っつきやすい（親しみやすい）表現の表や図が多いことが良い。

御意見・御感想

全体に考えるポイントをつかみやすい構成になっている

※原則、原文そのままに記載しています。

38

教科（ 6年新しい社会 歴史編） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

戦争の記述のところで、ギセイになった広島・長崎など、対馬丸のギセイ者で子どもたちのことも書かれているが、新しい憲法が、平和の大切さを述べているところが少ない。

表記・表現について

強く平和を希求する文章がない。又、国民の日常の努力によってこそ戦争しない国は存続することが記述がない。

御意見・御感想

平和な日本を守っていくことが、大切と述べてほしい。戦争によるギセイが今は原発など現実になろうと 攻撃されるキケンなど考えられる。

日本のみならず世界をも破かいしてしまう状態であることを、知らせてほしい。

39

教科（ 社会科 ） 発行者（ 東書 ）

内容について

（歴史P133）

「…太平洋戦争になりました」←戦争は自然災害ではなく引き起こした責任が誰（どこの国）にあるかは明示すべき。

構成・分量について

教科書は参考書ではないので、授業の誘導ページ（調べる、まとめる、学習問題など）は設けるべきではなく専門職としての教師の創意と裁料に委ねるべき。現代史の記述が少なすぎる。現代社会を理解できる十分な構成が必要では。

使用上の便宜について

QRコードが多すぎて、子どもの自由な調査・探究を誘導的に案内してしまい、教科書の役割を逸脱していると思われる。

御意見・御感想

「まとめる」「いかす」などのページは教科書としては不要で、教師と子どもの自由な学習活動にまかせるべきで、こうしたページを本文の充実した正確性の高い記述にまわすことを望みます。他国の教科書は小学生用といえども もっと知的に高度です。教育委員会としても意見を上げてください。

※原則、原文そのままに記載しています。

40

教科（社会） 発行者（東京書籍）

構成・分量について

災害についての内容や、憲法などの政治のページが少なく感じた。

御意見・御感想

「基本的人権の尊重」は、災害復興や社会問題と絡めて、協調して載せてほしいです。教育出版や日本文教出版の方が、強調して載っていたように思いました。

41

教科（社会） 発行者（東京書籍）

内容について

歴史編と政治国際編が分かれているのが良い。まとまりや流れがわかりやすいので。

御意見・御感想

キャラクターが親しみやすく、興味をひきやすい。

42

教科（社会 6年） 発行者（教育出版）

内容について

共に生きる暮らしと政治、オリンピックパラリンピックから社会を考えるとされています。良いことばかり書かれていて、オリパラをめぐる数々の事件、問題点は一言も触れられていない。大規模化し、本来のあり方と変わり、問題があるという記述が必要だと考える。

QRコードから はじめての防衛白書 にとぶことは問題だと思います。自衛隊は災害救助だけではなく本質は軍事訓練をする「軍隊」です。憲法に反しているという意見もある中で、一方的に、自衛隊を肯定する扱いです。このような教科書を使用してほしくありません。札幌雪まつりや災害救助の「自衛隊」を紹介し QRコードでは、軍事組織としての「自衛隊」が出てくるのには驚きます。

御意見・御感想

社会に多くの意見があることを伝えて子どもたちが考える教科書を望みます。

43

教科（社会） 発行者（教育出版）

内容について

学習の手引き（学び方）や系統性がよくわかり、教師にも児童にもよい。

構成・分量について

適度な文章量でキーワードを使ってまとめやすい。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

イラスト、図、表、写真が大きくてみやすい。カラー刷りにしたページが増えたことで、より子どもの目をひいてよい。

4 4

教科（社会） 発行者（教育出版）

内容について

グラフや地図、インタビューなど資料の読み取りが豊富だった。

構成・分量について

政治単位から歴史単位へのつながりがスムーズ

表記・表現について

絵やグラフが大きくて見やすい

4 5

教科（社会） 発行者（教出）

内容について

良い

構成・分量について

良い（豊富）

表記・表現について

見やすい

使用上の便宜について

使いやすい

4 6

教科（社会） 発行者（教出）

内容について

（歴史P207）

「日本軍と中国軍が衝突し、これをきっかけに日中戦争・・・」
→小学生とはいえ、「どっちのどのような原因によるか」は史実を明らかにしなければ歴史を学ぶ意義がない。各国の子どものくらしを具体的に紹介しているページはよい。

表記・表現について

東書とちがい、満州事変の記述（P206）は因果関係の記述があり、歴史性がある。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

各社共通だが、「つかむ、調べる、まとめる」というページは教師の授業づくりの創意や展開を阻害し、教科書には不要であることを教育委員会としても認識し、意見提出してほしい。6年生といえども、自国の戦争責任と平和への希求はしっかり理解できる記述がほしい。特にP216の沖縄戦をめぐる記述はあまりに簡略で、「なぜ」こうした惨劇に至ったかまったく理解できない。教科書の役割を自覚した記述を望む。

47

教科（社会） 発行者（教育出版）

御意見・御感想

こんにちは。私たちの地元が教科書と取り上げられていると聞いておうかがいしました。教育出版3年生の“けいさつの仕事”あたりに見慣れた場所や自治会の取り組みがのっていてとても嬉しく思いました。

特に“子ども見守り隊”や自治会の方のお話がかかれていたここには子どもたちへの地域への愛着が高まると思います。教育出版さんが取材をしてくれて感謝です。

48

教科（社会） 発行者（日本文教出版）

内容について

全てSDGsの枠組にはまって進められていることにとても異和感がある。SDGsにはめる理由はなんなのか？学びに枠をつくらないでほしい

構成・分量について

教師の力量がはかられるので、教師の質により子ども達の能力に大きく影響すると思う。自由な思考や考察ができるよう、答えを誘導することはしてほしくない。

御意見・御感想

- ・日本人としての独自のアイデンティティーが育まれるような教科書を選んでほしい。
- ・全て世界基準（特に西側からのかたよった視点）となっている。日本独自の考察の入ったもの、国防意識と愛国心を育む子ども達が多く育つことが大切かと
- ・日本人としての誇りをもてるような内容の教科書は他にもあると思う。

49

教科（社会） 発行者（日本文教）

内容について

歴史の記述が反日的にかたよっている

御意見・御感想

きちんと歴史をみすえた教科書を採択して下さい。

※原則、原文そのままに記載しています。

50

教科（社会） 発行者（日本文教出版）

表記・表現について

満州事変～中国との戦争について、一方的に日本が悪い、侵略したかのように表現されており、真実を伝えていません。太平洋戦争も、一方面から見た解しやくしか伝えておらず、間違った歴史観を教えています。

御意見・御感想

こちらの出版社の歴史は真実を伝えておらず、片よった内容となっております。子供たちに教えるには、極めて不適切であると感じましたので、改善を求めます。

51

教科（社会科） 発行者（文教）

内容について

（歴史P208）

「・・・住民の中には集団自決」した人も多数いました。

→日本軍の関与にふれず、なぜ住民がこうした行為に追いこまれたか不明。歴史の教訓が得られない。

表記・表現について

子どもの声の吹出しで教科書本文を記述するのは幼稚で史実への誘導的見解も含み、問題が多い。不適。全体に知的でなく、子どもへの敬意が感じられない。

使用上の便宜について

各ページにある「目標シールをはろう」のコーナーは学問的でなく、商業的であり、教科書にふさわしくない。

御意見・御感想

6年生の教科書にもかかわらず、構成、記述、表現が低学年なみの幼稚さで、歴史を学ぶという知的好奇心をよびさまさず、バカにされている印象を与える。

52

教科（社会科） 発行者（教出 日文 東書）

内容について

どの教科書も、学び方が分かるように工夫されている。写真や資料が多く見やすい。

構成・分量について

全体に盛りだくさんな感じ。分冊になっていると軽くてよいように思った。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

どの教科書も工夫して、丁寧に作られており、差異を確かめることが逆に難しいと思った。

53

教科（社会・6年生） 発行者（A東京書籍 B教育出版）

教員ではないため、表記項目ごとの記載は難しいので全体的な意見・感想として記します。

A 政治・国際編と歴史編に分かれていることで、前者がそれなりに充実していると思った。政治と身近な話し合いからの導入は、これからの若者に「政治」を身近なものに感じてもらうためにも必要と感じる。人権については、近年新聞などでとりあげられている「〇〇差別～」などをもう少し記載してあるとよかった。

歴史編 戦争の拡大、終結の遅れなどは、小6に対してはこのような書き方になるかと思うが、沖縄での集団自決や「軍は国は守るが、国民は守らない」の実態に少しでもふれてあれば「戦争」を避ける思いがより強まるのではないかと思う。

B 導入の「ともに生きる暮らしと政治」は、タイトルに異存はないが、オリンピック、パラリンピックが具体例としてだされていることには賛成できない。実施時期（東京）においても、今も、商業五輪のあり方が問題にされている。参加の是非をめぐっても政治の支配を感じざるえないもので「共に」とはいえない。戦争中の子どもの姿も、一生懸命、兵隊さんを応援し、戦争に協力する姿が描かれ、「戦争」への批判的視点が少ないと感じる。沖縄・広島・長崎についての記載も少なく、8月15日まで引きのばしたことで、多くの人命が奪われたことへの訴えが乏しく、今、「生命」「平和」を真剣に考えてほしい子どもたちにわたすのはいい教科書です。

54

教科（社会（6年生））

御意見・御感想

歴史の教科書を拝見致しました。どの教科書も写真やイラストがとてもきれいで“わくわく”しました。子どもの頃、6年の歴史を学んで、歴史好きになったので、今の子どもたちが、こんな素敵な教科書で学べるのが、うらやましいです。明治以降は古い写真を使っているせいか、どの教科書もモノクロ写真が多く感じましたが、教育出版だけが、カラー写真が多いように感じました。技術の進歩ってすごいですね。企業努力に感謝です。これからもより良い教科書を提供してほしいと思いました。

55

教科（社会科）

内容について

どの出版社も内容が充実していた。よい。

構成・分量について

よい分量だと思う。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

むずかしい表現もあるが、キーワードとして紹介されているので、問題はないと思う。

使用上の便宜について

欲をいうならどの学年も資料がないとよい。全て使うわけではないが、児童に選択させたい。

56

教科（社会6年）

内容について

- ・教育出版・「憲法改正論議」についてふれているが適当か
- ・日本文教出版・「シビリアンコントロール」にふれているが、総理自身が憲法改正に積極的な今、それが「国民立権」といえるのか。
- ・東書・教科書に書き込みができるスペースが多いが、こういうことは教員側が考えて作るのではないか（ノートのまとめ方やワークシート等）
- ・東書・5、6年の教科書が分冊になっており、使いやすいか（重さの点）

御意見・御感想

- ・QRコードが、どの教科書も使われているが、どのように使うかが今後の課題
教員が授業を進めるうえで、つかいやすいのか。

57

教科（社会）

①全体として憲法“主権が国民にある”という書き方が弱すぎると感じました。目次にさえ憲法の文字がない。条文は掲載すべきと思います。私たちの日常は憲法のもとにあるのですから。

②世界で唯一日本のみ投下された原爆の書き方もないに等しいほど弱い。やはり原爆雲の写真は必須だと思います。平和な未来をつくってゆくのは子どもたちですから。きちんと伝えることの意味を！！

教育出版（6年）歴史の方に憲法がない 自衛隊の考え方に違反していると考える人もいるとしているのは良いと思いますが、その中で上の3つの四角は？「国の平和と安全を武力によって守る」のでは？

日本文教出版

歴史の方の新しい日本へのあゆみのスタートに憲法を入れてほしい

58

教科（社会科・5年）

- ①地球儀の扱いは、日本文教出版はていねいで、わかりやすい。
- ②世界の国々の紹介も日本文教出版は他の2社と比べるとわかりやすい。導入の段階なので、子どもが興味を持ち、わかりやすいのがよい。

※原則、原文そのままに記載しています。

- ③領土問題の記述は教育出版の記述は妥当だろう。
- ④アイヌの人たちやその文化など、日本国内の少数民族のことを扱った教科書は望ましい。
- ⑤学習のまとめとして、東京書籍は「新聞づくり」を例示しているが、まとめの扱いとして問題だろう。新聞という限られたスペースであってもこれも書かせるのでは深まりがない。
- ⑥「もっと知りたい」で森林と海の関係性を扱っているのはよい。(教育出版)
- ⑦「これからの食料生産」で食料の輸入先と輸入量の割合や食料の自給率を大きな図版やグラフで示している日本文教出版の扱いは、子どもに分かりやすい。
- ⑧自動車工場で働く人の勤務体制を提示しているのは、日本文教出版と教育出版。日本文教出版の方が子どもにとってわかりやすい。
- ⑨3社とも、自動車工場と関連工場のつながりを図などで表しているが日本文教出版のものが、わかりやすい。
- ⑩東京書籍と日本文教出版は、「食品工業」に扱っている。子ども達の生活と直接的につながるものだから、この扱いは大事にしたい。
- ⑪「情報活用のルールやマナー」この項を特設しているのは東京書籍。子どもたちにきちんと学ばせ、考えさせたい項だ。

59

教科（地図） 発行者（東書）

内容について

- ・基礎、基本的な知識・技能が落ちなく書かれていた。
- ・地図を通して意欲的に学ぶための工夫がなされている。
- ・学びを充実する上では少しもの足りない部分もある。

構成・分量について

- ・教材の配列が適切である。
- ・地図が詳細さに欠けるところもあり、地図記号等をとらえる上では不十分である。

表記・表現について

- ・文字の大きさがもう少し大きい方が、児童の発達段階を考えると良い。

使用上の便宜について

日本の領土である竹島の表記が日本全体の地図にあり、領土の区分が明確である。

御意見・御感想

領土問題が今後、国際社会の中で大きく取り上げていくことを前提に置くと、竹島等の表記がなされている方が教材として適切であると考えます。

60

教科（小学生の地図帳） 発行者（帝国書院）

内容について

明るい色合いで見やすく、地域や国ごとの名所や産業のイラストが豊富でとても良いと思いました。大人でも見入ってしまうくらいだし、子供が3年生になってこのような地図帳と出会えるなら楽しく学べそうだと感じました。

御意見・御感想

私は専門家でも何でもなく、小学生の子を持つ親なのですが、自分の子供の頃と比べると学びやすい工夫がずいぶんされていると感じ、うれしくなりました。娘と一緒に展示に立ち寄ったのですが、娘も何冊も手に取っては、自分が使っているものとの違いなどを発見したりして、予想以上に長く楽しんでいました。ありがとうございました。

61

教科（算数） 発行者（東書）

内容について

- ・身近な疑問を解決しようとする導入の仕方

構成・分量について

たしかめ問題・補充問題の量が適切

表記・表現について

多くのページに QR コードが印字されている。

62

教科（算数） 発行者（東書）

内容について

めあて、予習課題まとめまでがハッキリ示されている

構成・分量について

児童の力量に合わせて、変えられるほど問題数は多い

表記・表現について

文字の大きさ、まとめ等、みやすく分かりやすい。

使用上の便宜について

大きさ、重さともにちょうどよい

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

東書の教科書は使いやすいと思いました。

63

教科（算数（6年）） 発行者（東京書籍）

内容について

目次では各单元ごとに過去の学習やこれからの学習との関係が記載されている。学習のしあがけの問題番号の横にはチェックボックスがあり繰り返し解いて復習することをうながすくみがある

構成・分量について

単元導入のほとんどをデジタルコンテンツにすることで教科書本体の内容を重要な本題にしぼることに成功している。実際の授業においても話しあいなどアクティブな活動は動画、新期の学習や問題演習は教科書と見るものが変わるため児童の意識も切り替えやすいと考えられる。

表記・表現について

6年生の教科書においては、小学校で習わないが日常生活でよく使う、漢字（枚、針金など）についてふりがな付で記載されていた。適切な対応だと思う。また表や文などで書き込みを要求する空欄の大きさもちょうど良かった。

使用上の便宜について

1 ページに使われている色数が少なく、視覚的刺激が最低限に抑えられている。過敏性や注意力に課題のある児童でも内容の記述に集中しやすくなっている。行間や図と文のすき間などの余白も詰めすぎず適切に空けられており読みやすい。

御意見・御感想

教育の ICT 化が進み、プレゼンテーションや動画教材によって子供達の意識を惹きつける授業構成が容易に実現できるようになった昨今、教科書という紙媒体に求められるのは、情報の一覧性と分かりやすさである。動的コンテンツは重要な情報を表示してもいずれ流れて消えてしまう。授業の最中やその後の復習で改めて教科書の紙面を見た時に重要な情報がどれなのか分かりやすいものが適切であり、今回拝見した小学校算数の教科書の中では東京書籍のものがその点に最もすぐれていた。他の会社では濃い色が多くどこに集中したら良いのか分かりづらいものも多かった。

※原則、原文そのままに記載しています。

64

教科（算数） 発行者（東京書籍）

内容について

プログラミングの扱いが少ない。今回はほとんどの会社が全学年で触れているので残念。知識・技能は十分だが、思考表現判断に関する内容が少なく感じる。

表記・表現について

めあてがわかりにくい。ページ数が上部に表記されているのが見にくい。

65

教科（算数） 発行者（大日本図書）

構成・分量について

以前より厚くなっているようですが、増加したぶんについて教えてください。

御意見・御感想

- ・区内で、ボランティアとして算数を教えています。（日本人、外国人）
テキストは、自分で購入（有償）しなければならない、ボランティア用としてのテキスト提供なども考えて欲しい。
- ・今までは、大日本図書で長く採用してきたと思いますが、来年度よりコンペ（各学校毎に）になるのですか。その理由も教えていただけるとありがたいのですが。

66

教科（算数） 発行者（大日本図書）

内容について

めあて、発見、まとめ等が分かりやすく、さらに、「さらに考えよう」で深い学びにもつながる。基礎・基本から発展まで広く学べる。

構成・分量について

“プラスワン”が大すぎず、調度よい。また、その分、小6だと6年間のまとめがしっかり入っており良い。

表記・表現について

字のサイズ、色などで強弱をしっかりとつけていて分かりやすい。

使用上の便宜について

QRコードで自学の補充もされている。また、この学習がどの学習とつながっていて、次の学年のどの学習につながるのか、目次に明記されており、見通しをもって学習に取り組める。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

教育出版・・・文字からスタートするのは難しいのでは？

東京書籍・・・「めあて」がわかりづらい

67

教科（さんすう1） 発行者（大日本）

内容について

いろいろな見方で行えそうだと思います。

構成・分量について

プログラミングが上の子のときとちがってあるのが興味深かった。

表記・表現について

見やすそうだった

使用上の便宜について

とくになし

御意見・御感想

とくになし

68

教科（算数） 発行者（大日本図書）

使用上の便宜について

2年生のみ見ましたが、上下に分かれていないため毎日の持ち運びで重量がかさむことが懸念される。

69

教科（算数） 発行者（大日本図書）

構成・分量について

1 ページの文字の量が少し多いように感じた。

表記・表現について

カラフルで子どもの目に止まりやすく、良いと感じた。

御意見・御感想

実際の写真等が使われ、子どもにとって身近なことが内容になっている点が良いと感じた。

しかし、前述のとおり、1 ページに文字が多いと感じた為、算数への苦手意識が出てしまうかもしれないと感じた。

※原則、原文そのままに記載しています。

70

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

勉強するごとに、まんがでまとめるページがあるので、分かりやすい。他の会社は文字が多くて、参考書のように見える

構成・分量について

どこの会社も同じに見える。

表記・表現について

1年の数をかぞえるところで、図が大きくてかぞえやすい。啓林館とかは、小さくてかぞえにくい。6年生とくらべると、文字の量が1番少ないので、負担を感じないと思う。啓林館とかは、ごちゃごちゃしてる。

使用上の便宜について

1年生の変な小冊子がなくてよい。大きさもちょうどよい他の教科書会社は大きすぎて重い。
↳なくすと思う。→大日本図書は、うすくてこわれそう！

御意見・御感想

教科書にQRコードがついていて驚いた。子供は使いこなせるのかな。授業でどんな風に使われているのか、まったく想像ができない。友達の子供が小学校に入学するので、算数がついていけるかいちばん心配している。少しでも親しみやすい教科書を選んで下さい。

71

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

どの会社も算数が楽しく、勉強できそうな感じがします

御意見・御感想

5つの会社があり、この会社だけが1年生が1冊になってました。最初の学年は、忘れたり、なくしたり、しそうで、また、これから1年間勉強する流れが分かる方が良いと思います。1年生は1冊になっている方が子供には良いのかなと思いました。

72

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

いろいろな登場人物が出てきて、会話方式の説明は逆にわかりにくいです。会話がまぎらわしい部分が多々散見されます。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

他の教科と比べて、内容が易しすぎる気がします。字が大きすぎて、ボリュームが足りない。

表記・表現について

登場人物の会話や疑問点等が書かれていますが、これだと子供本人の思考力が身につかないと思います。

御意見・御感想

<日本文教出版>の算数は、思考力が身につくような内容になっていて良い教材だと思います。文字の大きさ、全体のバランスも程良いと思います。

73

教科（さんすう） 発行者（きょういくしゅっぱん）

内容について

おもしろかった

構成・分量について

もうすこし、りょうがほしかった

表記・表現について

よくわかりました

御意見・御感想

3才の数字の好きな子と一緒に読みました。子どもはとても楽しんで、教科書をよんで、問題をといていました。上記は、子どもの感想です。

74

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

4コマまんがが、まとまっていて、わかりやすくてよい。身近なことに算数の知識を生かせそう。

構成・分量について

すごく見やすい！東京書籍と啓林館は、文字が多くて開いたとたんうんざりしたけど、教育出版は、空白部分もあってよい。

表記・表現について

写真や図がたくさんあって、少しでも算数を楽しんでほしいという思いが伝わってきました。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

めくろうとしたときに、手の中に収まってめくりやすい。東京書籍とか大日本は大きすぎて扱いづらい。あと、1年で小さい本に分かれているのは、子供がなくなしたり折ったりするものでいい。教育出版は小さい本がないのでよい。

御意見・御感想

弟が小学生だが、算数が苦手で教科書が重いと言っている。今使っているものより、教育出版の方がサイズも小さくて読みやすいので、かえてほしいです。弟がかわいそうです。

75

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

算数はどこの出版社も内容が同様な印象でした。（そういう教科なのかなと思った）

構成・分量について

巻末の学習内容のまとめと、定規やコンパスの使い方の内容がほかにはなく良いと思った。巻頭の見方、考え方も目に留まった。学習の最後の4コマまんがもわかりやすい。

表記・表現について

1年の表紙からも算数らしさを感じられたのとかかわいらしくて楽しそうな印象だった。

使用上の便宜について

1年生の教科書で多くの出版社が2冊にしている中で1冊なのは学習がしやすいように思った。（子どもが喜びそうな表紙だと思った）

御意見・御感想

どの出版社の教科書も算数の内容がもりだくさんで勉強する子どもたちが大変だなと思ってしまったので、紙面の見やすさも大事だなと思いました。イラストも大事だなと思い、キャラの子どもたちが生き生きしている感じも好感がもてました。

76

教科（算数） 発行者（教育出版）

構成・分量について

一年生は一冊にまとめられているので、一年を通してなくさなくていいと思いました。

御意見・御感想

表紙が動くのは面白いと思います。低学年は興味をもって学べそうです。

※原則、原文そのままに記載しています。

77

教科（さんすう） 発行者（教育出版）

内容について

どこの会社も同じ？ふり返ろうのページにあるマンガがわかりやすい。

構成・分量について

どの会社も重そう…。だけど、教育出版は1年が分かれていないので、負担をかんじない気がする。ほかの会社は、なんで分けているんですか？

表記・表現について

学年で文字の大きさがちがうので、考えてつくられていると思った。

使用上の便宜について

1年の小さい冊子のようなものがないから、子供がなくななくてよいと思った。うすい本は、子供はすぐになくしちゃうと思う。実際、なくしてる。

御意見・御感想

最近板橋区に引越して来たのと、めいの子が小学校に入学予定というので、見に来ました。算数ならわかるかな、と思いました。最近の教科書はカラフルですね。そして重い。算数が得意だったので、なつかしく拝見させていただきました。

78

教科（算数） 発行者（啓林館）

御意見・御感想

今現在、どういう内容になっているのか、少し参考になって良かったです。

79

教科（算数） 発行者（全社）

内容について

どの社も申し分ありません

構成・分量について

社によって、上・下巻の分け方が学年により異なっています。子どもの体格を考慮すると、2年～4年までは、上・下巻に分け、重さを軽減した方がよいと思います。

使用上の便宜について

1年の教科書で薄い導入用？の冊子が用意されているものがあります。（4社）
幼小のつながりと意識したのではと推測しますが、他の教科は、そのような冊子がなく、不要だと思いました。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

表紙に QR コードが貼ってあり、アニメーションで表紙のキャラクターが動く仕掛けの社がありました。(教育出版) 大変面白いと思います。子どもが算数に関心を持ちそうです。

80

教科（算数） 発行者（東京書籍、大日本図書）

御意見・御感想

小学校1年生の本が分冊になっているのは持っていく教科書をまちがいそうで心配です。うすい冊子はホッチキス止めなので指をけがしないよう注意も必要です。

81

教科（算数） 発行者（東京書籍、啓林館）

使用上の便宜について

1年生の本だけ本の大きさがちがっている。教科書を並べて置いておくとときに、折れ曲がったりして不便なような気がした。

御意見・御感想

表紙で動画やアニメが見られる工夫は、算数に興味をもってもらい入り口としてよい工夫だと思う。

閲覧会場では音を出して聞けないのが残念だった。(音を出してもだいじょうぶかもしれないのですが、静かな会場だったのでやめておきました。)

82

教科（算数） 発行者（複数社）

構成・分量について

1年生の教科書が別冊になっており、とくに大版のものもあるが、冊数が多くなったり、サイズのちがいがあると、紛失やハソンの可能性が高くなるのではと思います。1年生の親ですが、シンプルな構成が良いと思いました。

83

教科（算数） 発行者（大日本図書、東京書籍、啓林館）

使用上の便宜について

小学校1年生にうすい別冊がついているのが気になりました。入学してすぐなので本をまちがえたり、片方を忘れたりしそうです。うすくて大きい本なので、低学年だと落り曲げたりしてしまいそうです。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

表紙の QR コードから動画やアニメが見られるなど、算数を勉強したくなるいろいろな工夫があり、算数だけでも6つの教科書がありますが、子どもがどの教科書で勉強していくことになるのか楽しみです。

84

教科（算数）

内容について

どの教科書会社もよい所があり、工夫されています。実際に指導者が使う良さと、子どもたちが予習復習したときの良さがあると思いました。

構成・分量について

問題の量については副読本などが活動できると思いますので、多すぎない方がよいと思います。子どもたちが数学的思考方を身につけられるように、いろいろ活用場面があるとよいと思います。

表記・表現について

字・色彩は見やすい、分かりやすいが一番です。

85

教科（算数）

内容について

グラフ、資料のところが充実している。学習の流れとまとめ、振り返りが一致している会社に限られている。

構成・分量について

適切である。問題や例題、応用問題が上手く配列されていない。

表記・表現について

学習のまとめを行う欄が弱いし少ない

使用上の便宜について

教科書活用と書き込みもでき、デジタル対応の会社を採択したい。

御意見・御感想

適切な表現でバランスがとれた内容の教科用図書の採択を要望する。効果的で読み解く力を養える会社を採択して頂きたい。

※原則、原文そのままに記載しています。

86

教科（算数）

内容について

数値 東書→他社よりも易しい 教出→他者よりも難しめ

構成・分量について

上下巻に分かれているのが良い。タブレットもあり、重い。

87

教科（算数）

内容について

啓林や東京書籍はイラストが多く、子供が楽しめそう。

構成・分量について

小1のかずのたしざん、ひきざんの後に時計の読み方が来る（日文・学図）方が子供の理解度が高くなるように思われます。

表記・表現について

QRコードが何の動画やサイトなのか表記している啓林館は丁寧に思われます。

使用上の便宜について

教科書は重いので算数は学校に置いてくる事も多いので、解説 URL が保護者の目に入る所が良いなと思いました。

御意見・御感想

ドリルやプリントしか自宅で目にしないので、こうして全社の教科書が見られて興味深かったです。

88

教科（算数）

構成・分量について

各教科書とも分量、盛り沢山の印象を受けました。

使用上の便宜について

1年に書き込みができる別冊付き教科書が何点かありました。1年生には、教科書に直接書き込むための別冊は余分だと思いました。

※原則、原文そのままに記載しています。

89

教科（算数）

御意見・御感想

分数×分数や分数÷分数の問題を子どもたちにとって身近な題材にしてほしい。「△／○Lで×／□m²塗る」のような問いは想像しづらい。やらされている感がある。

90

教科（算数）

構成・分量について

「もっとジャンプ」はいいなあと思いました。

表記・表現について

図や数直線が見やすいものがよいです。

御意見・御感想

見比べてみることは大切だと思いました。子どもにも教える側にも良いものとなると。様々な子が使うので、それに対応した使い方ができるものが良いと思います。

91

教科（算数）

御意見・御感想

大日本図書、日本文教出版、東京書籍、啓林館の1年の教科書に別冊で書き込みができるノートが付属している。小学校では学習習慣身に付けることは、たいせつで、教科書と自分のノートは机に用意して授業に臨みたいものとする。書き込み式のノートのような別冊教科書は全く必要なし。他の教科でも見られるが、教科書に書き込みができるようになっているのはいかがなものか。教科書は、書籍であってノートではない。甚だしいのが算数1年の別冊教科書だ。

92

教科（理科） 発行者（東京書籍）

内容について

写真・イラストなどが豊富でわかりやすい。興味を引くような表現で良い。

構成・分量について

適当である。学年が3年～6年と同じ分野でも少しずつ新しい考えを加えたりしており、中学・高校へとつなげていく構成となっている。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

写真・イラストに対して、文章が少なく、文字の持つ表現力がいま1つないように感じるが、科学の用語は漢字が中心なので、小学生向けにはむづかしい。十分な表記・表現であるとは思いますが。

使用上の便宜について

なるべく実物を見せて授業をしてもらいたい。あるいは、その分野の体験を語ってもらいたいのだが、実物に接する機会や、教える側の生活体験にも、特に都市部（現在？）では貧しいものがある。（個人差もあるが）

93

教科（理科） 発行者（大日本）

内容について

分かりづらい

94

教科（理科） 発行者（学校図書）

内容について

SDGsの開発目標が目次に併記されており、学習内容と関連付けることができる。

構成・分量について

4～6年生のビーカーを使用する実験の時期が重なっており、用具の準備がしづらい可能性がある。

表記・表現について

見出し等 青を基調としたページが落ち着いた感じで見やすい。

使用上の便宜について

ノートよりやや大きいサイズで扱いやすい。

95

教科（理科） 発行者（教育図書）

構成・分量について

1冊1冊が印刷がきれいで大きいので良いと思いますが子どもは毎日時間割でランドセルに入れて行くのでしょうか。とても重いのでは・・・と思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

QRコードは必要なのでしょうか？

親も子どもも安心して安全で がいいです。今本当に世界が戦争で不安になります。世界中が平和が続くようがいいです。

多分私は、数年後にはこの世の中にいないと思いますがいつまでも平和で安心した生活できる世の中であって欲しいと思います。

96

教科（理科） 発行者（教育出版）

内容について

コンパクトにまとめられている。

構成・分量について

中サイズ。大きすぎず、小さすぎない。重量はややある。

表記・表現について

イラストは今どきのタッチ。結論部分が目立って分かりやすい。絵の大きさも大きくて分かりやすい。写真の分量もよい。

使用上の便宜について

大きすぎず、ちょうどいいサイズでまとめられていて使いやすそうだなと思った。

97

教科（理科） 発行者（啓林館）

内容について

各実験ごとに、器具の使い方が詳しくのっており、分かりやすかった。

構成・分量について

まとめの後に、次の問題へのつながりがあるのが良い。

表記・表現について

字が大きく、太字などの工夫があつてよい。色味がうすくて見やすい。

使用上の便宜について

マークや、季節などの工夫があり分かりやすかった。

※原則、原文そのままに記載しています。

98

教科（理科） 発行者（全て）

御意見・御感想

発行者によって、大きく違うことが分かった。発展問題の取り扱いや児童にとっての親しみやすさでいうと、東京書籍がよいと思った。

99

教科（理科） 発行者（すべて）

構成・分量について

5年「花と実」については、最近温暖化により、早く花がさいてしまうため、一学期の方がよいと思います。

100

教科（理科） 発行者（全て）

内容について

大日本…QR動画の内容表示があり丁寧
東京書籍…導入のイラスト、マンガが受け入れやすそう

構成・分量について

小6の水溶液の実験は最後だと授業時間数は間にあうのか？

表記・表現について

教育出版…フォントが見にくい

使用上の便宜について

東京書籍、大日本図書の判形は机で使いやすいのか？

101

教科（理科） 発行者（5社）

内容について

ICTやSDGsに関する内容が増加していると思います。教科の内容や実験器具の扱い方の他にこれらも指導するのは先生方に大きな負担ではないでしょうか。

表記・表現について

いずれも写真や図版を使い分け見やすいと思いました。

使用上の便宜について

大日本の判型が大きくなってしまったのが残念です。小さい方が場所をとらず授業中に使いやすいと思うのですが。その分、実験の流れがこまかくなったのは良いと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

どの発行者のものも十分な内容と使いやすさだと思いますので現場の先生方が使いやすいものを採択されると良いかと。

102

教科（理科）

内容について

4年ものの湿度と体積

金属のことについて、鉄道のレールのつなぎめが載っている教科書が複数あった。

〈〈キケン 線路に立ち入ってはいけない〉〉と書かれているものもあるが、そもそも載せなければよい。他の事例を扱えばよい。中には、「どうなるからでしょうか、説明しましょう」などと実際に立ち入りをうながしているようにさえ見える教科書もあった。こんなものが掲載されていたら、好奇心旺盛な子は、よけいに線路に立ち入りたくなるのではないかな？教育委員会には配慮してほしい。

103

教科（理科）

表記・表現について

写真・イラストが多く分かりやすいが、重量がある。

御意見・御感想

低～高 それぞれで字の大きさ等も読みやすく理解しやすいと思う。全体的に大きさ・重さ共に特に低学年にはきびしい。

104

教科（理科）

内容について

全体の流れ

105

教科（生活） 発行者（大日本）

内容について

よい。

構成・分量について

- ・イラストの統一感があってよい。
- ・ページ数が多い。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

- ・文字が大きくて読みやすい
- ・作り方があるものとなないものがある。

使用上の便宜について

切りとりできる春さがしビンゴが使いやすい。

106

教科（生活） 発行者（光村）

内容について

学習活動例が写真つきでわかりやすい。

構成・分量について

イラスト・写真と文の量が適度である。

表記・表現について

低学年わかりやすい言葉が使われている。

使用上の便宜について

教科書末にふりかえりをするための言葉が書いてあるので活用したい。

御意見・御感想

イラストがとても効果的に使われていました。

107

教科（生活） 発行者（光村図書）

表記・表現について

ヨシタケさんのイラストやコメントが入っていて、子どものすなおな気持ちが伝わりやすい。

108

教科（生活科） 発行者（啓林館）

内容について

他社よりデジタルコンテンツが多くかんじた。

使用上の便宜について

大きさがちいさくてよい

御意見・御感想

他社を比べられて勉強になりました。ありがとうございました。

※原則、原文そのままに記載しています。

109

教科（生活科）

内容について

どの社会も同じような内容だったが、なじみ深い絵本作家さんのイラストが入ったもの（教育出版・光村図書）は目をひいた。

構成・分量について

教育出版は他の会社と比べ活動（思考）させる内容がわかりやすく迷路になっていた。ただやるというより考えながら、読み進めて活動する流れになっていた。

表記・表現について

ほとんどの会社が、写真多めだった。でもあさがおの所で見ると他の植物とくらべられるものやあさがおを大きく色々な見方で表記しているものもあった。

使用上の便宜について

東京書籍・光村図書は持ち運びできる図かんがついていた。光村は雨等でぬれても大丈夫なもので写真なのはよい。東京書籍は、実さいの大きさなので見つけやすいと思う。

110

教科（音楽） 発行者（教出）

内容について

選曲がよい。子どもが興味がそそられるものが多い。

構成・分量について

音楽のもとが上部にのっているので意識しやすい。

表記・表現について

色あいが見やすい

使用上の便宜について

適ぎ、楽譜やスコアがのっていて、使いやすい。

111

教科（音楽） 発行者（教育出版）

内容について

目新しい子どもの興味関心をひくものが多い

構成・分量について

十分

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

(色) あざやかで、わかりやすく、表記されている

使用上の便宜について

見開きページは資料としては良いが、児童の扱いとしては(最近の児童の様子を見ていると)難しいと思われる

1 1 2

教科 (音楽) 発行者 (教育出版)

内容について

児童が興味のもてるような教材が多い。教材がわかりやすい。

構成・分量について

分かりやすい系統的に構成されている。

表記・表現について

文字と写真のバランスが良く、見やすい。

使用上の便宜について

色調や字の大きさも分かりやすい。

1 1 3

教科 (音楽) 発行者 (教育芸術社)

内容について

- ・創作が増え、思考・判断・表現に力が入ったように感じた

構成・分量について

- ・今まで多いなと感じていたところが減っていてちょうど良いと思えた

表記・表現について

- ・創作の難易度がやや上がっていた

使用上の便宜について

- ・教師にとってありがたいが、子どもにとって必要な図なのか・・・と感じるものがいくつかあった。
- ・字体が慣れず、少し落ち着かない
- ・前の写真の方が良かったと思うところがたくさん・・・(なぜイラストになったのか...)

※原則、原文そのままに記載しています。

114

教科（ 図画工作 ） 発行者（ 開隆堂 ）

内容について

自分がつかってみた。

構成・分量について

ちょうどよかった。

表記・表現について

見やすく、おもしろそうだった。

使用上の便宜について

つかいやすかった。

御意見・御感想

つくってみたいものがたくさんありました。つかえたらいいなと思いました。

115

教科（ 図画工作 ） 発行者（ 開隆堂 ）

教科（ 生活 ） 発行者（ 光村図書 ）

内容について

（図工） 3・4年のスーパーランドセルが楽しそうでやってみたい。

（生活） 保育園でもよく読んだヨシタケシンスケの絵がたくさん載っている
光村図書はワクワクする。遊んでみたい。

御意見・御感想

現役の小学生の意見です。父親の代筆です。低学年の「遊び」は「学び」に近いと思います。

116

教科（ 図工 ） 発行者（ 日本文教 ）

内容について

題材に単純性のないものがある。難しく感じた。

構成・分量について

3・4上と下で発行者により逆になっている。

御意見・御感想

今までと同じ教科書が良い。タブレットが入ってきていますが・・・。

※原則、原文そのままに記載しています。

117

教科（ 図工 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

見やすいデザインでよかったです。にているけど開隆堂の方は見にくかったです。

御意見・御感想

「わざのひきだし」のコーナーがいいなと思いました

118

教科（ 図画工作科 ）

内容について

よい

構成・分量について

よい

表記・表現について

よい

使用上の便宜について

よい

御意見・御感想

日本文教出版さん、5・6下巻には焼き物の題材が示されており、とても高学年らしい内容であると考えさせられました。区内小学校にでかまがあると思いますが、メンテナンス、また、電気がまの導入をしていただけたらと思います。本日はありがとうございました。

119

教科（ 家庭 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

5，6年生でこれだけの内容を理解、実践できれば自律した生活ができると思いました。消化不良にならないといいです。

構成・分量について

限られた時間の中で学習するには分量が多い気がします。詰め込みにならないか心配です。

表記・表現について

P2のひなたさん、りんさん…等さんづけの表記は配慮が感じとれます。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

著作権関係者に小学校教諭が少ないのが気になります。小学生の実態をよく知っている現場の教諭が子どもたちにどのような力をつけさせたいのか現状をふまえての教科書づくりが大切だと思います。

120

教科（家庭科） 発行者（東書）

内容について

わくわくして、先を見通せる内容になっている

構成・分量について

よい。開隆堂は少し、難しいように感じた。

表記・表現について

行間よい。パッとみて見やすい。

使用上の便宜について

めくりやすい。（ページの厚さもよい）

121

教科（家庭） 発行者（東京書籍）

内容について

- ・基礎的な知識及び技能が確実に習得できる内容である。

構成・分量について

- ・分量は適切である。
- ・発展的な内容の分量も適切である。

表記・表現について

- ・資料は写真や図をもちいて見やすく配慮されている。
- ・QRコードから見る動画は、裁縫単元で左きき、右ききそれぞれの動画があるなど、どの子にも配慮されている。

使用上の便宜について

- ・現行の教科書と大きさは変わらないが、軽くなっている印象がある。

御意見・御感想

- ・全体的に、字のフォントや大きさなども整理されていて、読みやすいと感じた。光がページに当たっても反射しない印刷の配慮を感じた。

※原則、原文そのままに記載しています。

1 2 2

教科（家庭科） 発行者（東京書籍）

内容について

資料が多く＋αの知識が富にあって良い。めあてやふりかえりなど、授業の流れが分かりやすく使いやすい。特に6年朝食づくり（いためる調理）では、朝食からいためものについての流れが生活に則していてやりやすい。

構成・分量について

5年と6年のバランスが良い。年間の総時数も5年60時間6年55時間と5時間とか差はないので、同じくらいの分量になっていて良い。

表記・表現について

写真やイラストが多く分かりやすい。動画資料も多くて良い。題名が日本語ベースでやることとイメージがしやすい。

使用上の便宜について

高学年の他の教科書（国・算など）に比べると大きいが見やすくはなっている。（文字の大きさなど）小さくできるならその方が良いがその分重くなるならちょうど良い大きさだと思う。

御意見・御感想

東京書籍も開隆堂もどちらも使いやすい見やすさ、分かりやすさはそれぞれにあるが、どちらにしても、指導内容と学年の分量は変わらないようにしてほしい。どちらにしてもこれまでの教材研究がいかされるよう共通するところはしてほしい。

1 2 3

教科（家庭科） 発行者（開隆堂）

内容について

確実に技能・知識を習得できる。生活に即している部分少く主体性は低めかも。

（朝食→いためるではなく、「いためる調理とは」から始まる。）

構成・分量について

5年生の分量が多い。情報量が多すぎることもある。

表記・表現について

「ソーイング」などの横文字が多い。写真が多く分かりやすい。（内容が入ってきずらいかも）

使用上の便宜について

見通しは立てやすい。大きめだが見やすい。

※原則、原文そのままに記載しています。

1 2 4

教科（保健） 発行者（東京書籍）

内容について

基礎的かつ時事的な知識及び技能がきちんと習得できると感じる

単元に「深める」と「まとめる」が設けられており、思考・判断・表現の力も伸びると感じる

構成・分量について

適切である。新型コロナウイルスについても記述してある

表記・表現について

発達段階に応じた表記、表現である。キーワード、大事なことがわかりやすい

使用上の便宜について

課題の提示→調べる→深める→まとめるとどの単元も構成されており、見通をもって学習にとりくむことができると感じる。

御意見・御感想

教科書を各小学校に回してほしいです。

1 2 5

教科（保健体育） 発行者（東書）

内容について

多様性を前面に推している感じがした。

構成・分量について

授業の流れにそったつくりでI T Oとして考えやすい。

表記・表現について

少し情報量が多く、読みにくさを感じたが、このうすさ（重さ）にするにはしょうがないと思う。

使用上の便宜について

ワークシートとして使うことができる。

1 2 6

教科（保健） 発行者（東京書籍）

内容について

実験（3・4年）、実習（5・6年）があり、体験的に学習が行えるため、知識・技能の習得の一助となっている。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

他社と大差なく、3・4年は、文字が大きく、読みやすいと感じた。+の資料等はすべてQRコードとなっている。

表記・表現について

イラスト・写真ともに多くあり、理解の手助けとなっている。

使用上の便宜について

QRコードでの解説や資料を見れるのがよい。書きこみが多くあり、ドリルのようにも内容を確認できると思った。

127

教科（新しい保健） 発行者（東京書籍）

内容について

予防接種の項目の所（P53）で新型コロナウイルスのワクチンは病原体の毒性を弱めたものでも感染力をなくしたりして作ったワクチンではないので、今までとはちがうと記載するか、もっとしっかりとした情報をのせた方がいいと思います。mRna ワクチンです。

御意見・御感想

『生活習慣病の予防』という項目がありますが、添加物のことについて全くふれておらず、そこはつけ加えて頂いた方がいいと思います。そうする事によって買い物をした際に裏のラベルをきちんと見て購入できるようになったりするからです。食べた物で身体は作られていると言う事をもっと意識させた方がいいと思います。←これはどの保健の教科書も共通でした。

文教社 保健5・6年（新型コロナウイルスに対する3つの基本）とありますが特に②のマスクの着用はまちがっているので記載しない方がいいと思います。

128

教科（保健） 発行者（大日本）

内容について

つかもう→話し合おう→考えよう→活かそう 流れがとても分かりやすい。

構成・分量について

書く量もあり、イラストや情報量も多いので、書く力が身につく。まとめやすい。板書も書きやすい。

表記・表現について

マークが様々あり、特に地球との関わり（なかなか児童が気づかない）もくわしく書いてある。SDGs 関係も書いてある。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

どの教科書も情報量が多く、学びに行かせるものが多かった。その中でも大日本のものは、つかもう～活かそうまでいねいに分かれていて見やすかった。

129

教科（保健） 発行者（大日本図書）

内容について

良い。目次もみやすい。

構成・分量について

文章も多すぎず簡潔にまとめている。児童が記入する欄も多くを求めず、少ない範囲の中からいくつか記入する欄がありいい。

表記・表現について

図・表 イラストを使用し視覚的にもわかりやすい。（ただキャラクターが多すぎるのではと感じる）

使用上の便宜について

特になし。

130

教科（保健） 発行者（光文）

御意見・御感想

- ・ 見つけようー考えようー生かそうの流れが分かりやすかったです。
- ・ 文章中のポイントとなる言葉が太字になっており、児童もわかりやすいと感じた。
- ・ 巻末の学習のまとめやSDGsの視点があるのもよいなあと感じた。

131

教科（保健） 発行者（光文書院）

内容について

思春期のからだの変化、赤ちゃんが産まれるまで、LGBTについて、煙草の有害について

御意見・御感想

フルカラーで分かりやすく説明されていて、どの発行元の教科書もみやすいと思いました。

132

教科（保健）

御意見・御感想

同じ単元でも内容が異なり、どこがよいと決められない。

※原則、原文そのままに記載しています。

133

教科（ほけん）

内容について

わかりやすい（写真・絵）

構成・分量について

文章は多すぎないほうがよい

使用上の便宜について

デジタルコンテンツが活用できるとよい

134

教科（英語） 発行者（東書）

内容について

- ・中学校でやっていた内容に近いものになっていた。
- ・中学校では、今まで通りの授業をやっているとのことなので中学校の内容に近いものでよいと思った。

構成・分量について

良い

表記・表現について

字の大きさ、字体とてもよかった。

使用上の便宜について

使いやすそうに感じた。

135

教科（英語） 発行者（東京書籍）

御意見・御感想

読み書きに重点を置いたものだけでなく、聞いたことを発声してから書くという内容のものが多く良かった。書くたびに発声を促す表記があるとなお良い。フォニックスが十分にまとめられていて良かった。

136

教科（英語） 発行者（東京書籍）

内容について

自分のことを伝える活動が多いと思った。
→とてもよいと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

字、イラスト、写真、図表のバランスがいい。

御意見・御感想

今の時代の子どもたちに合っていると思いました。

137

教科（英語、6年） 発行者（KAIRYUDO 他）

内容について

思っていたよりもむずかしい。小学校での英語教育が始まる前の中学校1年の内容のよう。

使用上の便宜について

もう少しすい紙にして軽くした方が持ち運びには便利ではないでしょうか。見栄えは良いですが。

御意見・御感想

小学校の先生は必ずしも英語が得意なわけではない。キチンとして英語教育をしようとするなら、ALTではなく担任がかかわらなくても良い、専門の先生（指導者）が必要だと思います。

138

教科（英語） 発行者（教育出版）

内容について

小学生から英語にふれることができるようになり、どのような内容を学ぶのか知りたかったので伺いました。会話中心に学べるのがとても良いと思いました。

139

教科（Blue Sky） 発行者（啓林館）

内容について

冒頭から内容をききとり順番に番号を振るという内容で他の発行者と比べ難しめだと感じた。

御意見・御感想

小学校の英語学習についてはほとんど知らないが、子どもたちの苦手意識をできるだけへらすことが大事だと感じた。

※原則、原文そのままに記載しています。

140

教科（英語） 発行者（三省堂、光村、開隆堂）

内容について

三省堂はプレゼンテーションのときに参考になる話し方がありよい、光村はやりとりするときに大切なアクションや心がまえがありよい。開隆堂は、プレゼンとやりとりの両方が unit と教科書前方にあるが上記 2 社より簡単。

構成・分量について

3 社とも 4 技能バランスよく構成されている。

表記・表現について

開隆堂の最後の単元の有名人は、子どもたちになじみがない。

使用上の便宜について

ワードバンクに日本語が少しあるいは光村のみ。

御意見・御感想

どの会社のものも工夫されている。よいところをピックアップして使いたいくらいだ。

141

教科（英語）

内容について

開隆堂 word Book で数と日づけ明確で良い。

現在 未来 過去 文法的なものどのように理解させるか？

指導力の力量が必要になります。（指導書で確認してあるのですか？）

御意見・御感想

各出版社 word Book でコミュニケーションに必要なカテゴリーをまとめてあることは良いが、英語に不慣れな小学生にどのように学習させ使える英語にする。話せる英語にするのか、指導者の力がひつようになってきます。ぜひ読む書くだけでなく、使える英語にシフトアップさせる工夫をしてください。

142

教科（英語）

御意見・御感想

保護者です。特別支援が必要な子どもがいます。英語教科書 6 社のうち啓林館のフォントが見やすいと思いました。

※原則、原文そのままに記載しています。

143

教科（ 道徳 ） 発行者（東京書籍）

内容について

心情表現の仕方（心情円や心のメーターなど）のふろくも付いており、話し合い活動に有効だと感じた。（言語で表現できない児童への支援にもなるし、特別支援が必要なお子さんにも表現しやすい）

構成・分量について

絵と文章のバランスがよい。（ほどよいスペース読みやすい）

表記・表現について

絵や写真もやさしいタッチでなじみやすい。

使用上の便宜について

QRコードも付いていて、タブレットなどでも活用しやすい。

144

教科（ 道徳 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

人と人との関わりについての内容が多いと感じます。

表記・表現について

どう思うか、どう感じるか、児童たちに考えさせる形で良いと思いました。

御意見・御感想

都会での暮らしで、周りの人々や地域との関わりが薄い中、犯罪などに気をつけつつ関わっていくことへの大切さを学ぶ事ができると感じました。

145

教科（ 道徳 ） 発行者（ 東京書籍 ）

御意見・御感想

人とのかかわりでは友情を深める 良かった

学ぶのかな？ ボランチア 良かった

命 自然 大いなるもの かけがえのない命 東京大空襲の中で 良かった

よりよく生きる さばくを緑の農地に必要

146

教科（ 道徳 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

最初の見開きページのお話が良い。

構成・分量について

良い。

表記・表現について

6年生はもう大人と同じ表現で良いと思います。

御意見・御感想

道徳に時間を使ってもらいたいと思います。

147

教科（ 道徳 ） 発行者（ 教出 ）

内容について

新しい教材が入っていて、読みものとしてはおもしろいが、それをもとに考える道徳ができるのか疑問

構成・分量について

もじが他社に比べ多く、フォントも細かく読みにくい。

148

教科（ どうとく1 ） 発行者（ 光村図書 ）

内容について

「⑥みんなじょうず」（P 16）“おかあさんはりょうりじょうず おとうさんはしゅうりじょうず”は、今後のジェンダーフリー社会に向かう中では考えもの（ひと工夫が必要な書きぶり）。（←特に1年の教育として）

御意見・御感想

「⑧かぼちゃのつる」（P 20）の話は何社もの教科書に載っているが、“勸善懲惡”、“因果応報”的寓話で、分かり易いが効果は限定的。自分勝手や他者への迷惑行為がなぜいけないのか、この話だけでは説得的ではない

「⑫二わのことり」の寓話も何社も載せているがこの話にも幾つかの“違和感”がある（・うぐいすは何故この日に音楽練習を強行したのか（調整しなかったのか）（やまがらには声を掛けなかったのか）・みそさぎは他の鳥が「こっちに來て良かった」と言うことに同調せずひとり黙って抜け出したが、それを正解の様に扱うことで可いのか・・・など）

※原則、原文そのままに記載しています。

149

教科（ 道徳 小4 ） 発行者（ 光村図書 ）

構成・分量について

「⑩つまらなかった」（P 8 2）は、P 8 6の「インターネット上のやり取り」とともに“現代”に生きる我々にとって秀逸なテーマ。

「⑳泣いた赤おに」正解を示唆しない問題提起型の設定は良いと思うがそもそも「鬼対人間」という背景図式が今日的感覚からはいただけない。

「㉑わたしの大切なもの」（P 1 5 8）で、やっとリアルな世界への視点が出てくる。遅くないか。

150

教科（ 道徳 5年 ） 発行者（ 光村図書 ）

内容について

・「⑩命の詩－電池が切れるまで」は、もっと下の学年（1年生からでも）に載せて良いのではないか

・「㉑だれもが～」でやっと“差別”問題が出てくる。偏見、差別 いわれなきヘイトなどの扱いが少なすぎないか

・巻末が「㉑アンパンマンがくれたもの」で歌詞の意義を改めて考察させるものだが、それにしても題材が低学年向き。高学年になると「きれいごとでは済まない現実」に直面する。それへの対応を教えるべきではないか。

表記・表現について

P 5 6、3行目の「目線」に違和感あり。TVやスマホの普及で一般名詞化しつつあると言え、目線は（元々一部の）業界用語。小5の教科書に用いる語にはなじまない。（吉藤氏の作品引用としても）。（而も、ここは「視線」で全く意味を損わない）

・P 1 2 5 16行目「(テレビ局) とか」のとか。“たりとか言葉”は教科書に合わない（使うとしたら正しい使い方で）

御意見・御感想

幾つかの社は教科名道徳にサブネームを付けている

・光村「きみが／いちばん／ひかるとき」 ※光村は隔年の巻頭を飾る詩も秀逸

・日文教「生きる力」

・教育出版「はばたこう明日へ」

どれも良いと思いますが・・・

※原則、原文そのままに記載しています。

151

教科（ 道徳6年 ） 発行者（ 光村図書 ）

御意見・御感想

⑬「世界人権宣言から学ぼう」→「世界人権宣言」の存在を知り、学ぶこと自体が自然と社会と自分のつながりを考える力を与えるので良い教材だと思う。それに対し、例えば⑩曲げわっぱから伝わるもの→P178<つなげよう>で君が思う日本のよさは、どんなものかなの問いには飛躍がある。雪菜は曲げわっぱを通して見える職人の思いや自然への見識などに感ずる所があったと思うが、どこで「日本のよさ」とつなげるのか理解できない。よその国の技術であっても雪菜は感動したと思うから。

152

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日文 ）

内容について

板橋ビジョンに準じている内容もありよい。（世界に目を向けている。）

構成・分量について

ちょうどよい

表記・表現について

写真がわりと多いので身近に感じやすい。

使用上の便宜について

ノートもセットでよい。

153

教科（ 道徳（いきるちから）1年 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

“狙い”となる内容が、バランス良く配分されていると思う。

表記・表現について

P141の文章表現「あしたのよういを入れました。」は学校では普通の表現ですか？（「よういを入れる」に違和感アリ）

◎動物のキャラクターを使うこと自体には大きな問題はない（寧ろ親しみ易いか？）としても、いつも“悪い役”を狼、キツネ、タヌキ…“良い子”をウサギ、猫、子犬…という様にステレオ・タイプ化するのはいかがなものか（見た目の可愛さと善悪は別物）

命を教えるのに、動物だけでなく植物の芽生えを使っただてんは良かった。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

「ノート」があっても QR コードが必要か？（←動画にリンクしているものを見て、「必要なものもある」と認識し直したが…）

154

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

御意見・御感想

道徳ノートがあることでとても不便さを感じる。発問などを書かないなどの配慮がある助かります。道徳ノートのよさは、児童が自由に使える、書ける、自分の意見をノートに表出できる、そして、教員の時間短縮等の利点があると考えます。決められた枠やたて書き横書きも決められ、心を表出するのに不自由さにつながる、また、上の段の発問があることによってワークシートを印刷して貼るといった手間がかかり結局無駄な時間がかかってしまう（働き方改革の逆行）板橋区で使用する教科書について、教職員・児童のことを考慮して頂き、ご検討いただけたら幸いに思います。宜しくお願い致します。

※区で購入していることもあり、絶対に使用しないといけないという道徳ノートのしほりも大変やりにくいです。

155

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日文 ）

内容について

4年、P 84 「花さき山」

こうした絵本に子どもが自然に出会えたらと願います。ある目的にそった教材として出会ってしまう子どもの不幸を悲しく思います。道徳教科書は罪深いと思います。

構成・分量について

「どうとくノート」は不要です。子どもは求められている答えを書き、偽善を考えます。

表記・表現について

タイトルが作作的で、最初に「徳目」が示され、子どもがそれにそって対応していく授業で道徳が心に育つとはどうしても思えません。

御意見・御感想

道徳を教科にしたり、教科書で教えることの無理をつくづく感じました。

日本の社会や、日本のリーダーが子どもの心に徳を育てる教材であってほしいと願います。

156

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日文 ）

内容について

前回とお話が入れ替りよかった

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

どの社もさし絵を工夫された。

御意見・御感想

特になし

157

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日本文教 ）

内容について

時代に合わせて、内容が精選されていた。

構成・分量について

適切

表記・表現について

ノートについて2年生以降は全てけい線になっており、よかった。

使用上の便宜について

ノートがついていてよい

158

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

「人との関わり」を年3回組み合わせ「いじめ防止」を設定している。

使用上の便宜について

教科書に学習記録を書かせるより、ノートに記載して家庭に持ち帰らせる方が親としてありがたい。

ノートに教科書の目次があり、どの教材を学習したのかわかりやすい。

159

教科（ 道徳 ） 発行者（ 光文 ）

内容について

（1年にんじん畑でP84）他

動物の過度の偽人化は子どもの心を煩います。「かぼちゃのつる」（P34）も同様に自然の摂理を人間の「道徳」で断罪すべきではなく科学的であってほしい。

「アスリートの言葉」（6年P162）などスポーツ選手を過度に美化するページも彼らが何か問題を起したとき、逆効果となります。スポーツは道徳ではありません。

※原則、原文そのままに記載しています。

160

教科（ 道徳 ） 発行者（ 光文書院 ）

内容について

（全ての会社様の教科書を閲覧させて頂いた中で）『自分軸』を育てるのにとてもいい考え方と表記方法。そして、心理学にも通ずる要素が有りアウトプットをする癖を幼いときからつけることが出来るものが多かった用に思いました。

構成・分量について

先程と被りますが構成がとても素晴らしいです。分量もストレスを感じないほどよいものだったように思います。

表記・表現について

自己を確立していくにあたり人として大切なことを学ぶことができるだろうなと感じました。

使用上の便宜について

『自分軸』を確立できる。（今でいう、『自己肯定感』等）
情報にブレづらい心を育てることができる。

御意見・御感想

この度は素敵な会場を設けて下さり、心から感謝申し上げます。このような機会をもっと沢山の方に知って頂けたらいいなと心から思います。

これからの「地球の子どもたち」「子供だった大人たち」双方が笑顔で愛溢れる世界で生きられるよう自分も精進していこうと思います。

とても素敵な気持ちを頂きましたと共に、勉強になりました。有難う御座いました。

161

教科（ 道徳 ） 発行者（ 学研 ）

内容について

いろいろなジャンルのお話が載っていて、楽しく学べそうだと思います。6年33届け！
ぼくらの願いは区内のお話で驚きました。これからの時代、与えられるばかりでなく、自分たちの手で未来をつくろうとする姿を同じ区内の子どもたちに見てもらいたいです。

構成・分量について

問題ないと思います。

表記・表現について

絵や写真がとてもきれいで、よく考えられて配置されたことが伝わってきます。子どもたちの興味をひきそうです。男の子＝青（寒色）、女の子＝ピンク（暖色）、家にいるのはお母さん、働くのはお父さん、といった性別についての配慮が随所に見られて安心しました。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

昔に比べてほとんどの教科書が大きくカラフルですね。うらやましいです。道徳は1社以外同じ大きさで、迫力ある写真や見応えあるイラストを載せるのには小さくないほうがいいように感じました。ノートは1社のみについていましたが、普通の市販のノートでも十分な内容に見られました。紛失などノートの管理に手間がかかってしまうのでは？と心配しました。

162

教科（道徳） 発行者（GAKKEN）

内容について

各単元が“問題点、投げかけ型”で構成されている。そのこと自体は可いと思うが、例えば項目20「ノンノンだいじょうぶ」のエピソードは少々意味不明。薬をのんで寝たら翌朝、周りが明るくなっていた。全てクスリで解決できるか？

表記・表現について

動物に擬える手法は常套だが「狐は狡知に長けている」「ウサギは可愛くて善」という立て付け（「22など」）はステレオタイプに過ぎるか。

使用上の便宜について

「こころのパスポート」は、他教科の「練習問題（応用問題？）」に当たるのか・・・とすると「こころのパスポート」という名前が相応しいのか少々疑問

御意見・御感想

・「勸善懲悪」「因果応報」の道徳律、1年生用としては否定しないが、稍、それに走り過ぎるエピソードが多いように感じる。（2年生以上の内容に期待）

・動物（例えばハムスター「31」）は、可愛い、生きていることは素晴らしい・・・ということを知ること大切だが、同時に（だからこそ）飼うことの大変さ（命を育むことは時に面倒で汚いこともあること）も教えるべきではないだろうか（安易にペットブームによって処分される命もある）

・植物の命のことにも触れたい（2年生以降に期待）

163

教科（みんなのどうとく） 発行者（学研）

内容について

各ページ、お話だけでなくお話を読んで具体的にどうだったか皆で考えたり自分に問いかけたようになっていた。ルールやマナー等学べるようになっていていると思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

子供のおそらく短いであろう集中力に合わせた短い物語や話で構成されていて、更に話を読むだけでなく最後に考えを話し合う構成になっていて受け身だけの授業にならずに良いと思いました。

表記・表現について

子供の興味をそそるような絵や写真が並んでおり、学ぶ意欲をかりたてると思います。

御意見・御感想

コロナが流行してから、子供たちが集まって、一緒に何かをする機会やマスクをつけた生活になれて、表情が見えずにノンバーバルなコミュニケーションも減ってきた中で、お友達や人との接し方を学ぶ上で、道徳の授業はより大切になってきたと思います。フェイストゥーフェイスでとるコミュニケーションだけでなくオンラインでの付き合いもふえてきた現代で、人のことを思いやれる子供たちに育ってほしいので、道徳の授業を通して学んでほしいです。

164

教科（道徳） 発行者（全社）

わざとらしいものが減っては来ているようだが、まだまだ多い社がある。偉人伝的読み物が多くなるのはやむを得ないと思うが、その背景や裏面までを含んだ「考えさせられる」内容のものが少ない。

165

教科（道徳） 発行者（全社）

御意見・御感想

人間の心はまず絶対的に自由であることが大前提とした上で人を教育してほしい。道徳教科の膨大な「あるべき～」が自由な子どもを枠にはめこんでいる。大人は子ども謙虚であってほしい。与えようとする枠が有害かも。成長への阻害になっているかもという疑いをもってほしい。自分がこどもだったら、心のことは自由にさせて、自分で考えたいと反撥するだろうと、道徳の教科書を読んだ感想です。

166

教科（道徳） 発行者（日本文教出版 光村図書 Gakken）

内容について

どの会社も、道徳ではいじめ防止をつよく意識しているのだと感じます。日本文教と光村では、目次などにはっきり「いじめをゆるさない」と明記していて、大人の側からみると、評価されるかもしれませんが、子供の立場からみると、あからさますぎて、嫌な感じがするのではないかと。とくにいじめられている子にとってはつらいのではないかと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

ページ数は日本文教と光村が中学年で 180 ページあり、充実しているかにも思えますが、道徳の教科はただ読むだけの学習でないのだと聞いているので、Gakken のページ数（中学年で 160 項ぐらい）が丁度良いのではと思います。日本文教の道徳ノート、他社にはない工夫？でも教科書にも記入欄あるのでこんなに書けないのではないかと思います。

表記・表現について

挿し絵など、各社多様性への配慮がされていて、ランドセル・服装の色などもステレオタイプにならないように気をつけているんだなと思いました。個人的には Gakken の表紙と挿し絵がかわいくて、子供たちにも親しみやすいものではないかと思います。

使用上の便宜について

付ろくで思考ツール（QR をよみとってみられる）があるのは面白いと思います。Gakken, 光村にあります。

御意見・御感想

光村の巻末の学びの記録、シールをはって、子供たちのポートフォリオにするのかもしれませんが、何をどう考えたのか、シールを貼るだけでは後から見返したときにさっぱりわからないので、教師の立場としては、Gakken の巻末くらい具体的に書かせた方が児童の心の成長の見取りができていいのではないかと思います。Gakken は巻頭にも今の自分について考えて書く欄があるので巻頭（新学期）と巻末（学年の終わり）で自分の考えの変化が、児童自身で振り返ることができて、よい工夫だと感じました。日文の 3 年「これ、全部東京産」という教材、東京以外の地域では何だか使いづらいんじゃないかと思います。

167

教科（道徳） 発行者（東書、日本文教、光文、光村、教育）

内容について

本校で使用している日本文教出版 ノートもあり活用できるほとんどの教科書が時代に合ったものを取り入れ評価している。

構成・分量について

文教、光文は登場人物が始めに紹介があり、あらすじが把握しやすい。もくじに全社、価値について表記され見やすい。

表記・表現について

日本文教出版 実写の表紙はとてもよい。親近感がわく。光村。

使用上の便宜について

日本文教出版 ノートは発問がなく自由度がありよい。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

光村、文教は巻末にSDGsの表記あり。時代に合った教材はよい。
他にジェンダーフリーについても取り上げていければよい。

168

教科（道徳）

「光村 5年」

ハンセン病をとりあげ、「だれもが幸せになれる社会を」という項目は、とても良いと思う。子どもの権利条約について、触れられているのは良いことと思いますが、もっとページをさいてもらいたいところだと思います。

「東京書籍 4年」

お母さんのせいきゅう書は、家事労働を女性が担うという前提で書かれている。子どもたちに性による役割分業について固定した意識をうえつけてしまう。多様が家族があることから問題だと思う。このような教科書であってほしくない。

169

教科（道徳）

教育出版①全学年、全単元の最後に3項目の自己評価欄がある。○、×とかを書き込むのだと思うが、先生が評価の材料の1つにすることがわかっているだけに、子どもは悪い評価は記入しないだろう。たてまえと本音を使い分ける子どもを育てることになってしまう。適切ではない。②6年巻末に「世界人権宣言」を入れているのは評価したい。道徳教育で不可欠のものは人権教育だから。

日本文教出版①教科書とノートの2冊セットは扱いづらい。②毎回自己評価をする。項目はよいことばかりである。該当するものがなくてもどれかに色を塗らねばならないから、本音でなくても塗ってしまう。本音を出さず、たてまえだけで生きることを勧めているようなものだ。不適切な項目だ。③「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」この2つの問いで全学年統一している。「考えてみよう」は教科「道徳」として、適切な問いだ。「見つめよう、生かそう」は無理をして答えねばならない子どももいるだろう。道徳は自然体の中で自己のものとしていかねばならないのに、たてまえで答えさせてしまう。どの題材でもこの問いに答えさせるのは無理だ。非道徳的な子どもを育ててしまうのではないか。

170

教科（道徳）

徳目にあわせた、いかにもそれらしい話（作り話）を多く載せている社の編集が気になる。こんなことで本当に道徳心が養えるものだろうか。

171

教科（道徳）

内容について

※原則、原文そのままに記載しています。

どの出版社も似たような題材、短文をとりあげて、決まりきった答えをひき出そうとしていますが、子どもの自由な発想、多彩な意見を教室で言い合える授業が豊かな人間を作ると思う。

構成・分量について

項目が多くて、これで週1回の道徳の時間には、消化しきれないのではないかと？そもそも1時間に1話という設定にも疑問を感じる。

表記・表現について

色は美しいし、文章には配慮してあると思うが、どちらかというと、そちらに重点が置かれていて、内容は薄いものが多いように思う。

使用上の便宜について

現場の先生達が、これをどのように扱うかによって、大ちがいだと思う。先生達の視野、教養を深めるために、ゆとりある研修の時間を確保してほしい。

御意見・御感想

先生のなり手が減っているのはそれだけ職場環境が魅力に乏しいことだと思う。採用試験を前倒しにするようなことでは解決しない。

先生達の勤務時間を減らし持ち時間を減らし、給与を上げて、1人1人の個性を尊重して、教養ある人間を教員に行かなければ、日本の未来はない。教育の効果は20～30年後にわかる。すばらしい先進国に学んで、日本の教育制度を改善してほしい。

172

教科（道徳）

「東京書籍」各学年に「考えるためのツール」が、4年以上には更に「心情円」が付いていて、毎日、自分の行為行動を自己評価するようになっている。こういうものを毎日やられると、子どもは委縮してしまうか、表向きの自分と本当の自分を持つようになる恐れがある。有害無実だ。

「光文書院」各学年巻末に「またびの足あと」と称する自己評価表が付けてあり、道徳の授業のたびに自己評価をする。これは、「たてまえの生き方」を1年生から身につけさせることになる。非道徳的人間の育成になるだけだ。

Gakken「考えよう」と題して、課題を2つに絞っているのがよい。子どもは自分の発想で考えるだろう。自分で考え、行動するのは道徳の基本だ。

光村図書 巻末に自己評価表がついている。「光文書院」同様、毎回毎回自己評価しなければならないのでは、子どもは道徳が嫌いになる。また、「たてまえ」と「本音」を使い分けるのがあたり前になる。果たして、道徳的か？

173**教科（ 道徳 ）****内容について**

- ・東京書籍が6年で中村哲医師を取り上げているのはよいと思った。

構成・分量について

- ・光文書院のは、特に1年生の文章が多すぎると思う。
- ・日本文教出版には、道徳ノートが1年34、2～6年35時間分あると、児童も先生方も負担ではないか。重軽あってよいと思うので、ノートはいらないのではないかと思う。

表記・表現について

- ・光村図書に1～4年にシールがあるが、なくてよいのでは？

使用上の便宜について

- ・国語の読解と同じように、長文すぎると、読み取りになってしまわないか、と思う。

御意見・御感想

- ・児童、先生方が使い易いものにしてほしい。
- ・児童に強制する（道徳観の植えつけ）ものでないように願う。

174**教科（ 道徳 ）**

いくつか読みましたが、なかなか読みきれません。しかし、“道徳”が評価の対象となっていることにはやはり大きな違和感があります。心の問題などを評価されては大人でもたまりません。

お母さんのせいきゅう書（東京書籍）

母の（女性）の無償労働を“よし”とする表現ではないでしょうか？

◎全体として、どの出版社も男女の役割分担 無為時期の意識を育ててしまうことにもっともっと留意してください。それ以外も押しつけが気になります。

もう一つの例 わたしはひろがる（光文書院）

みんなお母さん仕事さ？？？

わたしは大きくなり⇄女の子 お母さんが入ってきた のように

175**教科（ 道徳 ）****内容について**

上手く言えないが・・・「人としてどう正しいか」といった内容にどうしてもかたよってる気がする。自己受容(ありのままの自分、苦手な自分、ダメな自分を見る)という内容が弱い……。そこが認められないから子どもは苦しむし、いじめも起こるのでは・・・？

※原則、原文そのままに記載しています。

176**教科（全て） 発行者（全て）**

かつて板橋区内の公立小学校で再雇用の時期も含めると40年間、教員をしていました。どんな時、子ども達が、意欲的に学んだり学習を喜んだりしたかを思い出しながら、新しい教科書を見ての感想を書きます。

教科書は子どもにとって、学びを導き、次々と新しい学習意欲や好奇心をかき立ててくれたり、新しい知識を与えてくれるなくてはならない物であったように思います。

教科書は、いつでも、子ども達の発達課題や知的な発育状況の分析などに基づいたそれぞれの学年にふさわしい内容であることが求められていると思います。それらの観点から新しい教科書を見ると「親切過ぎる」「何から何まで一考え方から、話し方から、結論まで書き過ぎ」その上、QRコードがいたるところにあり、それをたどれば「正解」まで分かってしまう仕掛けが…。これでは親切過ぎるだけでなく、子どもたちの学習意欲や知的な好奇心がどうなっていくのか心配にさえなってきます。

このような教科書の中から、より子ども達の力を伸ばすのに役立つよりよい教科書を選ぶのはなかなか大変な作業です。最近の教科書選定、採択の度にかつての選定方法を思い出し、どうしてそのような方法にしないのか不思議でなりません。

かつては、日々子どもに接し、子ども達の学習に取り組んでいる教員の教科書に対する意見や希望を集約し、多くの教員が「この教科書で授業をしたい」と選んだ教科書を採択教科書の候補にしていく方式だったと思います。教員であった私達は、校内研修の一つとして教科毎の分科会で検討を重ね、全体会で更に調査し、よりいい教科書を選び出していました。

177**教科（国語、生活、道徳）発行者（東京書籍 光村図書 教育出版 日本文教出版 学校図書）
内容について**

国 東京書籍、内容は力がつきそうでいいが、スキルのなものが先立ちすぎているように感じます。もっと根本的なところで学びの必然性の高まる光村がいいです。

生 幼稚園の経験をいかして上巻は特に絵本的要素がある社がいいです。

構成・分量について

国 教育出版 6年間に冊のボリュームが多すぎる。もっと精選したものがいいです。

道 別冊ノートいらないうです。プリントを貼る台紙にしかありません。ふくれあがっています。あまり使わない先生もいて、その学年の時は邪魔になっています。今回はとじこみではない別冊のようなのですが、そもそも先生の使用実態と合っていないと思います。

御意見・御感想

①どの教材も紙面だけでなく、QRのリンク先など大充実してきて親としては安心感があります。一方で消化不良が気になります。子どもは年齢に応じて検索する力（探し出す力）のちがうので、ボリュームよりも、このタイミングでこの力をつけさせたいという意味での質の高い教科書を選んでいただきたいです。

※原則、原文そのままに記載しています。

②思考力、判断力をつけさせるにしても、情緒的なものは力の定着のために必要なので、小学生の目線で楽しい、やってみたいと思えるものを採択してほしいです。

③学校図書という社だけプラスチックケース入りですが、エコではないイメージです。

178

教科（社会／道徳） 発行者（日本文教出版／Gakken）

御意見・御感想

板橋区の資料が掲載されている教科書があると聞いて、内容を知りたくて見に来ました。日本文教出版の社会では、フードロス対策の取り組みという、これからの社会で大事なことを板橋の事例が載っていました。Gakken の道徳では、区内の小学生の遊び場の確保のための取り組みが、社会のしくみを変える取り組みの事例として載っていました。子どもたちにとって身近な題材で、とても大事なことを学ぶことができると思います。このような地域の事例が取り上げられた教科書が選ばれると、子どもたちの学びにいい影響があるように思います。

179

教科（算数、道徳） 発行者（学校図書、日本文教出版）

内容について

- ・情報量が多い。分冊はやめてほしい。
- ・道徳はどの教材会社も価値観のおしつけがひどい。区独自のものが欲しい。

構成・分量について

同上

表記・表現について

各社道徳の偏向思想が気持ちわるい。

使用上の便宜について

品質が担保されているなら、一番軽いのでよいのでは？

御意見・御感想

- ・タブレットがあるのにノートやワークはあっても負担になる。子どもになくされて、買い直すのも手間なので、教科書は一冊で完結してほしい。
- ・せっかく色んな会社があるのだから、一教科一社で多様な学びが与えられるとよいと思った。あと、自分は国語は光村、英語は三省堂の時代だったので、そうじゃないのも面白いと思った。

180

教科（算数・国語・理科・社会）

内容について

※原則、原文そのままに記載しています。

カラーで絵が多くわかりやすい

使用上の便宜について

算数（大日本図書）、理科（東京書籍）、社会（教育出版）のすべて、国語（東京書籍）の5、6年は1冊が分厚く持ち運びが大変なので、上下巻の2冊ずつに分けた方が子供の負担も減りまた使いやすいと思います。

181

教科（社会・算数・国語）

表記・表現について

見やすい工夫が多くて良かった。

御意見・御感想

分かりやすかった。

182

教科（算数・英語・道徳）

御意見・御感想

何故、教科書以外の冊子があるのですか？机にPC、教科書を載せたらいっぱいになるのでは？何故、教科書本体に入れない。特に道徳は市販のノートで充分だと思う。

183

教科（社会／地図）

使用上の便宜について

社会：東京書籍のは6年が2冊に分かれていて持ち運びにいい

地図：東京書籍のは、本体を取り出しにくい

184

本日、短期間ですが教科書をみさせていただきました。

①最初に思ったのは、とにかく重いということでした。実は現在2年生で区内の小学校に2年の孫がお世話になっています。少々太っている子で26kgぐらいの体重がありますが、下校時のランドセルの重さを測ってみると5kgもありました。更に体育着や傘、水筒をもって帰ってきました。ランドセルの中には国語の教科とプリント類など、毎日5kgのお米袋を背負って低学年の子が通学するのは大変です。

又、今回の教科書は子どもにとっても先生方にとっても内容が多すぎ、じっくり学び合ったり、先生方が工夫して授業することもむずかしいと思います。もっと量を減らし、お互いに学びあえるゆとりある教科書にしてほしいと思います。

②ひとりひとりの子どもたちに考える力をのばそうとし、算数科などでは、あえて「考える

※原則、原文そのままに記載しています。

力をのばそう」「すじ道をたてて考えるよう」、又国語の文学教材などでもしているのですが、学習課題がだされても、すぐに例示がだされ、子どもたちが子どもらしい思考で考えていくことができない形になっているように思います。

子どもの学習集団として学び合えるような工夫をしてほしいと思います。

③英語について

とにかくむずかしいと思います。5年生、6年生でこんな型で学習をすすめていたら、英語嫌いになり格差がますますできてしまうと思います。とても心配です。

グローバル社会に生きていく子どもたちに、もっと自信をもって学ばせてあげてほしいと思いました。子どもたちにとってよりよい採択をお願いします。

又、現場の先生方のお声を大事に聞いてください。よろしくお願いします。

185

内容について

国語に関しては、教育出版の内容が他の教科書より難しそうだった。

構成・分量について

特に問題ないと思います。

表記・表現について

大きい字で全体的に良いと思います。

使用上の便宜について

どの教科もカラフルで見やすかったです。

御意見・御感想

来年、子が小学生になるので興味があり、伺いました。

186

内容について

例年に発行しているものと同じく分かりやすい。

構成・分量について

充分ではあるが、中学受験にはものたりない。

表記・表現について

分かりやすい。

※原則、原文そのままに記載しています。

187

内容について

①国語の教科書を拝見し、東京書籍では5年・6年ともにインターネットとの上手な付き合い方を考えさせられるような説明文が載っていることがよいと思いました。小学生のうちから日常的にスマホやタブレットを使用する中で大人の知らないところでおかしな情報に触れていたりトラブルに巻き込まれたりする危険が常にありますし、また何かを読んだり書いたりすることも今やインターネットと切り離せるものではなくなってきているので、あえて国語の教科書に載っているということも大事ななことかと思います。

②図画工作の教科書で、日本文教出版では5、6上の方の後ろのほうで著作権について触れているのがよかったと思います。また、どの学年にも裏表紙に「作品について」というコメントがあり、作品には作った人の思いが込められている、だから大切に扱わなければいけないというスタンスが見えます。子どもたちにも自分の作品も友達作品も大切に思う気持ちを持ってほしいです。（これもインターネットには沢山の作品があふれていて、中には違法でアップされたものもあり、意識しづらい部分になってきているので、学校でタブレットを使う際にも注意してほしいと思います。）

188

使用上の便宜について

各校のレベルに合った教科書の方がよい（小中とも、場所によって児童生徒の発達レベルが違う）選択性にはできないのか？

御意見・御感想

すいていてゆっくり見ることができました。ありがとうございました。

189

御意見・御感想

音楽の教科書を中心に見せていただきました。コロナ禍でここ2－3年十分な学習ができず、その中で先生方がいろいろ工夫され、子供が音楽する楽しさを味わうようにして下さっていたと思います。令和6年度から使用される教科書では、そうした経験を生かしてQRコードをふんだん活用したり、カットそのもので協働的な学びを引き出したりするものがあり、今後の学校での活用が楽しみになりました。

190

御意見・御感想

保護者です（特別支援が必要な子）

採択する際、デジタル教科書が優れているかどうかとも考慮していただければと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

191

御意見・御感想

子供自身はどれも変わらないようなので、特にはないです。

192

御意見・御感想

家庭5・6 東京書籍 くわしくかかれて分かりやすい

Gakken のみんなのほけん 明るい色合いとていねいな解説見やすい

又、見学させてください 時間たりずで

193

御意見・御感想

特にありません

194

御意見・御感想

育児中のため子どもが小学校に入学した際にどのようなことを学ぶのか気になり伺いました。子どもの負担を減らすため上下別冊になっている点や、小学校からの英語教育について参考になりました。

195

御意見・御感想

板橋区内小学校の教員です。前回の教科書採択のおり、「国語は光村がいい」という声が多く聞こえてきました。にもかかわらず、東京書籍になっており、驚きました。どのような経緯、理由で、採択したのか、またどんな意見が寄せられたのか、決定までのプロセスをオープンにしてほしいと思います。上で勝手に決めるなら、各校の意見を集めるのは時間の無駄だと思います。

196

御意見・御感想

現在の社会は、IT が普及し、パソコンで検索すれば殆どのことを調べることができます。そして、ボーダレスワールドという言葉が示す通り国境が無くなっていき更にその状況が推進されていくものと推量します。

そういう状況を踏まえ、英語であれば日常会話に力点を置く必要があると考えます。個人的な意見ですが、国語力を補強する上でも小説なりの一冊の本を読了することが大事だと思います。それを切っ掛けに本を読む習慣を身に付けることが大切です。

※原則、原文そのままに記載しています。